



与那国



八重山



宮古



中南部



北部

しまくとぅば

読本

しまくとぅば読本

中学生



はじめに



私達の沖縄県は、日本の南に位置しており、亜熱帯ならではの自然や、他府県とは異なる素晴らしい文化がたくさんあります。

それらの自然や文化は、私達が祖先から受け継いできた貴重な財産です。

しかしながら、地域で進む開発とともに貴重な自然は、破壊されつつあり、文化を支える「しまくとうば」も、消滅が危惧される状況にあります。

「しまくとうば」は、地域の伝統行事や年中行事などで使われる大切な言葉であり、組踊くみおどりや琉球舞踊りゅうきゅうぶよう、沖縄芝居しばいなどといった沖縄文化の基層を成し、いわば沖縄県民にとってのアイデンティティのより所でもあります。

沖縄県は、県民が「しまくとうば」に対する関心と理解を深め、後世に「しまくとうば」を継承していくため、平成18年3月に、9月18日を「しまくとうばの日」としました。

この『しまくとうば読本』は、県内の小学生・中学生の皆さんに、「しまくとうば」の良さを知ってもらうとともに、日ごろから「しまくとうば」に慣れ親しんでもらうために作成されたものです。

「しまくとうば」は、地域によって、表現や発音が異なります。

本書では沖縄島中南部、北部、宮古、八重山、与那国の5つの地域から、それぞれ1地区を取り上げて調査をした上で、その地区の「しまくとうば」を掲載しています。

まずは、本書を読んでもらい、自分の住んでいる地域の「しまくとうば」を使ってみて、他の地域との違いを知ってみましょう。

もしかしたら、家庭では、住んでいる地域とは異なる「しまくとうば」を使っているかもしれません。

その時は、他の地域の「しまくとうば」との違いを比べてみても面白いと思います。

「しまくとうば」を学ぶことは、沖縄に住む自分達のことを知ることであり、地域を知ることにもつながります。

この『しまくとうば読本』を多くの皆さんに活用してもらい、「しまくとうば」の普及、継承に役立つことを願っています。





しまくとぅば

読本

しまくとぅば読本

中学生



※ CD に収録されている内容は、話者によって
本文とは異なる場合があります。

「しまくとうば読本」の使い方

- 本書では、皆さんと関わりの深い学校生活や家庭での出来事、昔から受け継がれてきた地域の行事や年中行事など、場面ごとにテーマが変わります。

始めから順序よく読んで良いですし、自分の好きな場面から読んでみるのも、ひとつの方法です。

- どんな場面での会話なのか想像できるように、イラストを多く使いました。

最初に、中南部の「しまくとうば」についているイラストを見ながら、それぞれの場面を想像して読むといいですね。

- 5つの地域（地区）の言葉を、一目で区別できるように文字色を分けて表現しています。

- 赤色：中南部（那覇市那覇の言葉）
- 茶色：北部（名護市久志の言葉）
- 緑色：宮古（宮古島市平良の言葉）
- 青色：八重山（石垣市四箇の言葉）
- 桃色：与那国（与那国町祖納の言葉）

- 学校に配布したCDで、音声を聞くことができます。
- 見開きページの右上部に、「メモ」ができる空らんを設けています。気づいたことや、調べた言葉を記録するのに活用してください。
- 本書に出てくる「しまくとうば」の索引を巻末に付けました。わからない言葉の意味を調べるときに使うと便利です。
- 「しまくとうば」の表記は、片仮名やローマ字で表すなどいろいろな方法があります。本書では、皆さんが日ごろから慣れ親しんでいる平仮名を用いています。ただ、「しまくとうば」で表現するのが難しく、共通語をそのまま使っている言葉に関しては漢字や片仮名で書いてあります。



- 「しまくとうば」には、五十音では表現できない言葉があります。

それを表現するために、特別な表記を使っています。本を読む前に、次のページにある「特別な表記について」の説明を読みながら、CDを聞いて確かめましょう。

- 漢字に関しては、中学校以上で学習する漢字には振り仮名を付けました。

振り仮名のない漢字は、小学校で学習した漢字です。また、地域名や固有名詞にはできるだけ振り仮名を付けるようにしました。



特別な表記について



本書を活用する際、「つわ」や「が」など、日ごろ目にすることがない表記があることに気がつくと思います。これは、「しまくとうば」の発音が五十音でうまく表現できない音を表すものです。これらの表記についてはここで簡単に説明しますが、説明だけでは分かりにくいと思いますので、学校に配布したCDを開いて音声を確認できるようにしました。

①のどをつめて発する音（喉頭化音 - こうとうかおん -）

発音の出だしにのどをつめて発する音が喉頭化音で、表記は、左上付きの「つ」を付けて表しました。例えば、那覇くとうばで、「わー」とは「私」を意味しますが、のどをつめて発する「つわー」という表記は「豚」の意味になり、全く意味が違う言葉になります。

中南部では、他にも「つやー（君）」「つんむ（いも）」などがあります。北部でも同じように「つまーり（生まれ）」「つめーし（おはし）」など、与那国でも「つていぶに（口）」「つくいてい（作って）」などと、発音されていますので、本書でもそのように表記してあります。なお、与那国の語中の「つ」は、単語の区別に使用されないのので省きました。

②中間の音を表す（中舌母音 - なかじたぼいん -）

中間の音を発するのが中舌母音です。表記は、「い」と「う」の中間の音を表す「いう」があります。「え」と「お」の中間の音を表す「えう」があります。

特に、宮古地方や八重山地方で多く使われ、平良では、中舌母音を発するときに軽い「ス」や「ズ」の音が伴う「ぴうぎ（ひげ）」「まいう（ご飯）」などがあり、石垣でも「ぱしう（おはし）」「きうんだいくに（島ニンジン）」などと発音されます。

③鼻にかかる音（鼻濁音 - びだくおん -）

ガ行が鼻にかかり濁音となる音を鼻濁音といい、現代共通語にもあるガ行の表記に上付きの「ㇰ」を付けて表しました。

よく使われるのは与那国で、「あんが（私の）」「まんぐ（孫）」「なんぎる（投げる）」などがあります。

④歴史的仮名づかいで表す音

w音を表す表記として古代語の表記を利用し、wiを「ゐ」、weを「ゑ」、woを「を」で記しています。「を」は、現代共通語では「絵をかく」などのような格助詞を表す言葉として表記しますが、現代共通語でw音は消滅してしまい、実際の発音では「お」となります。

中南部では、「ゐきが（男）」「つゑんちゅ（ねずみ）」などに使われ、北部でも「ゐきがー（男）」「つゐみ（指）」「つゑちゅー（ねずみ）」などに使われます。

このw音（ワ行音）の一部は、平良では「ばん（私）」「ぶとう（夫）」、石垣では「ばぬ（私）」「ぶとう（夫）」のようにバ行音になります。

⑤唇に歯を軽くつけて発する音

宮古島の表記で「ふう」のように、上付きの「ふ」になっているものは、共通語の「ふ」とは異なり、英語のような唇歯音（上の前歯の先端を下唇に軽くつけて出す音）fです。「ふうちう（口）」「ふあっとー（いただきます）」「ふいーさーち（お願いします）」。唇歯音は、他に「つづあ」のようにvの音もあります。

⑥唇を閉じながら発音する「ん」の音

宮古島で「む」のように「む」の小文字で表記されているのは、唇を閉じながら発音する「ん」の音です。「むちう（道）」「いむ（海）」などに使われます。

この他にも見られない表記が出てきますが、音声を聞きながら確かめましょう。

目次



1 自己紹介・家族紹介

こんにちは。私の名前は、太郎です。	6
私の家族です。紹介（お知らせ）します。	8
身体を表す言葉。	10

2 一日の生活

今日も一日が始まります。	12
朝ご飯は、しっかり（きちんと）食べなさいね。	14
一緒に学校へ行く。	16
どんなことを習っているのかな。	18
休み時間のときには	20
今日の給食は何だろう？	22
今日も頑張って勉強したよ。	24
これから部活動。練習に行く。	26
今日は良い日だった。	28

3 遊び

きれいな花を探しに行こう。	30
草花で遊ぼうよ。	32
草花や草木の名前を調べてみよう。	34
昆虫や動物の名前や鳴き声を調べてみよう。	36
これから買い物に行く。	38

4 買い物・外食

お店にて、買い物をする。	40
今日は、外に食べに行こう。	42
美味しいものは、何があるのかな。	44

5 観光案内

沖縄島中南部のいろんな所をご案内しましょう。	46
沖縄島北部のいろんな所をご案内しましょう。	48

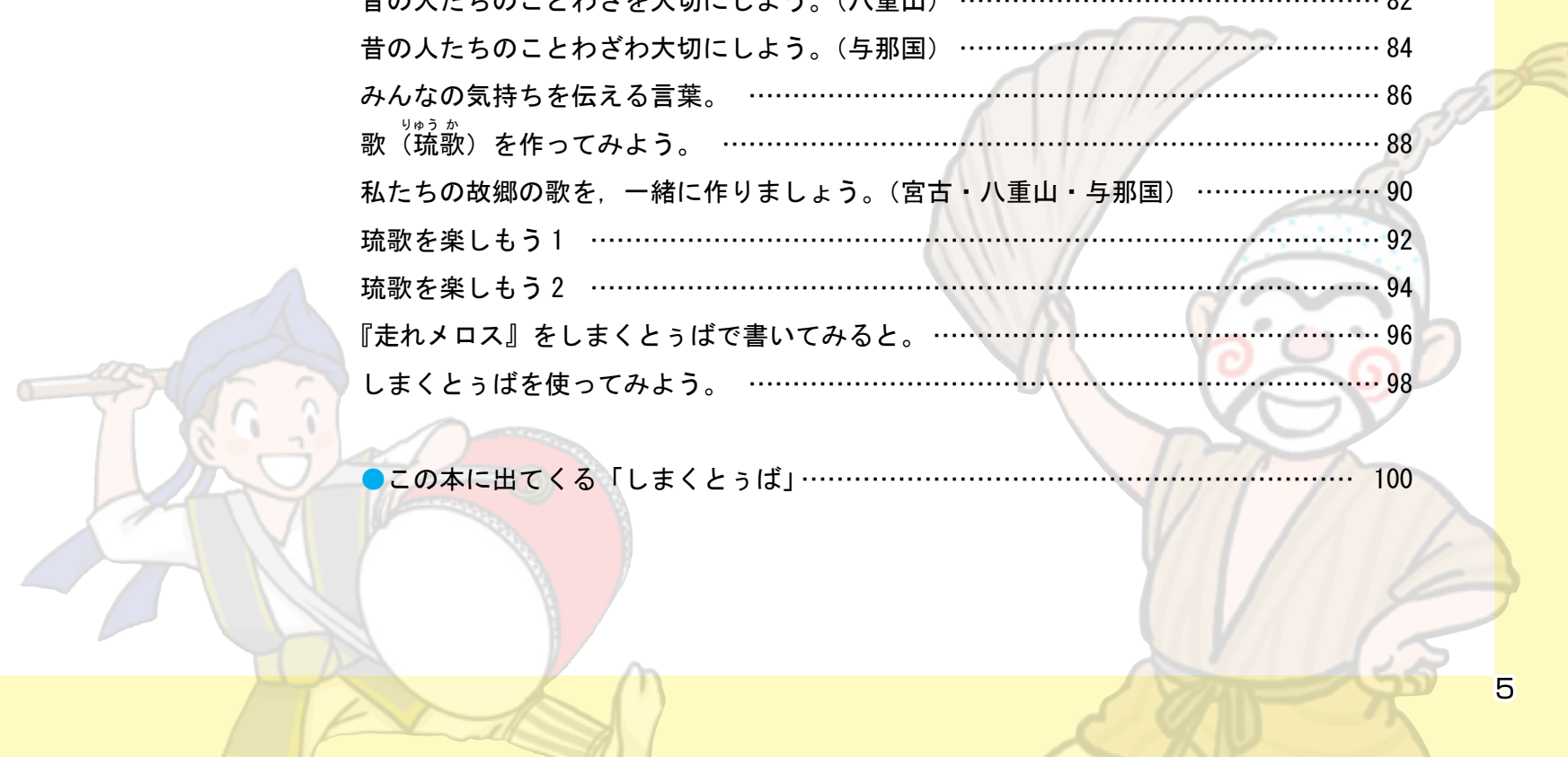
これからは宮古のあちこちをご案内しましょう。	50
これからは八重山のあちこちをご案内しましょう。	52
これからは与那国のいろんな所をご案内しましょう。	54

6 年中行事

私たちの故郷のはーりーは、見事なものだ。（中南部）	56
私たちの島の村踊りは、見事なものだ。（北部）	58
ぱーんとうーは、宮古でも有名な祭りなんだよ。（宮古）	60
私たちの島の豊年祭は、見事なものだ。（八重山）	62
私たちの島の豊年祭は、見事なものだ。（与那国）	64
良いお正月です。	66
むーちーを作って、年の数のむーちーを下げよう。	68
今日は清明祭。みんなで墓参りに行こう。	70
今日からお盆。お迎えしましょう。	72
今日は、妹の十三祝い。きれいな着物が似合っているね。	74
満一歳の誕生日に招待された。	76

7 ことわざ・言葉

昔の人たちのことわざを大切に下さい。（中南部・北部）	78
昔の人たちのことわざを大切にしよう。（宮古）	80
昔の人たちのことわざを大切にしよう。（八重山）	82
昔の人たちのことわざを大切にしよう。（与那国）	84
みんなの気持ちを伝える言葉。	86
歌（琉歌）を作ってみよう。	88
私たちの故郷の歌を、一緒に作りましょう。（宮古・八重山・与那国）	90
琉歌を楽しもう 1	92
琉歌を楽しもう 2	94
『走れメロス』をしまくとうばで書いてみると。	96
しまくとうばを使ってみよう。	98
●この本に出てくる「しまくとうば」	100



中南部 はいさい^{*}。わー なーや
(那 覇) たろー やいびーん。

こんにちは。私の名前は、太郎です。



初めて人に会うときや知らない人とお話しをするとき、私の名前は〇〇ですと、自己紹介します。相手の名前や好きなことを知ると、仲良くなるのが早くなるような気がします。

しまくとうばでも、自己紹介するときの言葉があります。自分のことは何と伝えたいのかな。

わんねー たろー。
ちゅーがっこー 2にんしー
やいびーん。
私(の名前)は、太郎。
中学校2年生です。

なーふあぬ つんまり やいびーん。
那覇の生まれです。

しちゅしえー 国語とう
体育 やいびーん。
好きなのは国語と体育です。

さちじゃちえー 学校ぬ しんしー
ないぶさんり うむとーん。
将来は、学校の先生になりたいと
考えています。



※女の人は「はいたい」ですが、男の人が使う場合は「はいさい」です。
このように男の人と女の人でことなる言葉を使うこともあります。

北部 はいさい、わー なーや
(久 志) たろーんでい っやびーん。



わー なーや たろー。ちゅーがっこー 2年生 いえーびん。
私の名前は、太郎。中学校2年生です。

わーが しきな 教科や 国語 いえーびん。
好きな教科は国語です。

なぐし くしぬ づまーり いえーびん。
名護市久志の生まれです。

にかーや、がっこーぬ 先生け ないびさんでい かんげーとん。
将来は、学校の先生になりたいと考えている。



※このページの文章をひとつ選んで、自分の地域のしまくとうばに訳してみましょう。

1 自己紹介・家族紹介

宮古 はい。ばがなーや、たるーていどう あいう。
(平 良)

ばがなーや たるー。ぴうさらぬ んまりさい。

中学2にんしーさい。

私の名前は、太郎。平良の生まれです。中学校2年生です。

ばが うむっし がくもんな 国語さーい。

私のおもしろい勉強は国語です。

うぼーぶ ないうちうかー、学校ぬ しんしーん

ならっていどう うむいさーい。

大きくなったら、学校の先生になりたいと考えています。



八重山 くよーんなーらー。ばー なーや たろーゆー。
(四 箇)

ば のーや たろう、中学2ねん なりどう うるゆー。

私の名前は、太郎。中学校2年生です。

すかりそーや 国語で あんくむぬゆ、しゅかぬ まりゆー。

好きなのは国語です。四箇の生まれです。

あとぅあとーや がっこーぬ しんしーかい

なりぶさーんゆー。

将来は、学校の先生になりたいです。



与那国 んさいわるかや。あんが なや、
(祖 納) たろーどう ないぶる。

あんが なや、たろー。ちゅーがつく2にんしどう ないぶる。

私の名前は、たろー。中学校2年生です。

まっちゃんすや 国語。とうまいむらぬ まりどう ないぶる。

好きなのは国語です。泊村の生まれです。

あとぅあとーや、がつくぬ しんしんき なるんでいどう うむいぶる。

将来は、学校の先生になりたいと考えています。



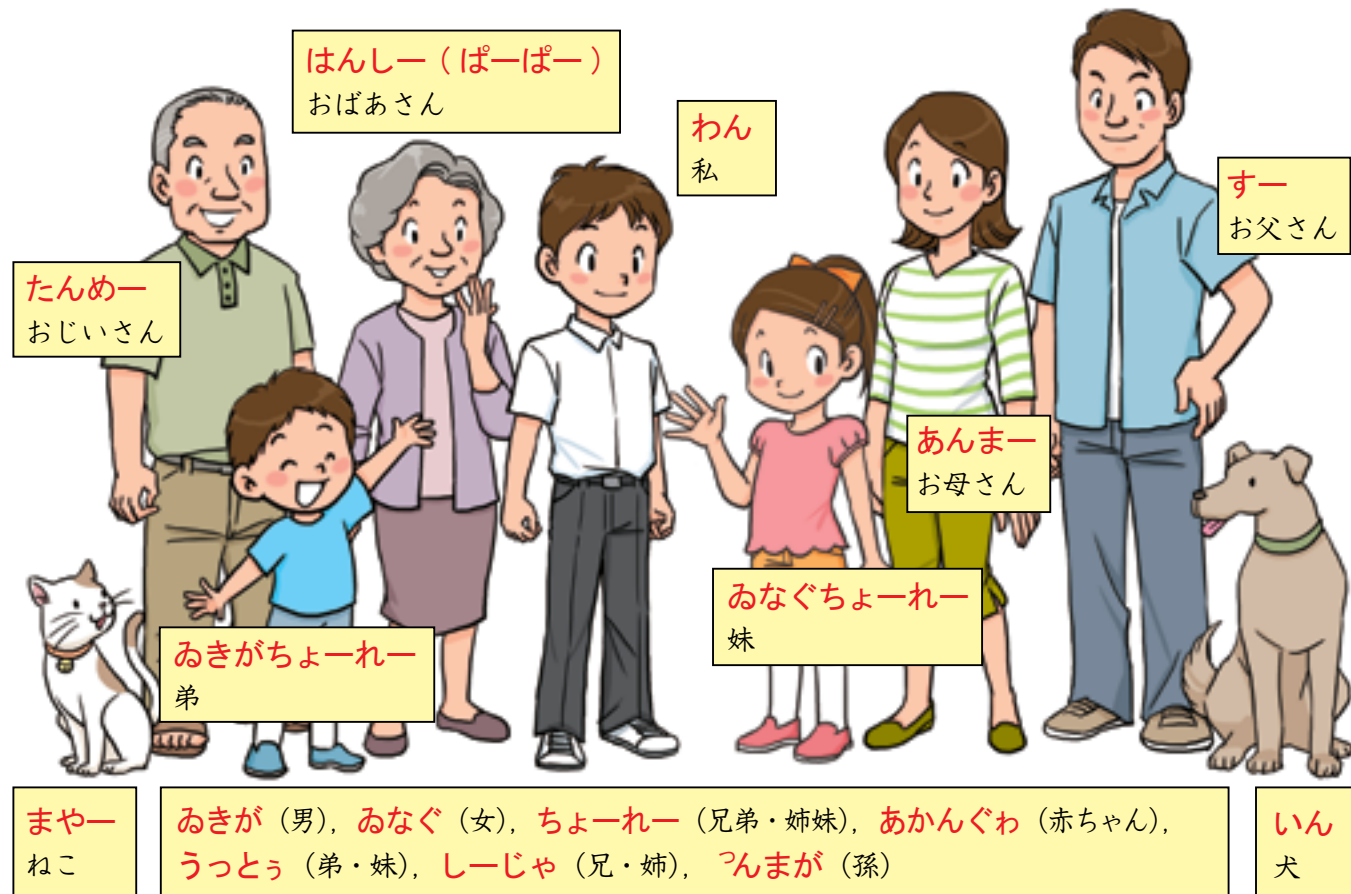
中南部 わったー やーにんじゅ やいびーん。

うしらしさびら。

私の家族です。紹介（お知らせ）します。



みなさんは、何名家族ですか。本書に登場する「太郎」は、7名家族です。犬と猫もいます。自分の家族も、太郎のように友だちに紹介してみましょう。



北部 わねー やーにんじゅ そーかいさびーん。

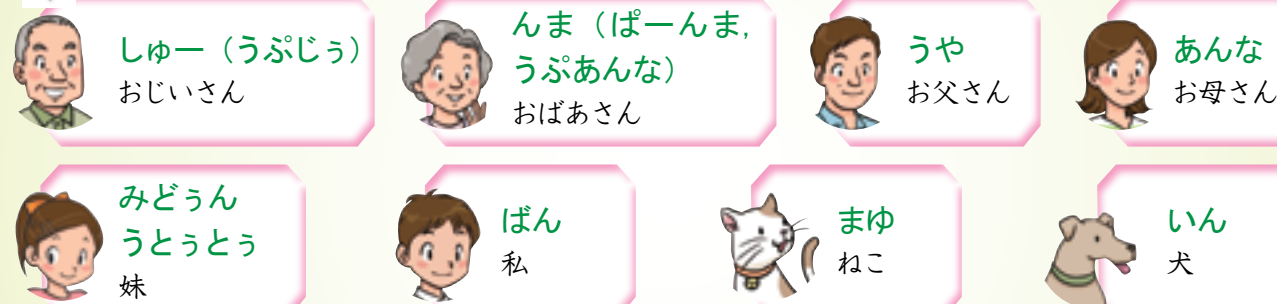


みきがうっとう（弟）、みきがー（男）、みなぐー（女）、ちょーでー（兄弟・姉妹）、うっとうー（弟・妹）、やかー（兄）、まーまー（姉）、しじやー（年上）、あかんぐわ（赤ちゃん）

※このページの文章をひとつ選んで、自分の地域のしまくとうばに訳してみましょう。

1 自己紹介・家族紹介

宮古 ばんたが やーでいゆ したうかい すーでい。



びきどうん（男）、みどうん（女）、びききょーだい（兄弟）、みどうんきょーだい（姉妹）、あざ（兄）、あなが（姉）、うとうとう（弟）、あかんが（赤ちゃん）

※男から見た姉妹は、「ぶないう」。女から見た兄弟は、「びきう」。

八重山 ばー やーにんじゅー っさりんゆー。



びぎどうん（男）、みーどうん（女）、ぶなりうびぎりう（兄弟・姉妹）、しじや（兄）、※ふっちゃー（長兄）、がっちゃー（二男）、あざま（三男）、しじやぶなりう（姉）、うとうどう、うとうどうびぎりう（弟）、ふあーなー（赤ちゃん）

与那国 ばー だーにんどう つたみ つありるん。



びんが（男）、みぬんが（女）、うとうだ、びぎぶない（兄弟・姉妹）、あてい（姉）、すなてい（兄）、うとうとう（弟）、んくてい（赤ちゃん）、まんぐ（孫）

るー あらわする くとうば。

身体を表す言葉。

顔や体を表すしまくとうばは、私たちがふだん使っている言葉とは、異なる言葉が多いですね。これは、「つぶり（頭）」「かもじ（髪）」「つら（顔）」などのような日本の古い時代（奈良時代以前）に使われていた言葉と似ています。

しまくとうばと、古い日本の言葉を比べてみても面白いかもしれませんね。

●文字：共通語

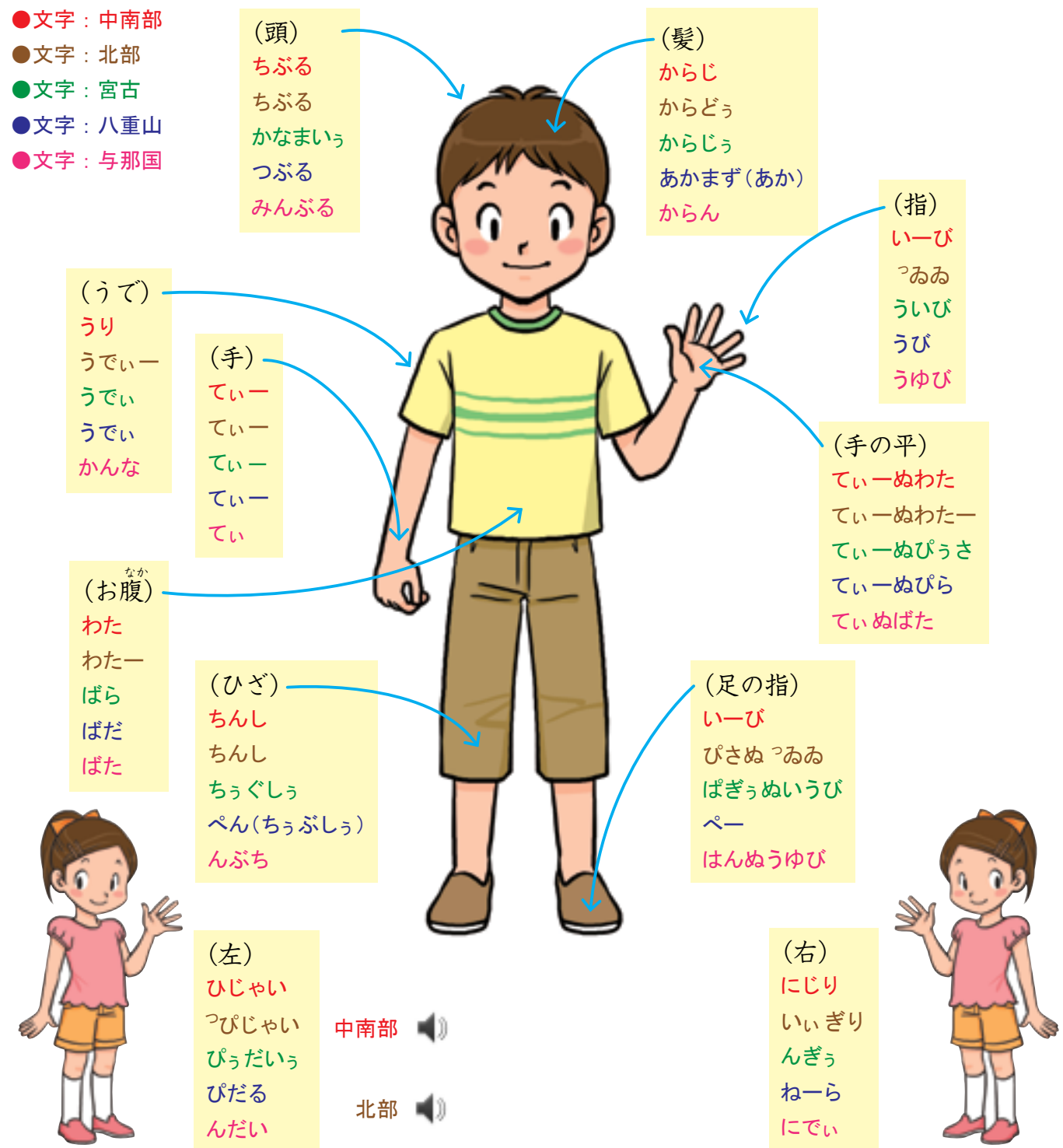
●文字：中南部

●文字：北部

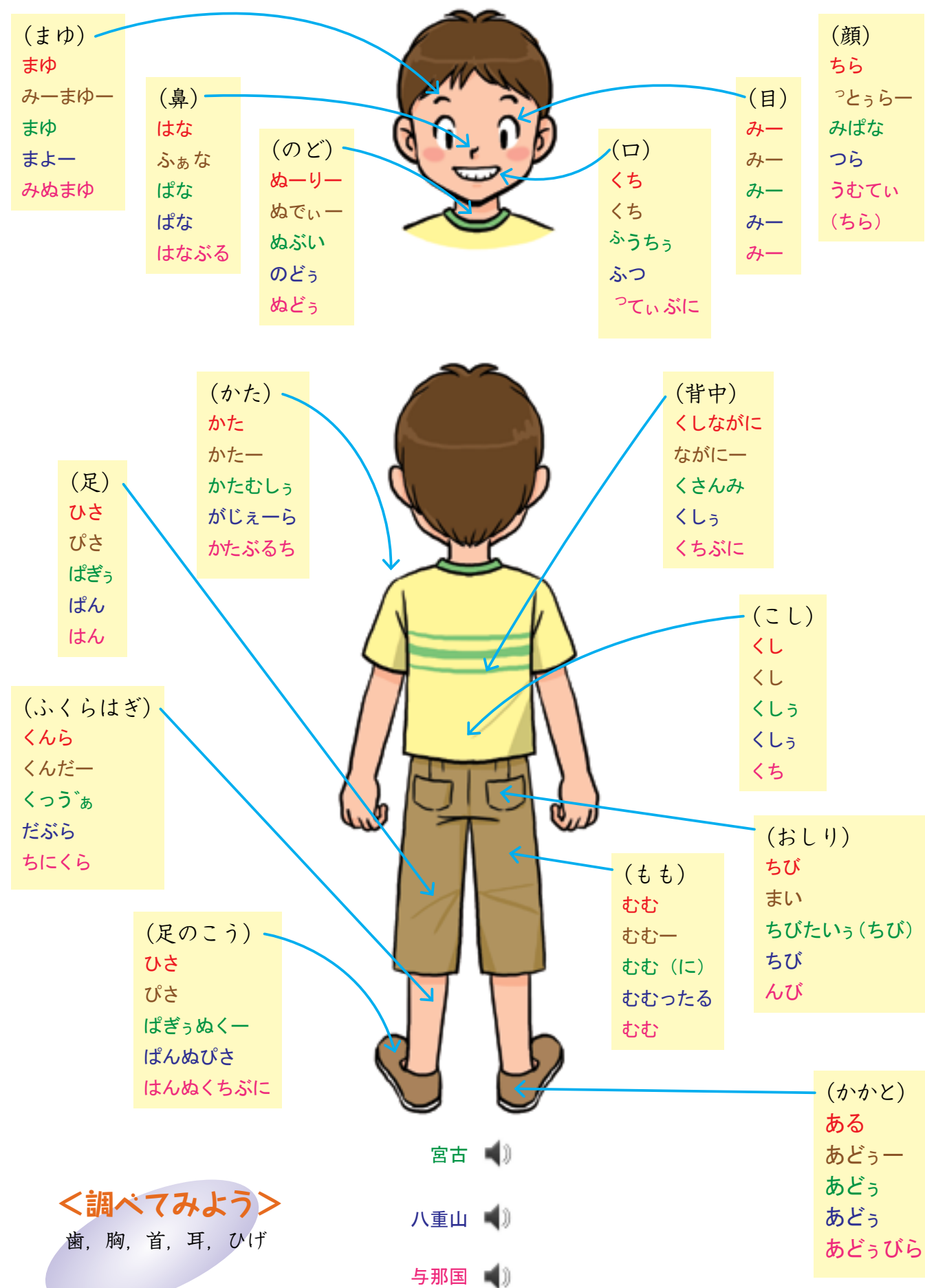
●文字：宮古

●文字：八重山

●文字：与那国



※このページの文章をひとつ選んで、自分の地域のしまくとうばに訳してみましょう。



<調べてみよう>

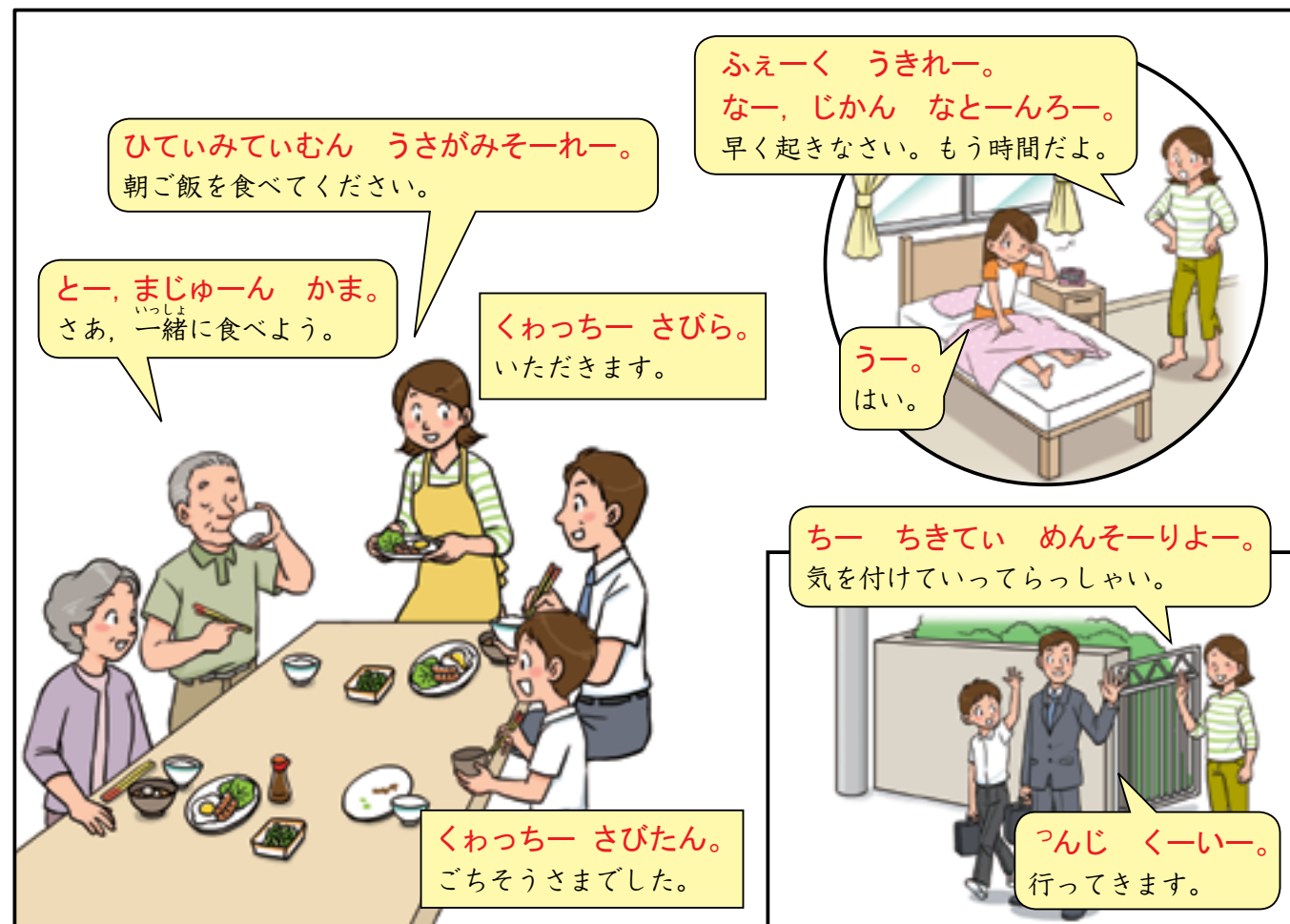
歯, 胸, 首, 耳, ひげ

ちゅーん いちにちぬ はじまいびーん。

今日も一日が始まります。



今日も一日が始まります。みなさんは、睡眠^{すいみん}をしっかりとっていますか。花子は、まだ眠^{ねむ}いようですね。それでも、朝ご飯はきちんと食べて、元気よく学校へ行きましょう。



北 部 ちゅーん いちにち ふぁじまいん。



みーふぁらき いいちやぎそーれー。
朝ご飯を食べてください。

とー、まんなな かまー。
さあ、一緒に食べよう。

くわっき さーやー。
いただきます。

くわっき しちゃん。
ごちそうさまでした。

ふえーく うきれー。なー、じかんどー。
早く起きなさい。もう時間だよ。

あー。
はい。(目上の人に対する場合)

きー ちきてい いじ くーよー。
気を付けて行ってらっしゃい。

いじ ちゅんどー。
行ってきます。



宮 古 いちうにちうぬ ぱじうまいう



あさむぬー んきぎさーち。

朝ご飯を食べてください。

ずー、まーちうき ふぁー。

さあ、一緒に食べよう。

ふぁっとー。

いただきます。

んまーん まーどぅ やたいう。

ごちそうさまでした。

ぴやーまり うきる。

んにや じゅかんどーや。

早く起きなさい。もう時間だよ。

んー。はい。

きうぬー ちうき いき くー。

気を付けていってらっしゃい。

いき くーっどー。

行ってきます。



八 重 山 きゅーん ぴとぅいぬ はじまるんどー。



しとぅむでいぬ ンぼんや

のーどぅ ほーだー。

朝ごはんを食べたか。

でいー、まーずん ふぁーらー。

さあ、一緒に食べよう。

とーらるなーらー。(とーらりるんゆー)。

いただきます。

こっきー とーらりだゆー。

ごちそうさまでした。

はいしゃ うきりよー、

めー じかん やすんが。

早く起きなさい。もう時間だよ。

おー。はい。

きうー ちうけー はりよー。

気を付けていってらっしゃい。

いき くーいー。

行ってきます。



与 那 国 すーん ひっとういんが はでいまるんどー。



ひーり うやしわり。

朝ご飯を食べてください。

でいー、まどぅん ふー。

さあ、一緒に食べよう。

たばらりー。

いただきます。

あらーぐ まーどぅ あたる。

とてもおいしかった(ごちそうさま)。

はやぐ うぎり。

まー でいかん なんどぅ。

早く起きなさい。もう朝だよ。

おー。はい。

だななどぅ ひるどー。

ゆっくり(気を付けて)行きなさい。

いていてい くたよー。

行ってきます。



中南部 ひていみていむの一

しかっとう (ちゃんとう) かみよー。

朝ご飯は、しっかり (きちんと) 食べなさいね。



しまくとうばには、「おはよう」にあたる言葉はありません。家では、「うきみそーちー。(起きましたか。)」とか「ひていみていむの一 かーりー。(朝ご飯は食べた。)」などと言います。きちんと朝のあいさつをして、しっかり朝ごはんを食べて登校しましょう。

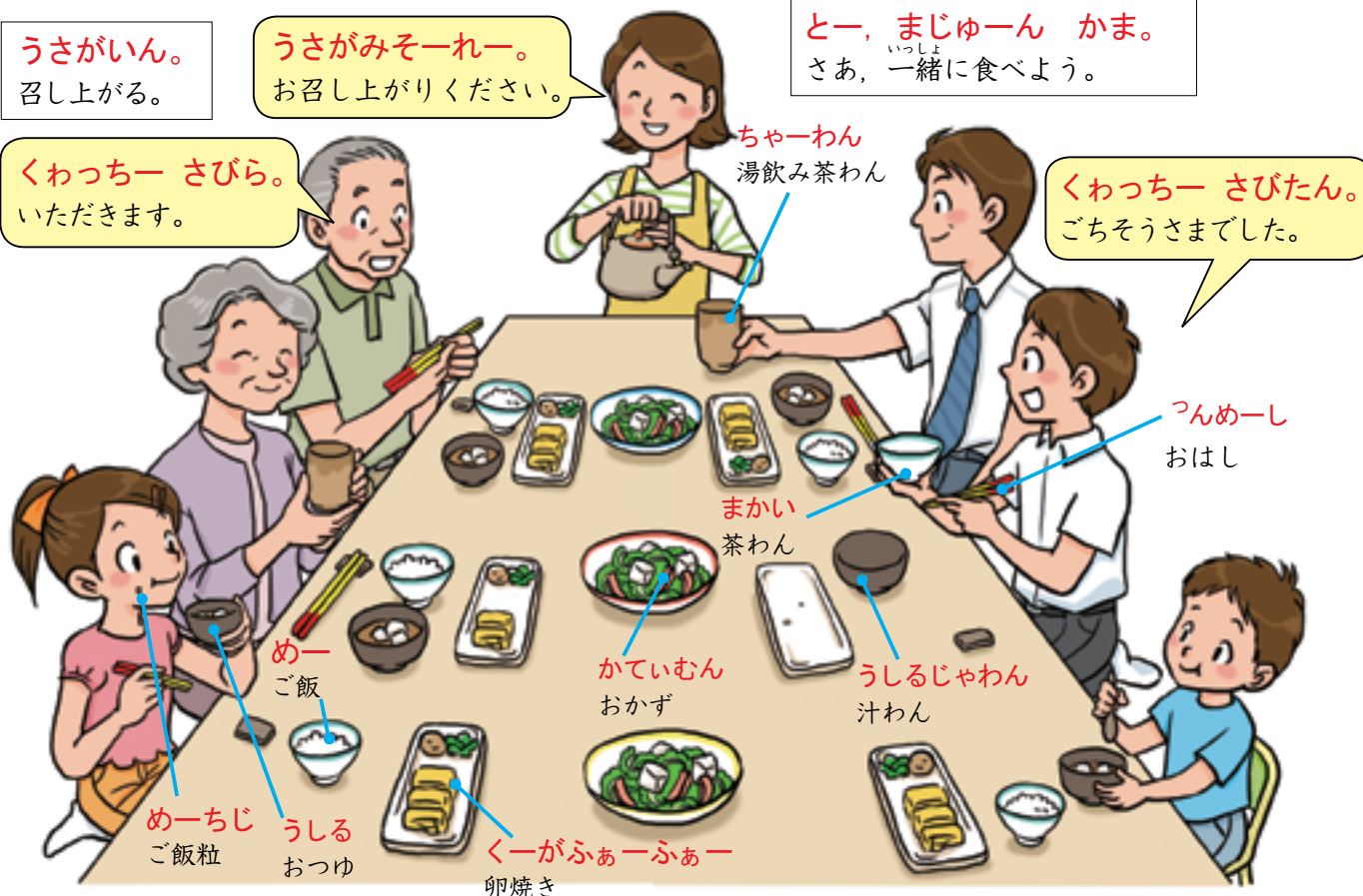
うさがいん。
召し上がる。

うさがみそーれー。
お召し上がりください。

とー, まじゅーん かま。
さあ, いっしょに食べよう。

くわっちー さびら。
いただきます。

くわっちー さびたん。
ごちそうさまでした。



北部 みーふあらき かなどう かみよー。

いいちゃぎーん。
召し上がる。

とー, まんなな かまー。
さあ, 一緒に食べよう。

くわつき しちゃん。
ごちそうさま。

つめーし
おはし

めー
ご飯

めーとうどう
ご飯粒

しるー
おつゆ

まかい
茶わん

しるまかい
汁わん

ちゃわぬー
湯飲み茶わん

かていむん
おかず

くがー
卵

×
モ

※このページの文章をひとつ選んで、自分の地域のしまくとうばに訳してみよう。

2 一日の生活

宮古 あさむぬーばー まなーんてい ふあいよー。

んきぎいー。
召し上がる。

ずー, まーちうき ふあー。
さあ, 一緒に食べよう。

んまー んまどう やたいう。
ごちそうさま。

うみしう
おはし

まいう
ご飯

まいうしうじう
ご飯粒

しうる
おつゆ

まかい
茶わん

しうるまかい
汁わん

ちゃばん
湯飲み茶わん

すー
おかず

あぎどうなか (とうなか)
卵焼き (卵)

八重山 しうとうむでいぬ んぼん おいしょーり。

おいしょーるん。
召し上がる。

でいー, まーずんし
ふあいむー。
さあ, 一緒に食べよう。

こつきー とーらりだゆー。
ごちそうさまでした。

ぱしう おはし

つんぼん
ご飯

つんぼんつぶ
ご飯粒

する
おつゆ

つんぼんまかい
茶わん

しうるまかる
汁わん

ちゃばん
湯飲み茶わん

かていむぬ
おかず

とうながやき (とうなが)
卵焼き (卵)

与那国 ひーりや んちみ はいゆ。

うやし わるん。
召し上がる。

でいー, まどうん ふー。
さあ, 一緒に食べよう。

あらーぐ まーどう あたる。
とてもおいしかった。

はち
おはし

い
ご飯

いぬちん
ご飯粒

ちる
おつゆ

まがい
茶わん

ちるまがい
汁わん

さばん
湯飲み茶わん

かていむぬ
おかず

あらかいぐ
卵焼き

まじゅーん がっこーかい いちゅん。

いっしょ
一緒に学校へ行く。



友だちと仲良く、いろいろなおしゃべりをしながら、登校するのは楽しいでしょう。朝、気持ちよく登校できると、一日が楽しく過ごせるでしょうね。どんな会話を交わしているのでしょうか。

しまくとうばで表してみましょう。

はい。ちゅーや、いいー
つわーちちなてい ゆたさたんやー。
やあ。今日は、良い天気になって良かったね。

ちぬーぬ しゅくらい すんり
なんじ やたんろー。
昨日の宿題をするのに、苦労したよ。

わんねー すーんかい ならてい
さんろー。
私は、父から習ってやったよ。



北 部 まんなな がっこーけ いちゅん。



ちゅーや、いいー つわーとうき なたんやー。
今日は、良い天気になって良かったね。
つきんぬーぬ しゅくだい すんでいち、すつくえーちゃっさー。
昨日の宿題をするの、苦労したよ。
わぬや ちゃーちゃーから ならてい しちゃん。
私は、父から習ってやったよ。



宮 古 まーちうき がっこーんかい いきう。



はい。きゅーや、かぎ わーちうきうん なり ぞーむぬやー。
やあ。今日は、良い天気になって良かったね。
きうぬぬ しゅくだいゆ すーつてい なんぎ しうたいう。
昨日の宿題をするの、苦労したよ。
ばーや、うやからどう ならい しうったいどーや。
私は、父から習ってやったよ。



八 重 山 まーずん がっこーかい はるん (いくん)。



きゅーや いー おーちうき なり じょーとーらー。
今日は、良い天気になって良かったね。
きぬーぬ しゅくだい すーそー なんぎしー すーだゆー。
昨日の宿題をするの、苦労したよ。
ばなー びげーから ならいり すーだゆー。
私は、父から習ってやったよ。



与 那 国 まどうん がっくんき ひるん。



やー。すーや、いー わしき ないてい んさたんがえー。
やあ。今日は、良い天気になって良かったね。
んぬぬ 宿題 きるんでい あはり きんでやー。
昨日の宿題をするの、苦労したよ。
あぬや いやがら ならいていどう いしやる。
私は、父から習ってやったよ。



ちゃーねーる くとう ならとーがやー。
どんなことを習っているのかな。



学校では国語や数学、英語など、いろいろな勉強をしますね。どのような勉強をしているのかな。共通語では、先生に対する言葉づかいと、友だちに対する言葉づかいが違うように、しまくとうばでも、相手によって言葉が変化します。

くりから えいごぬ じゅぎょー はじみーん。
これから英語の授業を始める。

うー。うにげーさびら。
はい。お願いします。

ちゅーん えーかいわ しみしゅーみ。
今日も英会話をしますか。

いー。
はい。

※「うー」は目上の方に対する言葉です。目下の者に対する言葉は、「いー。」となります。

北 部 ちゃっちょる くとう ならとがやー。

つなんまから いえいごぬ じゅぎょー ふぁじみんどー。
これから英語の授業を始める。

あー。うにげー すんどー。
はい。お願いします。

ちゅーん いえいくわいわ しーそーいんなー。
今日も英会話をしますか。

んー。 はい。

※「あー」は目上の方に対する言葉です。目下の者に対する言葉は、「おー」「んー」となります。



宮 古 のーゆが ならい ういうがらやー。

んなまから 英語ぬ じゅぎょーゆ ぱじゅみでい。
これから英語の授業を始める。

んー。ならーしゅ ふうーさーち。
はい。お願いします。

きゅーまい 英会話ゆ すーでいな。
今日も英会話をしますか。

んがな。 はい。

※「はい」は、「おー（目上に対して）」または、「んがな（目下に対して）」とも言います。



八 重 山 のーしる むぬゆ ならいるかやー。

くりからー えいごの じぎょー はじみんどー。
これから英語の授業を始める。

うー。ならーし ひょーり。
はい。教えてください。

きゅーん えいごの はなしょー しょーるん。
今日も英会話をしますか。

いー。 はい。

※「うー」は目上の方に対する言葉です。目下の者に対する言葉は、「いー。」となります。



与 那 国 ぬんにぬ くとうば ならいぶんが。

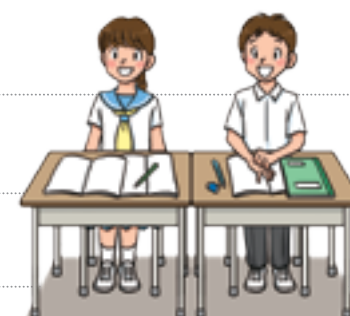
ないがら えいごぬ じゅぎょー はでいみるん。
これから英語の授業を始める。

おー。たんでい どうーでいん。
はい。よろしくお願いします。

すん 英会話 きーわるな。
今日も英会話をしますか。

よい。 はい。

※「おー」は目上の方に対する言葉です。目下の者に対する言葉は、「よい」となります。



なかゆくいぬ とうちねー…。

休み時間のときには…。



学校では勉強することが第一ですが、休み時間も楽しいものです。みなさんは、どのように休み時間を過ごしていますか。

くまー むちかさんやー。
ならーち くいれー。
ここは難しいね。教えてくれない。

いー。しむんろー。
うん。いいよ。

ちゅーぬ ひるぬ なかゆくえー
ぬーし あしぶが。
今日の昼休みの時間は、何をして遊ぶうか。

ぬーぬ すむち ゆろーが。
何の本を読んでいるの。

サッカーし あしばな。
サッカーをして遊ぶうぜ。

うちなーぬ にかしむぬがたい かけーる すむち ゆろーさ。
沖縄の昔物語が書かれた本を読んでいるよ。

北 部 やすみじかんぬ ばーや。



くまや むちかはんやー。
ならーち とうらさんなー。
ここは難しいね。教えてくれない。

んー。ならーすさ。
うん。いいよ。

ぬーぬ ほんが ゆどる。
何の本を読んでいるの。

くしぬ むかしぬ くとぅ
かかっとぬ ほん ゆどん。
久志の昔物語が書かれた本を読んでいるよ。

ちゅーぬ づひるぬ やすみじかんや
ぬー しち あすゐが。
今日の昼休みの時間は、何をして遊ぶうか。

サッカー しち あすわー。
サッカーをして遊ぶうぜ。

宮 古 ゆくーとうきやーんな…。



くまー むちうかしう むぬやー
ならーしう ふうーる。
ここは難しいね。教えてくれない。

んー。じょーぶんさーい。
うん。いいよ。



のーぬ ほんぬが
ゆみゆーりやー。
何の本を読んでいるの。

みやーくぬ んきやーん ぱなしうぬ
かかい ういう ほんぬどう ゆみ ういうさーい。
宮古の昔物語が書かれた本を読んでいるよ。

きゅーぬ ぴうしうま ゆくーんな
のーゆ しーがー あすぱつちやー。
今日の昼休みの時間は、何をして遊ぶうか？

サッカーゆ しー あすぱ。
サッカーをして遊ぶうぜ。

八 重 山 やすみじかんぬ ばしよーや…。



うまー むつかさ そーらー
ならーし ひょーり。
ここは難しいね。教えてください。

んー みしやーんどうらー。
うん。いいよ。



のーぬ しゅむつちうどう ゆみりや。
何の本を読んでいるの。

やいまぬ むかすばなしうぬ かけーる
しゅむちうどう ゆみる。
八重山の昔物語が書かれた本を読んでいるよ。

きゅーぬ ぴろーまゆくいや
のーしーり あすびや。
今日の昼休みの時間は、何をして遊ぶうか。

サッカーし あさば。
サッカーをして遊ぶうぜ。

与 那 国 ながどうぐいぬ ばすにや…。



うまや むちかさんやー。
つたみとらぬん。
ここは難しいね。教えてくれない。

よい。んさんどー。
うん。いいよ。



ぬーぬ すむていば
どうみぶんが。
何の本を読んでいるの。

どうなんぬ にかちむぬがたい
かつていある すむていどう どうみぶる。
与那国の昔物語が書かれた本を読んでいるよ。

すーぬ つまどうぐいぬ でいかんや
ぬーば き あんぶが。
今日の昼休みの時間は、何をして遊ぶうか。

サッカーどう きー あんばりるや。
サッカーをして遊ぶうぜ。

ちゅーぬ きゅーしょこー ぬー やがやー。

今日の給食は何だろう。



家族と食べるご飯もおいしいですが、学校で、みんなと食べる給食もおいしいものです。月に何回か出てくる琉球料理も待ち遠しいですね。さて今日は、どんなメニューかな。楽しみですね。

ちゅーや、ひていみていむんぬ ふえーさたぐとう
なまさちから やーしくなとーたん。
今日は、朝ご飯を食べるのが早かったので、先ほどから、
お腹が空いていた。

やさやー。わんにん
まちかんていー そーたん。
そうだな。私も待ち遠しかった。

きゅーしょくんかい
ちかーつとーる やーしえー。
給食に使っている野菜。

ごーやー (にがうり)
ちれーくに (島にんじん)
たまなー (キャベツ)

<調べてみよう>

自分たちの地域に伝わる琉球料理を調べてみよう。



すば (そば)



ごーやーちゃんぷーるー



らふてー

北 部 ちゅーぬ 給食や ぬー げるやー。



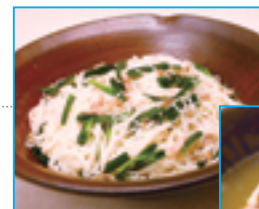
ちゅーや、みーふあらき ふえーく くわーたくとう、
きっさから やーく などたん。
今日は、朝ご飯を食べるのが早かったので、
先ほどから、お腹が空いていた。

いえーさ。わぬんげ まちかんていー いえーたん。
そうか。私も待ち遠しかった。

給食け とぅかとり おーふぁ。
給食に使っている野菜。

ごーやー (にがうり), つきでくに (島にんじん), たまな (キャベツ)

<自分たちの地域に伝わる琉球料理>



そーみん
(ソーマン)



そーき (豚のあばら肉)

宮 古 きゅーぬ きゅーしょくや のーがらやー。



きゅーや、あさむぬー ーおーぬどう ぴやーかたいばどう

きっさから ばたー やーすーやーす。

今日は、朝ご飯を食べるのが早かったので、
先ほどから、お腹が空いている。

あんちーな。ばんまい まちうかにどう ういう。
そうか。私も待ち遠しい。

ごーら (にがうり), きうだいうくに (島にんじん)
たまな (キャベツ)

<自分たちの地域に伝わる琉球料理>



ごーらいいうきう
(にがうり炒め)



いっずぬまーすに
(魚の塩煮)

八 重 山 きゅーぬ ぴろーむのーや のーかやー。



きゅーや、しうとうむでいぬ づんぼん はいしゃ ほーだーどう

きさから やーさ しーだ (しーる)。

今日は、朝ご飯を食べるのが早かったので、
先ほどから、お腹が空いていた。

あんじー。ばぬん まちかんていー
しーだゆー。

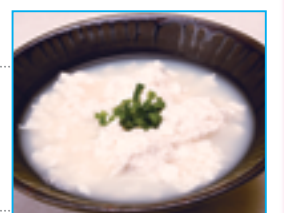
そうか。私も待ち遠しかった。

ごーやー (にがうり), きうだいうくに (島にんじん)
たまな (キャベツ)

<自分たちの地域に伝わる琉球料理>



あーさする
(アーサ汁)



ゆしどうふ

与 那 国 すーぬ 給食や ぬかやえー。



すーや、ひり ふんすんが はやたるんがら, きさがら だーさぬ ならぬたん。

今日は、朝ご飯を食べるのが早かったので、
先ほどから、お腹が空いていた。

いしない。あぬん まていかんていどう
ぶたる。

そうか。私も待ち遠しかった。

ぐや (にがうり), きんだぐに (島にんじん)
たまな (キャベツ)

<自分たちの地域に伝わる琉球料理>



なんとう
(ナントウ)

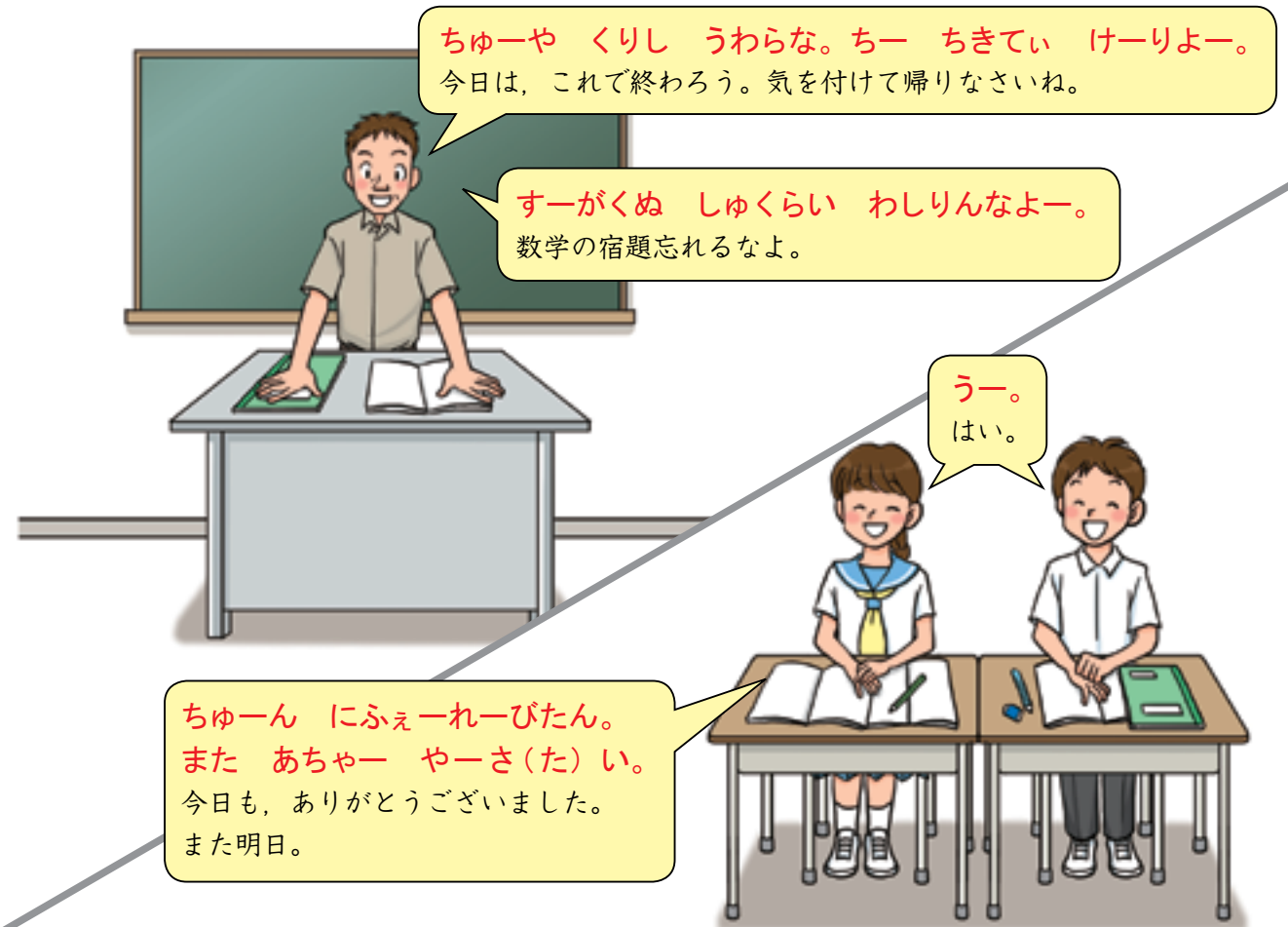


ちまとうぶ
(とうふ)

ちゅーん はまてい びんちょー さんろー。
今日も頑張って勉強したよ。



今日は、どんな一日でしたか。昨日とは違う新しい発見もあったことでしょう。帰りの会が終われば、部活動へ向かう人、まっすぐ帰る人、いろいろなパターンがありますね。あなたはどちらかな。



北 部 ちゅーん はまてい べんきょー しちゃんどー。



ちゅーや、うっさち うわらー。きー ちきてい けーりよー。
今日は、これで終わろう。気を付けて帰りなさいね。
数学ぬ 宿題 わっしらんきよー。
数学の宿題を忘れるなよ。
あー。
はい。

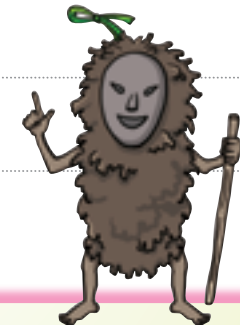


ちゅーん にふえーいゑーびたん。また あちゃーん ならーち とうらしそーりよー。
今日も、ありがとうございました。また明日。

宮 古 きゅーまい ぎうばり べんきょー
っしうたいうどーや。



きゅーや、くいしー しうまいやー。 きうぬー ちうき やーんかい ぴりよー。
今日は、これで終わろう。気を付けて家に帰りなさいね。
数学ぬ 宿題ゆ ばっしいうなよー。
数学の宿題を忘れるなよ。
おー。
はい。
きゅーまい、たんでいがーたんでい。また あつあやー。
今日も、ありがとうございました。また明日ね。



八 重 山 きゅーん ぎばり びんきょー すーだ。



きゅーや くりし うわりてい きうー ちうけー やーかい はりよー。
今日は、これで終わろう。気を付けて帰りなさいね。
すーがくぬ べんきょー ばしうきなよー。
数学の宿題を忘れるなよ。
うー。
はい。
きゅーや にふあいゆー。また あつつあらー。
今日も、ありがとうございました。また明日。



与 那 国 すーん いでいんでいび 勉強 きたんどー。



すーや、うし しまるー だならどっ ひるどっ。
今日は、これで終わろう。気を付けて帰りなさいね。
数学ぬ 宿題 ばちんなゆー。
数学の宿題を忘れるなよ。
おー。
はい。
すーや あらーぐ ふがらさ。また あったや。
今日も、本当にありがとうございました。また明日ね。



なまから 部活動。練習かい いちゅん。

これから部活動。練習に行く。



正規の授業が終わり、放課後は部活動の時間。体育系や文科系、あなたの学校には、いくつかの部が活動していますか。太郎君は、野球部に所属しています。さあ、これから練習が始まりますよ。



北 部 つなんまから 部活動。れんしゅーけ いちゅん。

つなんまや 大会めー いえーくとう、そーしーぬぐとう れんしゅー すん。
今は、大会前なので、実戦形式で練習します。

あー。はい。

まじや ぼーる なぎーすとう、ぱっと ふいすとう、
わかりてい 試合 しち んだー。
まずは、球を投げる方（守備側）とバットを持つ組（攻撃側）に分かれて試合をしてみよう。

あっしねーや、くるる ひきしみてい するてい いかな。
それでは、心を引き締めて、そろって行こう。

あっしねーや、にん いってい いかー。
さあ、それでは集中していこう。

※このページの文章をひとつ選んで、自分の地域のしまくとうばに訳してみましょう。

宮 古 んなまから 部活動んかい 練習っしうが いきう。

んなまー、大会まい やーば、試合とう んーだかなしー 練習すーでい。
今は、大会前なので、実戦形式で練習します。

んー（んがな）。 はい。

まずがーてい たもー なぎうぐみとう うちうぐみとん ばかーり
試合ゆ しーみー。
まずは、球を投げる方（守備側）とバットを持つ組（攻撃側）に分かれて試合をしてみよう。

あちうかー きうもー わいてい するい いかやー。
それでは、心を引き締めて、そろって行こう。

ずー、あら きうもー たみ いかやー。 さあ、それでは集中していこう。

八 重 山 くりからー ぶかつどー、れんしゅー しな はるん。

きゅーや ずぶんまい やりき ふんとーぬ かたちうし れんしゅー さらー。
今は、大会前なので、実戦形式で練習します。

うー。 はい。

まぞー たまなんぎーとう ぱっとう むちうに ばがれー
しあい しー みやーむー。
まずは、球を投げる方（守備側）とバットを持つ組（攻撃側）に分かれて試合をしてみよう。

あんずかー きう しうめーり するいり いからー。
それでは、心を引き締めて、そろって行こう。

さー あんずかー しゅーちゅー しーり はじみら。 さあ、それでは集中していこう。

与 那 国 ないがらー 部活動。練習んき んでいひるん。

ないや、大会まいどう あるんがら 実践形式し 練習 きるん。
今は、大会前なので、実戦形式で練習します。

おー。 はい。

までいや たまなんぎる ？とっとう ぱっとう ふる くみんき ばがりてい
試合 きーんぬわー。
まずは、球を投げる方（守備側）とバットを持つ組（攻撃側）に分かれて試合をしてみよう。

いた、くぐる くんちみてい するいてい ひろー。
それでは、心を引き締めて、そろって行こう。

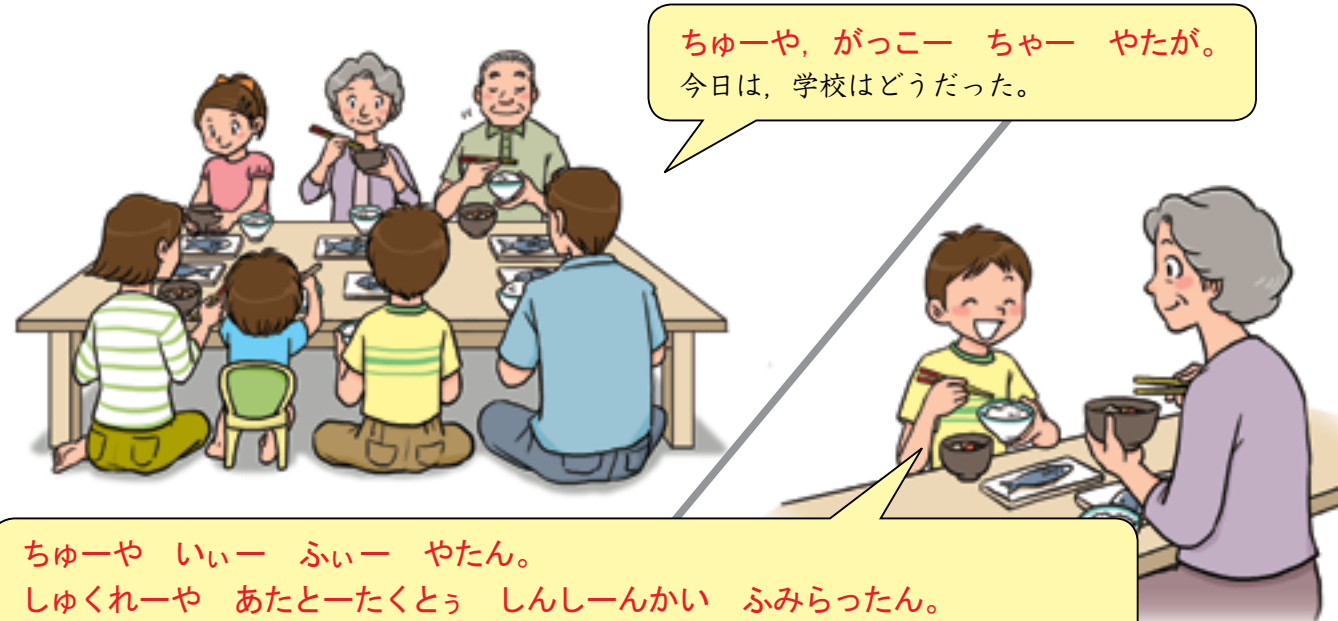
でいー、いた、集中 きてい ひろー。 さあ、それでは集中していこう。

ちゅーや いいー ふいー やたん。

今日は良い日だった。



晩ご飯も終えて、一家団らんの時間です。太郎君は、今日一日を振り返っています。充実した一日だったようですね。みなさんは、どんなことを家族に話しますか。



ちゅーや、がっこー ちゃー やたが。
今日は、学校はどうだった。

ちゅーや いいー ふいー やたん。
しゅくれーや あたとーたくとぅ しんしーんかい ふみらったん。
うりから きゅーしょーこー、まーさむん づんじとーたん。
あんし、部うってー ホームラン うっちゃん。
今日は良い日だった。宿題（の答え）が合っていたので先生にほめられた。
それから給食では、美味しいものが出ていた。そして、部活動ではホームランを打った。

やみ、ゆたさたんやー。
そう、良かったね。

北 部 ちゅーや いいー つぴー いえーたん。



ちゅーや、がっこー ちゃっち げーたる。
今日は、学校どうだった。
ちゅーや いいー つぴー いえーたん。宿題や あたとんでいち
せんせーけ ふみらったん。
今日は良い日だった。宿題（の答え）が合っていたので先生にほめられた。
うりから 給食や まーはむん いじとーたんどー。
あっち、部っちや ホームラン うっちゃん。
それから給食では、美味しいものが出ていた。そして、部活動ではホームランを打った。
いえーん、づきわたんやー。 そう、頑張ったね。



宮 古 きゅーや ぞー ぴうかじうどう やたいう。



きゅーや、学校や のーばしーが やたりやー。
今日は、学校どうだった。
きゅーや ぞー ぴうかじうどう やたいう。宿題ぬ あたり うたいばどう
しんしーん ふみらいたいう。
今日は良い日だった。宿題（の答え）が合っていたので先生にほめられた。
ういから 給食んな、んまむぬぬどう いでい うたいうどー。
あんちー しってい 部ーんうていや、ホームランぬどう うちうたいうじゅー。
それから給食では美味しいものが出ていた。そして、部活動ではホームランを打った。
あんちーなー、ぞーむぬさいが。 そう、良かったね。



八 重 山 きゅーや いー ぴゅーる やだ。



きゅーや、がっこーや のーしどう うだ。
今日は、学校どうだった。（何かあった。）
きゅーや いー ぴどぅ やだ。
宿題ぬ くだいぬ あたりてい しんしーかい ふみらりだ。
今日は良い日だった。宿題の答えが合っていたので先生にほめられた。
うりから ぴろーむのーや んまさーる むんぬ いでーだ。
あんてー 部ー（ん）がれーや ホームラン うっちゃん。
それから給食では美味しいものが出ていた。そして、部活動ではホームランを打った。
あんじー でいかしえーれんゆらー。 そう、良かった（でかした）ね。



与 那 国 すーや いーちどう あたる。



すーや、がっくや ぬんに ぶたが。
今日は、学校どうだった。（何かあった。）
すーや いーちどう あたる 宿題が あたいぶたば しんしんき ふみらりたん。
今日は良い日だった。宿題（の答え）が合っていたので先生にほめられた。
うんからんき 給食にや まーる むぬんがどう とんでいぶたる。
うんにてい、部にや ホームラン うていたん。
それから給食では美味しいものが出ていた。そして、部活動ではホームランを打った。
いしー、どうつとぅ まいふな。 そう、良かったね。



ちゅらばな とぅめーいが いかな。
きれいな花を探しに行こう。



ゲームなどがなかった昔は、わらべ歌の「ていんさぐぬ花」で歌われているように、草花などの身近な材料が遊ぶときの道具になりました。どんな草花で遊んだり、おしゃれをしたりできるかな。



ちゅらばな とぅめーてい んーら。
まーんかい いけー あがやー。
きれいな花を探しに行こう。どこに行けばあるかな。
こーえぬんかい いけー あるはじ。
公園に行けばあるでしょう。

ぬー とぅめーれー しむがやー。
何を探せばいいかな。
ていんさーぐーぬ はな やれー、
ちみ すみてい あしぱりーんろー。
ハウセンカの花だったら、爪を染めて遊べるよ。
あんやみ。
りっか、あんしえー とぅいが いか。
そうか。
さあ、それでは取りに行こう。



※うぬふかねー ちゃーねーるー あしびぬ あがやー。この他には、どんな遊びがあるかな。

北 部 ちゅらふあな かめーいが いかー。



ちゅらふあな かめーいが いかー。
だーけが いかわ あーるやー。
きれいな花を探しに行こう。
どこに行けばあるかな。
こーえんけ いきね あーさに。
公園に行けばあるでしょう。
ぬー かめーいねが ましがやー。
何を探せばいいかな。
つちーちゃんくぬ ふあな いえーねー、
つとぅみけ すみてい あすわりんどー。
ハウセンカの花だったら、
爪を染めて遊べるよ。
いえーん。でいーかー、あん いえーねー
とぅいが いかー。
そうか。さあ、それでは取りに行こう。

※うぬふかにや、ちゃんねぬ あすあが あーる。この他には、どんな遊びがあるかな

宮 古 かぎぱながもー とぅみが ずー。



かぎ ぱながもー とぅみが ずー。
んざん いきぱが あいーがらやー。
きれいな花を探しに行こう。
どこに行けばあるかな。
こーえんかい いきぱどう
あいーざ あらんな。
公園に行けばあるでしょう。
のーゆ とぅみりぱが ぞーかりやー。
何を探せばいいかな。
ていんさぐぬ ぱな やちうかー
ちうみゆー すみ あすぱいどう っしうどー。
ハウセンカの花だったら、爪を染めて遊べるよ。
あんちーな。ちーあら（ずーあら）
とぅいうが いか。
そうか。さあ、それでは取りに行こう。

※うぬぷかんな のーばしーぬ あすぴうぬが あいーがらやー。
この他には、どんな遊びがあるかな。

八 重 山 かいしゃーる はなゆ とぅみな いからー。



かいしゃーる はなゆ
とぅみな いからー。
きれいな花を探しに行こう。
どこに行けばあるかな。
こーえんかい いくねー
はな たかーに あん あらぬ。
公園に行けば、花がいっぱいあるでしょう。
のーぬ はな とぅみばどう
みしゃーるかやー。 何の花を探せばいいかな。
きんじやく やるかー
ちうみ すめー あすぱりん。
ハウセンカの花だったら、爪を染めて遊べるよ。
あんじ、でいー あんずかー
とぅんな はら。
そうか。さあ、それでは取りに行こう。

※ふかんが のーしぬ あすびぬ あんかやー。この他には、どんな遊びがあるかな。

与 那 国 あびやる はな みきんでい ひらぬん。



あびやる はな みきんでい ひろー。
んまんき ひるば あかやー。
きれいな花を探しに行こう。
どこに行けばあるかな。
こーえんき ひたや ある はでいどう。
公園に行けばあるはずだよ。
ぬーば みきりや んさかや。
何を探せばいいかな。
きんたぐぬ はなんどう あたや、
んみんき すみてい
あんぱりるんどー。
ハウセンカの花だったら、爪を染めて遊べるよ。
いしー。
でいー、いた とぅいんでい ひろー。
そうか。さあ、それでは取りに行こう。

※うか ふがにや、ぬんにぬ あんびんが あかやー。この他には、どんな遊びがあるかな。

くさばな さーに あしばな。

草花で遊ぼうよ。

女の子と同じく、男の子たちも草花を使って遊んでいました。植物を使った遊びには、どんなものがあるかな。



ちゅーや ぬーっし あしぶが。
今日は、何をして遊ぼうか。
やさ。あんしゅー すーていちやーぬ ふぁーっし
くー ちゅくらな。
そうそう、それではソテツの葉で虫カゴを作ろう。

じょーとー ちゅくいぶさぐとぅ たんめーんかい
ならいが いか。
上手に作りたいから、おじいさんに習いに行こう。
いー。あんしゅー ならいが いかな。
そうだね。それでは習いに行こう。
ちゅくたる くーんかいや ぬー いりーが。
作った虫カゴには、何を入れようかな。
わんねー さんさなー いりーぶさっさー。
私は、クマゼミを入れたいなあ。



※ふかぬ くさばなっし ありくり ちゅくてい んーら。 他の草花で、いろいろな物を作ってみよう。

北 部 くさばなち あすわー。

ちゅーや、ぬー しち あすゐが。
今日は、何をして遊ぼうか。
いゑーっさ、あっちしーねー
いとうとうぬ ふぁーっち むしかご
とぅくらー。
そうそう、それではソテツの葉で虫カゴを作ろう。
じょーとーに とぅくいびさくとぅ、
つんめーけ なれーが いかー。
上手に作りたいから、おじいさんに習いに行こう。
んー。あっしねーや なれーが いかー。
そうだね。それでは習いに行こう。
とぅくたる むしかごけ ぬーが
いりーる。
作った虫カゴには何を入れようかな。
わぬや あーさんさ いりびさん。
私は、クマゼミを入れたいなあ。

※ふかぬ くさばなっち ありくり とぅくてい んだー。 他の草花で、いろいろな物を作ってみよう。

※このページの文章をひとつ選んで、自分の地域のしまくとうばに訳してみましょう。

宮 古 ふうさばながましー あすば。

きゅーや、のーゆ しーが
あすばっちやー。今日は、何をして遊ぼうか。
あんちー やちうかー むしうかぐー
すていちうぬ ぱーしー つっふあ。
それでは虫カゴをソテツの葉で作ろう。
じょーじうん つっふあってい うむい ういば
しゅーんかい なるーが いか。
上手に作りたいから、おじいさんに習いに行こう。
あんちーやー。あちうかー なるーが ずー
(いか)。 そうだね。それでは習いに行こう。
つっふうたいう むしうかぐんな
のーゆが いじでいがらやー。
作った虫カゴには何を入れようかな。
ぱーやー なかちうがーしうどう
いじぶしうかいう。
私は、クマゼミを入れたいなあ。

※ぶかぬ ふうさばなしー たていだい つっふいみー。 他の草花で、いろいろな物を作ってみよう。

八 重 山 はなゆ あつめー あさば。

きゅーや のーどう しー あさぶかやー。
今日は、何をして遊ぼうか。
あんじらー、あんずかー していーずぬ
はーし むしうかごー つくら。
そうそう (そうだね)、それではソテツの葉で
虫カゴを作ろう。
じょーとーに つくりぶさーりきー、
うしゅまいんかい ならい くー。
上手に作りたいから、おじいさんに習いに行こう。
あんじらー。
あんずかー ならい くーでいー。
そうだね。それでは習いに行こう。
つくれーる むしうかごーんかいやー
のーどう いりーかやー。
作った虫カゴには何を入れようかな。
ばなー さーんさんどう
いりぷさーる。
私は、クマゼミを入れたいなあ。

※ふかぬ はなーしゅー いろんな むぬ すくり みやーむー。 他の草花で、いろいろな物を作ってみよう。

与 那 国 つつあーばな し あんびんぬおー。

すーや ぬばきー あんぶんが。
今日は、何をして遊ぼうか。
いしやー、いた とぅでいちぬ
はーし むちばぐ つくるー。
そうそう、それではソテツの葉で虫カゴを作ろう。
どぅつとぅに つくいぶさるんがら、
あさんき ならいんてい でいー。
上手に作りたいから、おじいさんに習いに行こう。
いしやー。でいー ならいんてい
ひろー。
そうだね。それでは習いに行こう。
つくわる むちばぐんきや ぬば
いりらるかやー。
作った虫カゴには何を入れようかな。
あぬや さんさんどう いりぶさる。
私は、クマゼミを入れたいなあ。

※ふかぬ つつあーばな しー、いるんなむぬ つくいんぬや。 他の草花で、いろいろな物を作ってみよう。

中南部 くさばな きーくさぬ なー

しらびてい んーら。

草花や草木の名前を調べてみよう。



私たち一人ひとりに名前があるように、植物にも名前が付けられています。私たちの身近な植物は、しまくとうばではどのような名前が付けられているのか調べてみましょう。私たちが普段呼んでいる名前と比べてみると面白いかもしれませんよ。



リーぐ
デイゴ



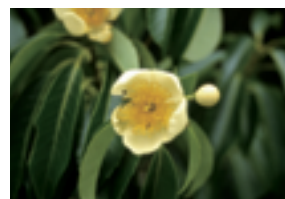
あかばな
ハイビスカス



あかぎ
アカギ



がじまる
ガジュマル



いじゆ
イジュ



うー ※ばしょうの糸で織った
パショウ 布は“パサー”といいます。 リュウキュウバライチゴ



いちゆび



ばさない
バナナ



くば
ビロウ



ゆーな
オオハマボウ



さんにな
ゲットウ



まーち
リュウキュウマツ

北部 くさとうか ふぁなとうか きーとうか、なー
しらびてい んだー。



でいーぐ
デイゴ

あかばな
ハイビスカス

あかぎ
アカギ

がじまる
ガジュマル

いどー
イジュ

うー バショウ
→芭蕉布 (うーばさー, うーばさぎぬ)

いちよい
野イチゴ

ばさない
バナナ

くば
ビロウ

ゆな
オオハマボウ

さんにな
ゲットウ

まとうー
リュウキュウマツ



×
モ

※このページの文章をひとつ選んで、自分の地域のしまくとうばに訳してみましょう。

3 遊び

宮古 ふうさばなとっか きーぬ なーゆ しらびみー。



どー ふうきうぎー

デイゴ

あかばな

ハイビスカス

あかいうぎー

アカギ

がざまぎー

ガジュマル

ばそーぬぬ

バショウ

むとーびう

野イチゴ

ばそーないう

バナナ

くば

ビロウ

ゆーな

オオハマボウ

さにな

ゲットウ

まちうぎー

リュウキュウマツ



八重山 のーぬ ふさどー やるかやー
しらべー みやーむー。



ずーぐ

デイゴ

ぐしーくぬはな

ハイビスカス

あっかん

アカギ

がざむねー

ガジュマル

いじゆ

イジュ

ばそー バショウ

→芭蕉布 (ばそーきん)

やまたんす

リュウキュウバライチゴ

ばそんなる

バナナ

くば

ビロウ

ゆーな

オオハマボウ

さみん, さんみん

ゲットウ

まちう

リュウキュウマツ



与那国 つつぁー はな きぬなー ちらびんぬやー。



でいんぐい

デイゴ

ぐすぬはな

ハイビスカス

あがんき

アカギ

さんがい (き)

ガジュマル

いどー (き)

イジュ

ばす

バショウ

はたらんぎてい

野イチゴ

ばす (ぬ) ない

バナナ

くば

ビロウ

どーにんば

オオハマボウ

さんにな

ゲットウ

まち (き)

リュウキュウマツ



中南部 いちむし ぬ なー, なちゆる

くいー しらびてい んーら。

昆虫や動物の名前や鳴き声を調べてみよう。



植物と同じように、昆虫や動物にも名前があります。私たちの身近な昆虫や動物は、しまくとうばではどのような名前がついているのか調べてみましょう。私たちが普段呼んでいる名前とは、どのように違うのかな。【 】は鳴き声です。



なーびかちかちー
リュウキュウアブラゼミ
【なーびかちかちー】



さんさんー
クマゼミ
【さんさんさん】
【わしわしわし】



じーわじーわ
クロイワツクツク
【じーわー】



あたびちゃー
カエル
【がーくがーく】



はーペーるー
チョウ



いさとー
カマキリ



かーにーぐんばー
リュウキュウツヤハナムグリ



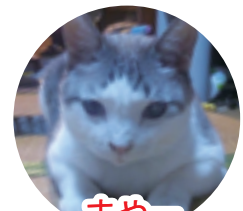
ちんなん
カタツムリ



あーけーじゅー
トンボ



はちゃー
ハチ



まやー
ネコ
【まーうー】



ゝゑんちゅ
ネズミ
【びちびち】



ふいーじゃー
ヤギ
【んーペー】



つわー
ブタ
【ぐいーぐいー】



とぅい
ニワトリ
【こっこれーうー】

北部 むしとうか いきむしぬ なー, なちゆる くいー しらびてい んだー。



なーびかちかちー【なーびかちかちー】(リュウキュウアブラゼミ),
あーさんさ【さんさんさん】(クマゼミ), あーさんさ【うーわ】(クロイワツクツク),
あーさんさ【けーんけーんけーん】(オオシマゼミ),
ゝわーたっこー【がーくがーく】(カエル), はべる(チョウ), さーるー(カマキリ),
かにべんさー(リュウキュウツヤハナムグリ), くすべんさー(アオドウガネ),
ゝとぅんな(カタツムリ), あけどぅ(トンボ), ふあち(ハチ),
まやー【みやうみやう】(ネコ), ゝゑっちゅー【ちゅーちゅー】(ネズミ),
ゝぴーじゃー【ペー】(ヤギ), ゝわー【ぐーぐー】(ブタ), とぅい【こころっけー】(ニワトリ)

×
モ

※このページの文章をひとつ選んで、自分の地域のしまくとうばに訳してみましょう。

3 遊び

宮古 むしうがまや いきうむしうぬ なー, なきうぐいゆ しらびみー。



なびがーしう(リュウキュウアブラゼミ), なかちうがーしう(クマゼミ),
ふうなた(カエル), ぱびいう(チョウ), さーる(カマキリ),
んーな(カタツムリ), びーいう(トンボ),
ぱちう(ハチ), まゆ(ネコ), ゆむぬ(ネズミ), ぴんざ(ヤギ),
わー(ブタ), とぅいう(ニワトリ),



八重山 いきむすぬ なー, なきぐい しらべー みやーむー。



なーびかちかちー(リュウキュウアブラゼミ),
さんさん【さんさんさん】(クマゼミ), じーわ【さんさん】(クロイワツクツク),
あうだ【がーくーがーくー】(カエル), はべる(チョウ),
かぎっっちゃ(カマキリ), かにごーやー(黄金虫), つだみ(カタツムリ),
かけーず(トンボ), ぱじう(ハチ), まやー【みやう みやう】(ネコ),
うえんちゅ(ネズミ), ぴびじゃ【んペー んペー】(ヤギ),
おー(ブタ), やーどる【こけこっく】(ニワトリ),



与那国 むちや いちぬちぬ なー, なぐくい ちらびんぬおー。



うるむさんさんてい【じっじーじっじー】(イワサキクサゼミ),
さんさん【さんさんさん】(クマゼミ), さるがてい【ぎーぎー】(クロイワツクツク),
あうだ【ぐあーぐあー】(カエル), はびる(チョウ), あやみはびる(ヨナグニサン),
いさとま(カマキリ), あんしゃみ(リュウキュウツヤハナムグリ), んだみ(カタツムリ),
あぎだん(トンボ), はた(ハチ), まゆ(ネコ), うやんとぅ【ちゅーちゅー】(ネズミ),
ひびだ【んペー】(ヤギ), わー【げーげー】(ブタ), みた【こけこっこー】(ニワトリ)



なまから こーいむん しーが いちゅん。
これから買い物に行く。



みなさんは、家の手伝いをしますか。^{そうじ}掃除や^{せんたく}洗濯、料理などいろいろありますが、買い物も大切なお手伝いです。太郎君は、お母さんに何を買ってきてとお願いされたのかな。

たろー、あまぬ まちやんかい、こーいむん しーが、つんじ とうらしえー。
太郎、あそこのお店へ買い物に行ってくれるかな。

うー。ぬー こーてい ちゃーびーが。
はい。何を買ってこようか。

たまなーとう くみ こーてい っち
とうらしえー。
キャベツと米を、買ってきてちょうだい。

うー。あんしえー つんじ ちゃーびら。
はい。それでは行ってくるね。

いいー つくわ やさ。
とー あんしえー つんじ くーわ。
いい子だね。それでは行ってらっしゃい。

北 部 つなんまから こーいむぬ しーが いちゅん。

たろー、あまぬ まちやけ こーいむぬ しーが いじ こー。
太郎、あそこのお店へ買い物に行ってくれるかな。

あー。ぬーが こーてい ちゅーる。
はい。何を買ってこようか。

たまなとう くみ こーてい こー。
キャベツと米を、買ってきてちょうだい。

あー。あっしねーや いじ くーやー。
はい。それでは行ってくるね。

いいー つくわどー。とー、いじ こー。
いい子だね。それでは行ってらっしゃい。



宮 古 んなまから むぬー こーが (いきい)。

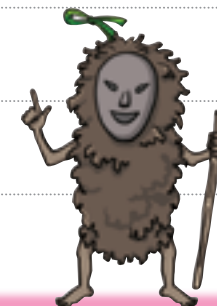
たろー、かまぬ まっちゃんき むぬー かい きうし ふうーじゃーんな。
太郎、あそこのお店へ買い物に行ってくれるかな。

んがな。のーゆが かい くーっちゃー。
はい。何を買ってこようか。

たまなとう まいうず かい きし ふうーる。
キャベツと米を、買ってきてちょうだい。

んー。あちうかー いき くーっどー。
はい。それでは行ってくるね。

まいふうかがま。あら いき くー。
いい子だね。それでは行ってらっしゃい。



八 重 山 なまから むぬ かいな はるん。

たろー、あぬ まちやから むぬ かいきー ひーらぬ。
太郎、あそこのお店へ買い物に行ってくれるかな。

おー。のーどう かやーつて。
はい。何を買ってこようか。

たまなーとう まいゆ かいきー ひーりや。
キャベツと米を、買ってきてちょうだい。

おー。あんずかー いき くい。
はい。それでは行ってくるね。

ぼーれーぼーれー。あんずかー いき くーよー。
いい子だね。それでは行ってらっしゃい。



与 那 国 ないがら かいむんき ひるん。

たろー、かまぬ みしゃんき かいむぬ きんてい ひーとうらぬな。
太郎、あそこのお店へ買い物に行ってくれるかな。

おー。ぬば かいくかや。
はい。何を買ってこようか。

たまなーとう んに、かいし とうらしんに。
キャベツと米を、買ってきてちょうだい。

おー。いた いていてい くだよー。
はい。それでは行ってくるね。

まいふな。あがみていえー いた いていていこー。
いい子だね。それでは行ってらっしゃい。



まちやぐわー うてい、こーいむん すん。
お店にて、買い物をする。



太郎君がお店に到着しました。さて、買い物をするとき、しまくとうばだどのような会話になるの
でしょうね。



ちゃーびらさい。
ごめんください。
はい、めんそーれー。ぬー こーいが。
はい。いらっしやい。何を買うの。
たまなーとう くみ、うてい くいみそーれー。
キャベツと米を（売って）ください。
にふえーろー。
ありがとう。

くれー ちゃっさ やいびーが。
これは、いくらですか。
むるっし、にしえんぐひやくいん やさ。
合計（全部）で、2500 円です。
また つち とうらしよー。
また来てちょうだいね。
にふえーれーびるさい。
ありがとうございました。



北 部 まちやううてい、こーいむぬ すん。

ちゃーびら。
ごめんください。
もーいそーれー。ぬーが
こーいそーいる。
いらっしやい。何を買うの。
たまなとう くみ こーらー。
キャベツと米を（売って）ください。
にふえーどー。
ありがとう。
くりや ちゃっさ げーる。
これは、いくらですか。
むるっち、
にせんぐひやくいえん。
合計（全部）で、2500 円です。
また ちー とうらしよー。
また来てちょうだいね。
にふえーいゑーたん。
ありがとうございました。

宮 古 まっちゃん うてい、むぬー こー。

んもーい かーさーちー。
ごめんください。
んみやーち。のーゆが かーでい。
いらっしやい。何を買うの。
たまなとう まいいうず
ふーいーさーち。
キャベツと米を（売って）ください。
たんでいがーたんでい。
ありがとう。
くりやー いすか やりやー。
（のーふうさが）
これは、いくらですか。
んーなし 2500 円。
合計（全部）で 2500 円です。
また くーよー。
また来てね。
おー、また くーでいー。
はい、また来ます。

八 重 山 まつやかい かいむぬ しに いくん ゆー。

くよーんなーら。
ごめんください。
おーりとーり、のーどぅ
かよーるねーら。
いらっしやい。何を買うの。
たまなとう まいゆ かーしょーり。
キャベツと米を（売って）ください。
にふあいゆー ふこーらさゆ。
ありがとう。
くれー いこーびかやー。
これは、いくらですか。
むーるし
にしえん ごひやくえんゆ。
合計（全部）で 2500 円です。
また くーよー。
また来てね。
にふあいゆー。
ありがとうございました。

与 那 国 みしやに、かいむぬ きるん。

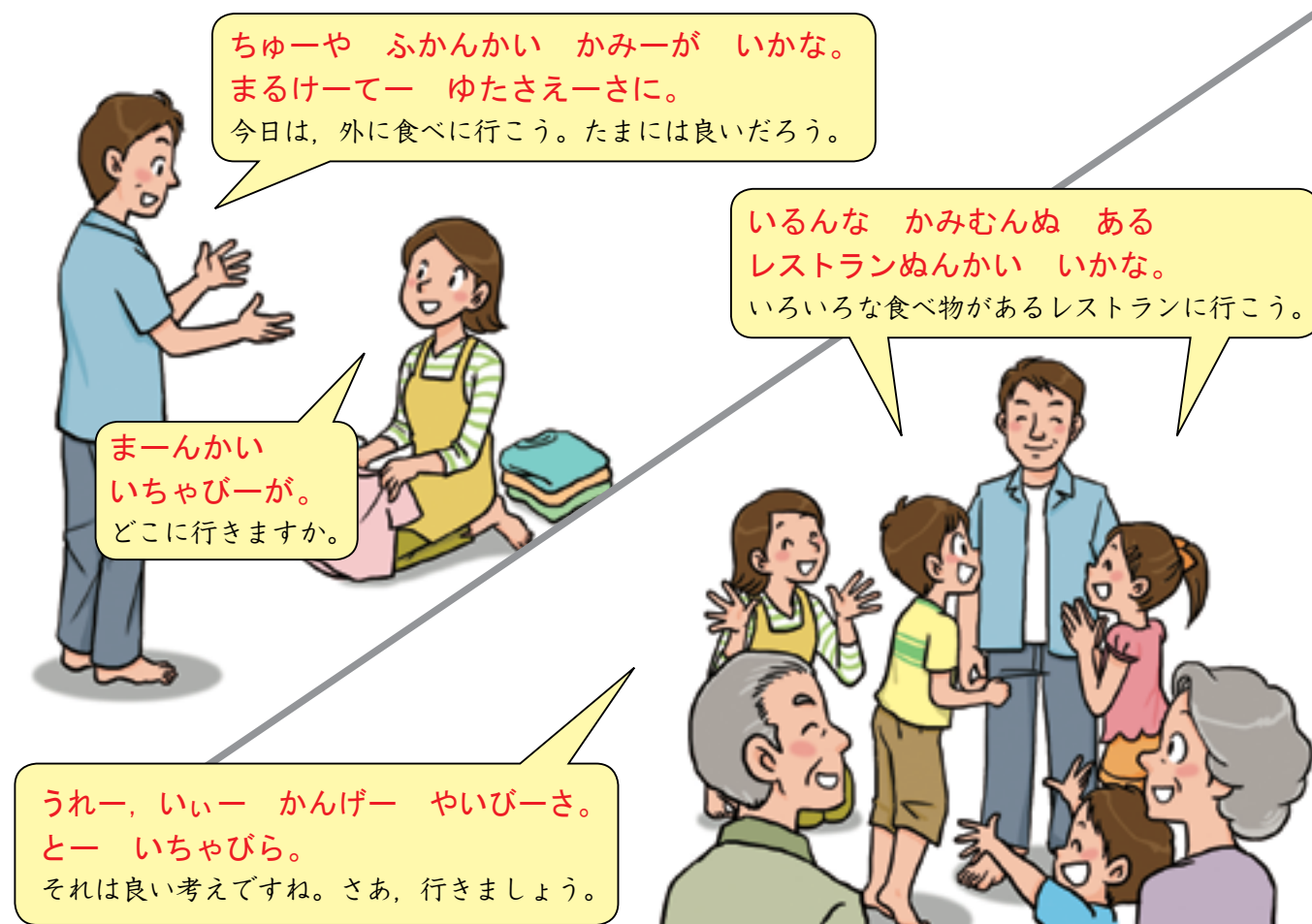
たーん わるかやー。
誰かいますか。（ごめんください。）
すんでいさー。ぬば くんが。
いらっしやい。何を買うの。
たまなーとう んに
ういとうらしわれ。
キャベツと米を（売って）ください。
ふがらさ。 ありがとう。
うや いぐらていば
あいわるかや。
これは、いくらですか。
ぶーるし にしんぐひやぐいん。
合計（全部）で 2500 円です。
また くーよー。
また来てね。
あらーぐ ふがらっさー。
ありがとうございました。

ちゅーや ふかんかい かみーが いかな。

今日は、外に食べに行こう。



家族が作ってくれる食事美味しいものですが、たまに家族そろって行く外食もいいものです。家庭では味わえない料理を家族で囲むのも、より美味しさが増します。みんなは、外食に行くなら、何を食いたいかな。



北 部 ちゅーや ふかけ かみが いかな。



ちゅーや ふかうてい
かみが いかー。
まるけーてい すみさに。
今日は、外に食べに行こう。
たまには良いだろう。

だーけが いちゆる。
どこに行くの。

いるんな くえーむぬぬ
まんどる レストランけ いかー。
いろいろな食べ物がある
レストランに行こう。

うりや、いいー かんげー いえーさ。
でいか いかー。
それは良い考えですね。さあ、行こう。

宮 古 きゅーや ぷかんかい ぷおーいが いか。



きゅーや ぷかんかい
ぷおーいが いか。
びょーすんな じょーぶんな
あらんな。
今日は、外に食べに行こう。
たまには良いだろう。

んざんかいが いかっちゃー。
どこに行きますか。

いるたていだていぬ ぷおーむぬ
あいう レストランかい いか。
いろいろな食べ物がある
レストランに行こう。

うりやー ぞー かんがい。
ずー いか。
それは良い考えですね。
さあ、行きましょう。

八 重 山 きゅーや ふかんが いでー
ほいー みやーむー。



きゅーや ふかんが いでー
ほいー みやーむー。
ぷうとうげんなーや
みしゃーんさー。
今日は、外に食べに行こう。
たまには良いだろう。

ずまかい はりやー。
どこに行きますか。

のーんくい しこーれーる
ほいむぬやーかい ぞぞー。
いろいろな食べ物がある
レストランに、さあ行こう。

うれー みしゃーんらー。
でいー はら。
それは良い考えですね。
さあ、行きましょう。

与 那 国 すーや、ふがんき はいんでい ひろー。



すーや、ふがんき
はいんでい ひろー。
たまにや んさどぅ あるない。
今日は、外に食べに行こう。
たまには良いだろう。

んまんき あるんが。
どこに行きますか。

いるんな はいむぬんが ある
レストランき ひろー。
いろいろな食べ物がある
レストランに行こう。

うや いー かんがいどぅ
あいわる。でいー つかいるー。
それは良い考えですね。
さあ、行きましょう。

まーさむのー ぬーぬ あがやー。

美味しいものは、何があるかな。



美味しいものがたくさん並んでいると、何にしようか悩んでしまいますね。太郎君と家族は、何を注文するのでしょうか。みなさんだったら、何を食べたいですか。しまくとうばで注文できたら楽しいでしょうね。



ましやし ちゅーむんし しむんろー。

好きなものを注文していいよ。

ぬー ちゅーむんすがやーんち かんげーとーしが、ぬーや ましやがやー。

何を注文しようか考えているんだけど、何がいいかな。

わんねー、すてーけー まし。

私は、ステーキがいい。

わんねー、ちゅーかりょーりから いらぶさ。

私は、中華料理から選ぶよ。

まーさぎさっさー。とー、あんしえー かま。

くわっちー さびら。

美味しそうだね。さあ、それでは食べよう。いただきます。

まーさんやー。

おいしいね。



北 部 まーはむんや あっかやー。



まし いえーす あとうりてい すみんどー。

好きなものを注文していいよ。

ぬー あとうりがやーでいち うむとすが、ぬーが まーはるやー。

どれにしようかと思っているんだけど、何が美味しいかな。

わぬや、ステーキや まし。

私は、ステーキがいい。

わぬや、中華料理から いらぬん。

私は、中華料理から選ぶよ。

まーはぎさぬ。

とー、くわーてい んだー。

美味しそうだね。さあ、食べよう。

まーはんやー。

美味しいね。

宮 古 んまむぬー のーぬが あいうがらやー。



おーぶしうかい ぬぬー

ちゅーもんなしー じょーぶんどーや。

好きなものを注文していいよ。

んじんかい すーでいがらやーてい うむい

ういっすがどう、のーぬが んまんかいがらやー。

どれにしようかと思っているんだけど、何が美味しいかな？

ばーや、ステーキぬどう ましう。

私は、ステーキがいい。

ばーや、中華料理から

いらばでい。

私は、中華料理から選ぶよ。

んまぎやー。ずー あー。

あーつとー。

美味しそうだね。さあ、食べよう。

いただきます。

んまーんまやー。

美味しいね。

八 重 山 んまさーる むぬんが のーしぬ
むぬんどう あだがやー。



ほいぶさーる むぬ たぬみや。

食べたいものを注文しなさい。

のーどう ほーかやーで

うむやーうすんが、

のーどう んまさーるかやー。

何を食べようかと思っているんだけど、何が美味しいかな。

ばなーや、うすぬ にくどう ます。

私は、ステーキ（牛の肉）がいい。

ばなーや、とーぬ ふあいむぬから

とうみらんば。

私は、中華料理から選ぶよ。

んまさんがしゃー そーらー。

ほい みやーむー。とーらりるんどー、

<とーらるなーらー>。

美味しそうだね。さあ、食べよう。いただきます。

んまさーそーらー。

美味しいね。

与 那 国 まーるむのや ぬんが あかや。



まっちやる むぬがら あちらい

きんさんどう。

好きなものを注文していいよ。

ぬんき きーまちかやんでいどう

うむいぶんがどう ぬばが まーかや。

どれにしようかと思っているんだけど、何がいいかな。

あぬや、ステーキどう まち。

私は、ステーキがいい。

あぬや、中華料理がらどう

いらばりる。

私は、中華料理から選ぶよ。

まーさぎさんがえー、でいー

はいんだげ。

美味しそうだね。さあ、食べよう。

たばらりる。 いただきます。

まんがえー。 美味しいね。

中南部 うちなー 中南部ぬ あまくま

うんちけー さびら。

おきなわ

沖縄島中南部のいろんな所をご案内しましょう。



沖縄には、年間何百万人という多くの観光客が訪れます。その観光客は、沖縄のどんな観光地を巡っているのでしょうか。まずは、沖縄島の中南部を回ってみましょう。あなたなら、どこを案内しますか。

首里城(那覇市)



うごく やいびーん。
首里城です。

なーかんかい いっち みーてい
ちゅーしが、うからふあーふ
やいびーん。

中に入って見えてくるのが、首里城正殿です。

んかし、くまんかいや
すいていんがなしーが
めんそーちゃん。

昔、ここには国王がいらっしゃいました。

ちかさんかいや、すぬひゃんうたき
たまうるんとかぬ あいびーん。

近くには、園比屋武御嶽や玉陵など
があります。

白銀堂(糸満市)



くまんかいや
「いじぬ つんじらー ていー ふいき、
ていーぬ つんじらー いじ ふいき」
んり いーる、
ちてーばなしぬ あいびーん。

ここには
「意地が出るなら手を引きなさい、
手を出すなら意地は引きなさい。」
という言い伝えがあります。



くまー 白銀堂んり いーる
とくくる やいびーん。
ここは、白銀堂という所です。

勝連グスク(うるま市)



くりから いちゅしや
かつちんぐすく やいびーん。
これから行くのは、勝連グスクです。



あまわりんり いーる あじぬ めんそーちやる ぐしく やいびーん。

阿麻和利という、按司がいらっしゃったグスクです。

むふん うくちゃんり いーる ちてーばなしぬ ある あじぬ ぐしく やいびーん。

むほんを起こしたという言い伝えがある按司のグスクです。

ちちやさる とくまんかいや なかぐしくぐしくん あいびーん。

近くには、中城グスクもあります。



たまねー わらびぬ うむさする とくくるんかい
うんちけー さびら。
たまには、子どもがおもしろがる所にも案内しましょう。

おきなわしんかい ある
おきなわこどものくに やいびーん。

沖縄市にある沖縄こどもの国です。

いちむし からとーる とくくまん、
あしびどくくるん あてい
わらびんちゃんかい にんきぬ ある
とくくる やいびーん。

動物園や遊び場があって、子どもたちに人気の
ある所です。



沖縄こどもの国(沖縄市)

玉泉洞(南城市)



くぬ がまー ぎょくせんろーんり
いやびーん。
このどうくつは玉泉洞といいます。



がまびかーのー あらん、んかしぬ
やーやしちとか はぶ ちかなとーる
とくくまん あいびーん。

ガマだけではなく、昔の家屋しきやハブを飼育して
いる所もあります。

北部 つなんまから うきな一ぬ ほくぶぬ

あまくま あんねー さーやー。

おきなわじま

沖縄島北部のいろんな所を案内しよう。



沖縄には、年間何百万人という多くの観光客が訪れます。その観光客は、沖縄のどんな観光地をめくっているのでしょうか。次は、やんばると呼ばれて親しまれている沖縄島の北部を回ってみましょう。あなたなら、どこを案内しますか。

くまや むかしや リューキゅーぬ ていーち ないぬ めー、
ふくざんとしち さけーたる ぐすく いえーん。

ここはかつて琉球が統一される前、北山として栄えていたグスクだ。

むとぶけ あてい、ふいるびるとう しち
まぎはぬ なだけーな ぐすく いえーん。

本部半島にあって、広くて大きな
グスクとして有名だ。

やんばる まむいぬ かなみぬ ぐすく
いえーたん。

やんばるの地を守る要のグスクだった。

な きじん
今帰仁グスク(今帰仁村)



なきじんぐすくいえーびん。
今帰仁城跡です。

海洋博記念公園(本部町)



うきなーうっていん 一番ぬ
みーどくる いえーん。
沖縄を代表する観光名所だ。



とくに じんべいざめとか
かーまんたぬ ううぬ
ちゅら海水族館や、
みやーぬ まんどん。

特にジンベイザメやマンタがいる
「美ら海水族館」は、人気がある。

ふいとうぬ オキちゃん劇場ん
ふおーくぬ ちゅー
たぬしみ しみとん。

イルカのオキちゃん劇場も多くの人を
楽しませている。

×
モ

※このページの文章をひとつ選んで、自分の地域のしまくとぅばに訳してみましょう。

5 観光案内

おん な
恩納村のビーチ



うきなーでい いーねー おーはぬ
つみー おーはぬ ていに。
沖縄といえば青い海と青い空。



あっち、まっさーらな すなはま。
むぬ うむいうむいぬ すがい
しち つみー たぬしどん。
そして真っ白な砂浜。
みんな思い思いの恰好で、海を楽し
んでいます。

こ いうり
古宇利島(今帰仁村)



いーちてーぬ ふぁなしっちゃや あらぬ、
ちゅらはぬ つみーや すなはま、
あっち がすすとうかぬ つみーぬ むぬぬ
でーじな まーはぬ とくま いえーん。
伝説だけでなく、きれいな海や砂浜、
そしてウニなどの海産物もおいしいところだ。



うきなーんちゅぬ ふぁじみてい つまーりたる とくくるでい つやっとぬ
ちてーばなしぬ あーる くーりじま。

沖縄の人類発しょうの地であるという伝説があるのが古宇利島。

つなんまや くーりおーはしぬ あんでいぬ くとぅち なだけーな とくくる。
今では古宇利大橋があることでも有名。

宮古 くまからー みゃーくぬ うまかもー

あんないすーやー。

これから宮古のあちこちをご案内しましょう。



沖縄には、年間何百万人という多くの観光客が訪れます。その観光客は、沖縄のどんな観光地を巡っているのでしょうか。次は沖縄島を離れ、宮古地区を訪れてみましょう。あなたなら、どこを案内しますか。



まえはま 前浜ビーチ(宮古島市)

みゃーくー だいひょーっしゅ ぱまーしー、
しうまぴゅーちやーなー あらだなしー
やまとうぬ 観光客まい うぱーたどう
みーが きうしう。

宮古島を代表するビーチで、島の人だけでなく
ヤマトの観光客も大勢訪れます。



ながさー 7kmまい ありってい、んーなぐーや さらさらてい かぎむぬ。
長さは7Kmもあり、白い砂はサラサラとして、きれいです。

みゃーくんかいどう なちうぬ きうしゅーてい しうっさす「全日本トライアスロン みゃーく
たいかい」ぬ、うゆぎうぬ スタートまい ゴールまい なり ういう とくくるさーい。
宮古島の夏の訪れを告げる「全日本トライアスロン宮古島大会」のスイム、スタート、ゴール地点にもなっ
ています。

いけましづげん 池間湿原(宮古島市)



38ヘクタールまい あいう にほんな
いちうばん うぱーぶぬ
どるいむなしー、うぱーたぬ とういう、
むしう、いうずぬきやー みーらいいう
みじうらしう とくくるさーい。
38ヘクタールもある日本で一番大きな湿原
で、多くの鳥や昆虫、魚たちが見られる貴重な
場所です。



いきまじうまぬ まんなかん あいう
どるいむましー、ゆにむい、
いーぬぶーていまい あいうざい ういう。
池間島の真ん中にある湿原で、ユニムイ、
イーヌプーとも呼ばれています。

×
モ

※このページの文章をひとつ選んで、自分の地域のしまくとうばに訳してみましょう。

5 観光案内



ひがしへんな 東平安名崎(宮古島市)

おーおーぬ すらとっ おーおーぬ
いむぬ みーらいいう かぎ とくくる。
うまん たち うちうかー、きうむしうだー
しうき かじぬどう ふうき ぴういう。

青い空と青い海が見える美しい場所です。
気持ち良い風が吹き抜けていきます。

しーがちうぬ あがいていどー うがむ
ていーまい なーだ かとくくるさーい。
さきうん いかっていーぬ なかばがまん
ちうんだらーしう あばらぎみどうんてい
なーや とくゆまし ういう
まむやが ばかまいどう あいうさーい。
初日の出を見ることのできる場所としても有名で、
岬のど中には、悲劇の美女として名を知られる
マムヤの墓もあります。



とらぬばぬ ぱなん
あいう さきう。
宮古島の南東の端にある岬です。

いらぶじうもー しーかいすつつ とくきやんな かならじう しゃしんな ぬーりぬ
とくゆむ 観光どくくる。

伊良部島を紹介いするときには必ず写真が載る有名な観光の場所です。

ふうたーちうぬ いきやー ふうかーふうかぬ とくくるんうてい つぎやーり うてい、
あらーぬ いむとー じうーぬ しうたぬ がまとう つぎやーり ういうさーい。
二つの池は深いところでつながっていて、外の海とは地下の洞窟で結ばれています。

いらぶじうまぬ
いいうぬ いむん
あいう ふうたーちうぬ
いき。
伊良部島の西海岸にある
二つの池です。



通り池(宮古島市)

八重山

くりからーや やいまぬ
あまくま つかさなーら。
や え やま
これからは八重山のあちこちをご案内しましょう。



おきなわ
沖縄には、年間何百万人という多くの観光客が訪れます。その観光客は、沖縄のどんな観光地をめぐっているのでしょうか。次は沖縄島をはなれ、八重山地区を訪れてみましょう。あなたなら、どこを案内しますか。



くぬしゅまぬ
いんぬふあーぬ ちぐち。
いしがきじま
石垣島の北西部にある湾。



しゅまぬ、とぅむすんがれー やでーん ちゅかーれーる なーむちる とぅくる。
石垣島の観光ポスターには、必ずといっていいほど使われる有名な場所です。

くぬ ちゅぐちえー いんぬ すーぬ かいしゃーり とぅきうとう ていだぬ
ぐあいし すーぬ いるぬかーり たかでいとう がらすぬふにから
まーりみせーり うむっさ しーる みぐとぅな とぅくる。

川平湾は海の水がすんでおり、時間や光の加減で、いろいろと海の色が変わり、高台やグラスボートから回って、多くの人たちの目を楽しませている有名な所です。



しゅかぬ いしやなぎらなんがー
えーまんが はじみてい
たていだ ていら。
や え やま
石垣市石垣にある八重山で
初めて建てられた寺です。
1614 にん さつまから
あんかれーり つくるだ。
1614 年に、さつまはん すす
薩摩藩の勤めによって
建てられました。

ペーリふちゅぬ すばぴゅさなんが たちる におーや なま ぬくりる うちゅなんがれー
うきなーんが むつとぅむ ふるさーる きーぬ くりむぬし けんぬ 文化財かい なりん。

さんもん
山門の左と右に立っている仁王像は、現在残っている中では沖縄で最も古い木ぼりの像として、県指定の有形文化財となっています。

×
モ

※このページの文章をひとつ選んで、自分の地域のしまくとうばに訳してみましょう。

5 観光案内

うきなーんが とぅび
んでー かいしゃーる
すなだぬ しゅまで
あんかばん みしゃーんらー。
沖縄を代表する美しい
風景の島といえるでしょう。



あかがーらやー うーるぬ ぐすく すすいのーぬ みちゅ、やーぬ ういぬ しーさー
ぐしょーくぬ はな なーだ いるぬ くゆさーり かいしゃーる はなばなぬ すなだ。
くりどぅ てーどぅん。

赤がわら屋根の家やサンゴの石垣、白砂の道、屋根の上のシーサー、そして、ハイビスカスなど色あざやかな花々が咲く原色の花々が咲く風景。それが竹富島。

うりたんがーや あらなー。むかすからぬ ようしきぬ ぐらしぬ なかなんが
いかされーすん てーどぅん。

それだけではありません。伝統や古い文化が、生活の中に生きているのも竹富島です。



いりむていしゅまーや
うきなーんがれー
にばんめー
まいしゃーる しゅま。
西表島は、沖縄県では沖縄島に
次いで面積の大きい島です。



ちきゅーんがれー くぬしゅまたんがーぬ いきむぬ「いりむてい やまやー」であんき
あったらむぬ かい なりる。

世界では西表島だけにしかない、天然記念物の「イリオモテヤマネコ」でも有名です。

うぬふかんがー なかまかーら ぴないさーら うきなーんがれー くまたんがーぬ
ぴるまりーる とぅくる。

その他にも、仲間川やピナイサーラの滝など、沖縄では他に見ることができない風景が広がっています。

与那国 ないがー，どうなんちまぬ
うまかま 案内き うやん。
これからは与那国のいろんな所をご案内しましょう。



沖縄には、年間何百万人という多くの観光客が訪れます。その観光客は、沖縄のどんな観光地をめぐっているのでしょうか。次は沖縄島をはなれ、与那国島を訪れてみましょう。あなたなら、どこを案内するかな。



日本最西端の碑(与那国町)

うなが んさたや 台湾が
んなりる どうぐるんでい うとうたがん。
運が良ければ、台湾が見える場所として有名です。
また、ていだんが うんながんき
いりる 光景や んんでいん んだにた
あびやんどー。 また、太陽が海にしずんでいく光
景も何とも言えないほど美しいよ。



うまどう だまとうぬ
いっていん いりぬ
はていぬ だー。
ここは日本で、最西端の地。



ヨナグニサン (あやみはびる)

ヨナグニサンや 日本に いっていん まいさる はびる、
どうなんにや あやみはびるんでい どう んでい ぶる。
ヨナグニサンは日本最大の「ガ」で、与那国ではアヤミハビルと言っている。

日本にや どうなんとう、いりむていにどう ぶる。 日本では与那国島と西表島にしかいません。
あやみはびるかんにや うぬ あやみはびる つかないぶん。
アヤミハビル館では、このアヤミハビルを飼育しています。



アヤミハビル館(与那国町)

×
モ

※このページの文章をひとつ選んで、自分の地域のしまくとぅばに訳してみましょう。

5 観光案内

なんたはまや どうなん つとうぬ
ちむすらしどうぐる。
なんた浜は、与那国島の人の心の故郷です。
うたに あるに、どうなんちまぬ
いっていん うとう たがる
どうぐるどう ないぶるゆ。
歌にも歌われていて、
与那国では一番有名な場所でもあります。



なんた浜(与那国町)

たぎや 30メートル あん。 高さ30メートルもあります。
ちまん つとうんたや 「かんぬいてい」 んでい どう んでいぶいてい、
見張台がら んぬ しがたや、かんぬいていぬ なーぬ とーり みぐとうどうー。
島の人々は、「神の岩」と呼んでいて、展望台からの姿は、神の岩という名前の通り見事です。

立神岩(与那国町)



どうなんちまぬ みーぬふわぬ
うんながに ある うぶいていどう
たていがみいてい ないぶる。
与那国島の南東部(巳の方角)の
海にある大きな岩が立神岩です。



わったー しまぬ はーりーや みぐとぅな むん。

私たちの故郷のはーりーは、見事なものだ。🔊



はーりーは、豊漁や海の安全を願って行う祭りです。

沖縄で行われるはーりー行事の中でも「那覇はーりー」は最大規模で、およそ600年の歴史があるといわれています。

ちゅーや はーりー、
まじゅーん んーじが
いかな。
今日ははーりーの日。
いっしょ
一緒に見に行こう。

わんにん そーてい
づんじ くいみそーれー。
私も連れていってください。

いー。
まじゅん いか。
いいですよ。
一緒に行こう。



んかしえー、はーりーぬ ひーや
ゆっかぬひーに うくなとーたん。
昔は、はーりーの日は、
(旧暦の)5月4日に行っていたんだよ。



中南部各地の行事

中南部の各地域にはいろいろな行事があり、その地域に住む人々が大切に守り続けてきました。あなたの地域には、どのような行事がありますか。

しまくとぅば ちかてい、しまぬ しちびんかい んーな まじゅーん
いかな。
しまくとぅばを使って、故郷のお祭り（行事）に、みんなと一緒に
参加しよう。



↑ 那覇大綱曳き



↑ 獅子舞フェスティバル



↑ 全島えいさー祭り



↑ 与那原大綱曳き



↑ 海神祭（座間味村）



↑ 糸満はーれー（※糸満では、はーれーと言います。）

わね しまぬ むらうどういや、でいきとん。
私たちの島の村踊りは、見事なものだ。



むらうどい（村踊り）は、豊作や村の人々の安全を願って行う祭りです。

ちゅーや むらうどうい
いえーくとう、
まんな みーが いかー。
今日は村踊りだから、一緒に
見に行こう。



すやぬ うながみや、やんばるうっていや
なー うりとる まつり いえーんどー。
塩屋のうながみは、北部で有名な祭りなんだよ。

わぬ そーてい いじ
とらしえー。
私を連れて行って下さい。



みんなーがなしー

はーれーぬ
でーじな うっさん。
はーリーが、
とてもおもしろいよ。



北部の行事



↑ 塩屋のうながみ



↑ 安田のしぬぐ



↑ 安和のうしてーく



↑ 久志の若按司（久志区）



↑ 屋部の八月踊り

ぱんとうーや みゃーくんうていや なーだか
まちっりどーや。

ぱんとうーは、^{みやこ}宮古では有名な祭りなんだよ。



ばんたが しうまぬ ぱんとうーや、みゃーくぬ しうまじうーんどー あいう。
わたしたちの島のぱんとうーは、宮古の島中にあります。

ばぬー さーり いき
ふいーさーち。
私を連れて行って下さい。



きゅーや ぱんとうー やーば
まーちっき みーが いか。
今日はぱんとうーだから、
いっしょ
一緒に見に行こう。



どろー どろが んーなんかい
たっかーし、ぴうとー
ういきしうまーい。
どろを自分のからだにぬりたくって、
人を追いかけて回る。



ぱんとうー

宮古の行事



↑城辺上区の獅子舞



↑川満棒踊り



↑うるかくいちゃー



↑まつばら
松原の獅子舞



↑やーます御願



↑池間のくいちゃー



↑ともり
友利のくいちゃー



↑友利獅子舞

ばがー しゅまぬ ぷーりゅや みぐうとう。
わたしたちの島の豊年祭は、見事なものだ。



ぷーりゅ（豊年祭）は、豊漁や海の安全を願って行う祭りです。集落ごとに行われる祭りで、八重山で行われる行事の中でも規模が大きく、人々が楽しみにしている行事です。

きゅーや ぷーりゅどう
やりきー、まーぞんさーり
いきって みしら。
今日は豊年祭だから、一緒に
見に行こう。

ばぬん、さーり いき ひょーり。
私を連れて行って下さい。

なー うつあれーんどー。
有名なんだよ。

しゅかあざぬ あんがまーぬ
むんどーや うむっさんどう。
四箇字のあんがまーの問答が、
おもしろいよ。



あんがまー

八重山の行事



↑ 竹富のたにどうり



↑ 西表祖納のしつまつり



↑ 波照間のむしやーま



↑ 小浜結願祭



↑ 川平のまゆんがなし



↑ ゆっかぬひー



↑ 四か字豊年祭 つなぬみん

ばーちまぬ うがんふとうていや
みぐとぅな むぬどぅー。
わたしたちの島の豊年祭は、見事なものだ。



うがんふとうてい（豊年祭）は、豊漁や海の安全を願って行う祭りです。
与那国で行われる行事の中でも、「どうんた」や「^{おど}棒踊り」はみんなが楽しみにしています。

すーや うがんふとうていどう
あるんがら、まどぅん
んにんてい でいー。
今日は豊年祭だから、
一緒に見に行こう。



たんでい あぬ
すいひー とぅらしんに。
私を連れて行って下さい。



うとったがる まちりどう
ないぶる。
有名な祭りなんだよ。

「どうんた」き「ぶー つかい」
あらーぐ、うむつつぁんどー。
「どうんた」と「^{おど}棒踊り」が、
とてもおもしろいよ。



どうんた

与那国の行事



↑ぶーぶーどういし（棒踊り）



↑たていうさい



↑みていうた



↑くぶらまちり



↑うがんふとうてい

いいー そーぐわち れーびる。

良いお正月です。



一年の計は元旦にありといわれます。元日には、家族が集まってきちんとあいさつを行い、一年の抱負などを述べ合うのも良いかもしれませんね。

あなたの今年の正月はいかがでしたか？

いいー そーぐわち
なとーんやー。
良いお正月になりましたね。

にんとうーぬ えーさち
うんぬき やびら。
年頭のあいさつをします。

くとうしん ゆたさるぐとう うにげー さびら。
今年もよろしくお願いします。

北 部 いいー そーぐわち やー。

にんとうーぬ えーすとう しーが
つちゃん。
年頭のあいさつに来ました。
いいー そーぐわち やー。
良い正月です。

くたいん ゆたはるぐとうやー。
今年もよろしくね。

宮 古 かぎ しょーがちうんどー なり ういう。

しょーがちうぬ あいさつちう
すーでい。
年頭のあいさつをします。
かぎ しょーがちうやー。
良い正月です。

くとうしうまい たかさーしー
かいーさーち。
今年もよろしくお願いします。

八 重 山 いー しょんぐわじうー。

にんとうぬ あいさちう っさりんゆー。
年頭のあいさつをします。
いー しょんぐわじうー。
良い正月です。

にんとうぬ あいさちう っさりんゆー。
今年もよろしくお願いします。

与 那 国 いー すんがていどう ないぶるゆ。

にんとうぬ あいさてい っありるん。
年頭のあいさつをします。
いー すんがてい。
良い正月です。

くとうちん いーくとうゆ
あらみとーらしわり。
今年もよろしくお願いします。



正月にうたわれるうたを調べてみましょう。

中 南 部 / 北 部 「かじゃでいふう」(かぎやで風)

あらたまぬ とっしに たんとう くぶ かじゃてい
くくるから しがた わかく なゆさ。

新年に炭とこんぶをかざって、心から若くなったような心持ちがする。

きゆうぬ ふくらしやや なをうにじゃなたている
ちぶでいうる はなぬ ちゆちゃ たぐうとう。

今日のうれしさは何に例えよう。つぼんでいる花がつゆに出会って花が開いたようだ。

宮 古 「とーがにあやぐ」

うぶゆ ていらしゆる まていだだき 国ぬ 国々
島ぬ 島々 ていりやーがり うすいよ～。

大世を照らしている真太陽（ティダ）のように 国の国々、島の島々を照りかがやき統治する～。

八 重 山 「ばしうぬ とおりうぶし」(わしの鳥節)

～ しょんぐわじうぬ しうとうむでい ぐわんにちうぬ 朝ばな あがるかい
飛びちうけ ていだば かめ まいちうけ。

(7・8番の歌詞) 正月の早朝に 元日の朝まだきに

(若わしは) 東の方に飛んでいった太陽をいただいてまて行つた。

※与那国では、正月には中南部と同じように「かぎやで風」がうたわれるのが一般的です。

中南部 むーちー ちゅくてい、 とうしぬ

かじぬ むーちー さぎらな。

むーちーを作って、年の数のむーちーを下げよう。



旧暦の12月8日は「むーちー」を食べる日です。「さんにな（月桃）」の葉に包まれた「むーちー」は、よい香りがする、おいしい食べ物ですね。また、みんなの年の数だけヒモで結んで天井からつるす風習もあります。またこの時期は、「むーちーびーさ」といって、一年でも寒くなる季節でもあります。おいしい「むーちー」をたくさん食べて、身も心も暖かくなりましょう。

むーちー うふおーく ちゅくてーぐとう ちゅふあーら かみよー。
むーちーをたくさん作ってあるから、お腹いっぱい食べてね。

あいえー、まーさぎさんやー。
とー、ていーちえー かりんーら。
ああ、おいしそうだね。
それでは、ひとつ食べてみよう。



北部 うりむちー とうくてい、
とうしぬ かじ うりむちー さぎらー。

うりむちー ふおーく とうくてくとう、
わたみちゆか くえーよー。
むーちーをたくさん作ってあるから、お腹いっぱい食べてね。
まーはぶちやげらはぬ。
だー、ていーち くわーてい んだー。
おいしそうだね。それでは、ひとつ食べてみよう。



※このページの文章をひとつ選んで、自分の地域のしまくとぅばに訳してみましょう。

6 年中行事

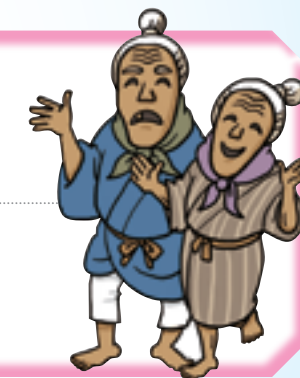
宮古 むっちゅう ちうっふい、とうしぬ
かずだき むっちゅう さぎやー。

むっちゅう うばーた つっふい
うきば ばたーんちうきや あいよー。
むーちーをたくさん作ってあるから、お腹いっぱい食べてね。
あがんにや（あば）、んまぎやー。
あら、ぴうていーちう あいみー。
ああ、おいしそうだね。それでは、ひとつ食べてみよう。
(※最近では宮古の家庭でもムーチーを作ったりしますが、
本来、宮古にはムーチー行事は行われていませんでした。)



八重山 むつば つくり
とうすぬ かず さげー みやーむー。

むつ たかーに ちうくれーりきー
ばだぬ んちうんけん ほういよー。
むーちーをたくさん作ってあるから、お腹いっぱい食べてね。
いびー、んまさんがしゃーそー あんずかー
ぴていーず ほうい みやーむー。
ああ、おいしそうだね。それでは、ひとつ食べてみよう。



与那国 むてい つくいてい、
とうちぬ かでい さんぎるん。

むてい まーしく つくいあんがら、ばた んくた はいばえー。
むーちーをたくさん作ってあるから、お腹いっぱい食べてね。
あー、まーさんぎさんがえー。いた ？とうち はいんぬー。
ああ、おいしそうだね。それでは、ひとつ食べてみよう。



ちゅーや しーみー。するてい はかめーが いか。
 せいいさい
 今日は清明祭。みんなで墓参りに行こう。

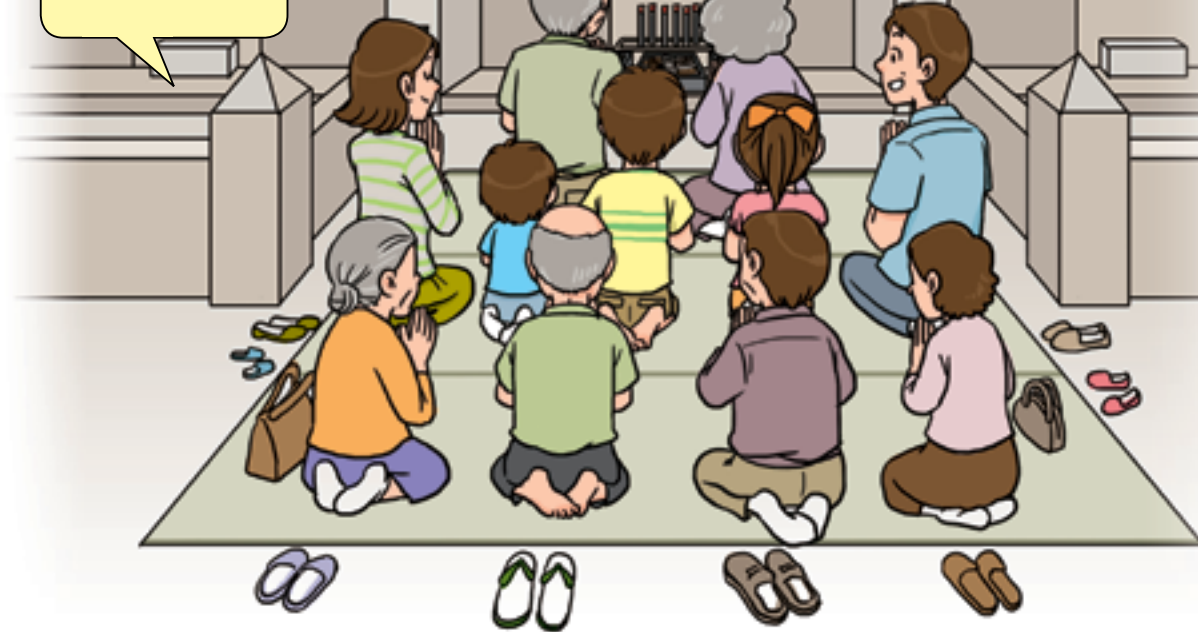


沖縄島では、4月のはじめに「しーみー（清明祭）」を行います。そのときは、家族や一族が集まって墓参りをして、ごちそうをお供えして、ご先祖さまを供養します。

うやふぁーふじんかい うーとーとうしえーやー。
 ご先祖さまに、うーとーとーしなさいね。

うーとーとう。
 うーとーとー。

うーとーとうしから、うさんれー さやー。
 うーとーとーしてから、ごちそうをいただこうね。



ちゅーや しーみー。
 むんどーり すりてい ふぁかけ いかー。

うやふぁーふじけ とーとう しえー。
 ご先祖にうーとーとーしなさいね。

とーとう しちから、さんでー さーやー。
 うーとーとーしてから、ごちそうをいただこう。

うーとーとう。
 うーとーとー。



宮 古 ・ 八 重 山 ・ 与 那 国

きょうは十六日祭。みんなで墓参りに行こう。



宮古や八重山、与那国では、「十六日祭（じゅーるくにちー）」が盛んです。「じゅーるくにちー」は、旧暦の1月16日に行う墓参りです。あの世（後生）の正月といわれています。

宮 古 きゅーや じゅーるくにちう。
 んーなし ぱかんかい いか。

きゅーや じゅーるくにちう やーば んまむぬー くーつうい きうしうたいう。
 んーなしー んきぎさーち。

今日は十六日祭だから、ごちそうを準備してきました。みなさんでお召し上がりください。

ずー、んーなしー ていーや かみっていから、んまむぬー ぶあー。
 さあ、みんなで手を合わせて、ごちそうをいただこう。

八 重 山 きゅーや じゅーるくにちう
 むーるさーり はかかい はららー。

きゅーや じゅーるくにちう やりきー こっきー しこーりきーだ けーらし
 おいしとーんなーらー。（んこーりよー。んきやーとーりよー。）

今日は十六日祭です。ごちそうを準備してきました。みなさんでお召し上がりください。

でいー、けーらし ていー うさーし こっきー とーらりら。
 さあ、みんなで手を合わせて、ごちそうをいただこう。

与 那 国 すーや どうぬくにてい。
 ぶーる まどうん はがんき でいー。

すーや どうぬくにてい どう。うさい しくんき すんどう。
 ぶーるし うやしわれ。

今日は十六日祭です。ごちそうを準備してきました。みなさんでお召し上がりください。

でい、ぶーるし ていー うさしてい、うさい たばらりるー。
 さあ、みんなで手を合わせて、ごちそうをいただこう。

ちゅーから しちぐわち。うんけー さびら。

今日からお盆。お迎えしましょう。



旧暦の7月13日から15日までの三日間は、お盆が行われます。ごちそうをお供えて、ご先祖さまを供養する行事です。13日の初日は「うんけー（お迎え）」、14日は「なかび（中日）」、15日は「うーくい（お送り）」の日で、うちかび（あの世で使うお金）を燃やして、ご先祖さまをお見送ります。各地では、「エイサー」や「アンガマ」など、お盆ならではの催しも行われます。

ぶちらん
(仏さん)
とーとーめー
(位はい)

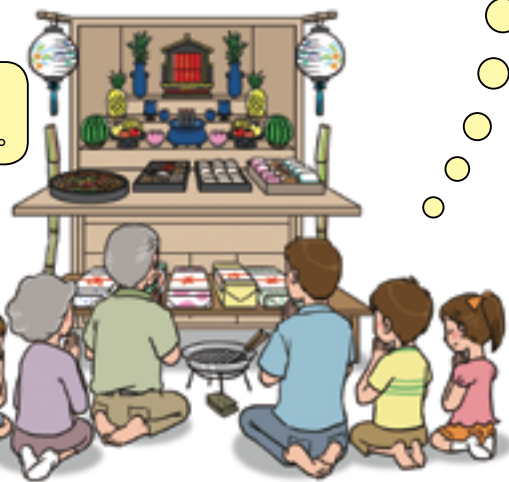


しちぐわちぬ うさぎむん うさがみそーれー。
お盆のお供え物をお召し上がりください。

うんけー さびら。
お迎えしましょう。

うさんれー さびら。
お供えしたごちそうをいただきます。

うーくい さびら。
お見送りしましょう。



太郎くんの地域では、「エイサー」が集落内を回っています。あなたの地域では、どんなお盆行事が行われているかな。

北 部 ちゅーから しちぐわち。むけーらやー。



しちぐわちぬ うさぎむぬ
いいちやぎそーれー。
お盆のお供え物をお召し上がりください。
うんけー さーやー。
お迎えしましょう。

さんでー さーやー。
お供えしたごちそうをいただきます。
うーくい さーやー。
お見送りしましょう。



宮 古 きゅーから しうとうがちう。んかいやー。



しうとうがちうぬ うさぎむぬー
んきぎさまち。
お盆のお供え物をお召し上がりください。
ずー、んかい。
お迎えしましょう。

うさぎむぬー ふあー。
お供えしたごちそうをいただきます。
うとぅもー すー。
お供えしよう（お見送りしよう）。



八 重 山 きゅーから そーろん んかよーら。



そーろんぬ しうこーりむぬ
おいしょーり。
お盆のお供え物をお召し上がりください。
んかよーらー。
お迎えしましょう。

すないだ むぬ（こっきー）
とーらりんどー。
お供えしたごちそうをいただきます。
うくる さーなーら。
お見送りしましょう。

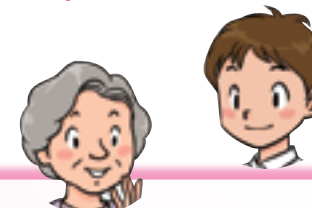


与 那 国 すーがら する。んかるんどう。



するぬ まっचार うさい
うやしわれ。
お盆のお供え物をお召し上がりください。
する んかいうやい。
お迎えしましょう。

まっचार うさい たばらりる。
お供えしたごちそうをいただきます。
する うぐいうやい。
お見送りしましょう。



中南部 ちゅーや、ゐなぐちょーれーが
じゅーさんゆーえー。

ちゅらじん ゆー うちゃーとーんやー。

今日は、妹の十三祝い。きれいな着物が似合っているね。

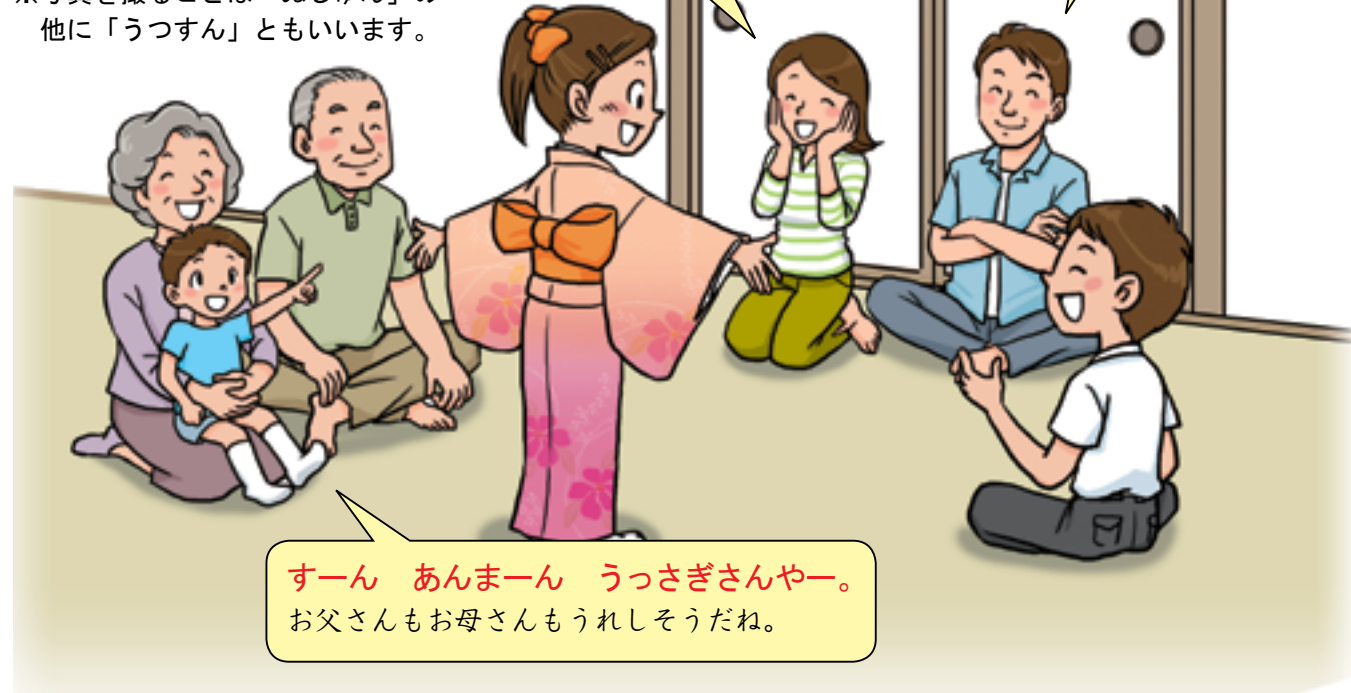


数えの十三歳を迎えると、十三祝いの行事を行います。あなたの家や学校でも、十三祝いをしたこと
でしょう。比嘉家では、太郎くんの妹の夕希さんが、十三祝いを迎えています。おしゃれをした妹はか
わいいですね。みんなも自分の十三祝いを思い出したのではないかな。

ちゅらじん うちゃーとーくとう
さしんやーかい さしん ぬじーが いか。
きれいな着物が似合っているから、
写真館へ写真を撮りに行こう。

ちゅーぬ ゆーきーや、
いっぺー ちゅらさんやー。
今日の夕希は、とてもきれいだね。

※写真を撮ることは「ぬじゅん」の
他に「うつすん」ともいいます。



すーん あんまーん うっさぎさんやー。
お父さんもお母さんもうれしそうだね。

北部 ちゅーや ゐなぐちょーでーぬ じゅーさんゆーいえー。
ちゅらぎぬ ゆー うちゃとん。



ちゅーぬ ゆーきーや、でーじな ちゅらはんやー。
今日の夕希は、とてもきれいだね。

ちゅらぎぬぬ うちゃとくとう、写真やーけ いじ 写真 とういが いかやー。
きれいな着物が似合っているから、写真館へ写真を撮りに行こう。

ちゃーちゃーん あんまーん うっさぎさんやー。
お父さんもお母さんもうれしそうだね。

×
モ

※このページの文章をひとつ選んで、自分の地域のしまくとうばに訳してみよう。

6 年中行事

宮古 きゅーや うとうとうぬ じゅーさんよーいう。
かぎぎうんな ゆーどう ぱいぱい ういうじゃー。



きゅーぬ ゆーきーや ありやみーん あばらぎやー。

今日の夕希は、とてもきれいだね。

かぎぎうぬぬ ぱいーぱい ういば しゃしんやーんかい しゃしんぬ
とういうが いか。

きれいな着物が似合っているから、写真館へ写真を撮りに行こう。

あんなまい、うやまい ぷからしうきやー。

お母さんもお父さんもうれしそうだね。

八重山 きゅーや うとうとうぶなるぬ じゅーさんぬよい。
かいしゃーる きん にあいそー。



きゅーぬ ゆーきーや あっぱりしゃー そーらー。

今日の夕希は、とてもきれいだね。

きんぬ かいしゃーり にやーりきー しゃしん とうんな はら。

きれいな着物が似合っているから、写真館へ写真を撮りに行こう。

びげーん（あっちゃん） ぶねーん（あっぱん） さにんしゃんがさー そーらー。

お父さんもお母さんもうれしそうだね。

与那国 すーや うとうとうぶないぬ どうーさんぬだい。
あびやる んなにんがどう まーてい んしゃる。



すーぬ ゆーきや、あらぐー あびやんがえー。

今日の夕希は、とてもきれいだね。

あびやる んなにんが まーてい んしゃるんがら、
写真やんき 写真 とうんでい でい。

きれいな着物が似合っているから、写真館へ写真を撮りに行こう。

いやん あぶたん あらーぐ しゃなぎどう わるんがえー。

お父さんもお母さんもうれしそうだね。

<ーロ×モ>

沖縄では、自分の生まれた年と同じ干支を生まれ年といいます。丑年に生まれたら、その年が自分
の生まれ年になるわけです。また、生まれ年にはお祝いをしますが、そのことを「とうしびー」とい
います。ですから、十三祝いも「とうしびー」のお祝いになるのですね。十三祝いの次は、25歳で、
そのあとは37歳、49歳、61歳、75歳、97歳になります。

たんかーゆーいえーんかい うんちけーさったん。

満一歳の誕生日に招待された。



赤ちゃんが、満一歳の誕生日を迎えると、「たんかーゆーいえー」といって、誕生日を行います。「たんかーゆーいえー」では、赤ちゃんの前にご飯やそろばん、ノートや筆などを置いて自由に手に取らせます。何を選ぶかによって将来の職業をうらないながら、家族や親せきなどで祝います。あなたは何を選んだかな。家の人に聞いてみましょう。

あきらーや ぬー いらぶがやー。
明は何を選ぶかな。

勝の弟(明)
まさるー
ぬきがちょーれー

まさるーや ちゃー やたが。
勝はどうだった。

勝

(帳面)
ちょーみん

(ご飯)
むぬ

(そろばん)
するばん

(筆)
ふり

(お金)
じん

わんねー、じん とうっとーたんり。
私は、お金を取ったんだって。

あんしが、あきらーや うじらーさんやー。
しかし、明はかわいいね。

北 部 たっかゆーいえーけ ゆわっとん。



あきらや ぬーが とういるやー。
明は何を取るかな。
まさるや、ちゃっち げーたる。
勝は、どうだった。

わぬや じーにー とうたんでい。
私はお金を取ったんだって。
いえーすが、あきらや
ばちきりとんやー。
しかし、明はかわいいね。

ちょーめん(帳面), ふでい(筆), じーにー(お金), するばん(そろばん), めー(ご飯)

宮 古 たんかーよーいーんどう あびらいたいう。

あきらー、のーゆが いらびうがら。
明は、何を選ぶかな。
まさろー、のーしーが やたいう。
勝は、どうだった。

ばがどう じんぬ
とういたいうていぬ。
私はお金を取ったんだって。
あしうが、あきらー いんがなうきやー。
しかし、明はかわいいね。

ちょーみん(帳面), ふでい(筆), じん(お金),
するばん(そろばん), まいう(ご飯)



八 重 山 たんかーよいかい ちうかさりだー。

あきらーや のーどう いらぶかやー。
明は何を選ぶかな。
まさるーや のーしど うだかやー。
勝はどうだった。

ばなー じん とうったかやー。
私はお金を取ったんだって。
やすんが、あきらー あったらさーん。
しかし、明はかわいいね。

ちょーみん(帳面), ふでい(筆), じん(お金),
するばん(そろばん), づんぼん(ご飯)



与 那 国 たんかぬ だinkin つかいりりたん。

あきらや、ぬーば いらぶかやー。
明は、何を選ぶかな。
まさるや、ぬんに ぶたんが。
勝は、どうだった。

あぬや でいんどう とうたるんでい。
私はお金を取ったんだって。
いるんが、あきらや んだらんえー。
しかし、明はかわいいね。

ちょーみん(帳面), ふでい(筆), でいん(お金),
するばん(そろばん), い(ご飯)



んかしんちゅぬ いくとぅば てーしちに しよー。

昔の人たちのことわざを大切にしなさい。



あわていーる なーかー よーんなー (うていちき)。

「急いでいる時こそ、ゆっくり (落ち着いて)。」急いでいるときこそ、冷静に落ち着いて行動しなさい。

・急がば回れ ・せいては事を仕損じる

れーじなたん。がっこー うくりーん。
大変だあ。学校に遅れてしまう。

ふえーく うくちくいれー
しむるむんぬ。
早く起こしてくれたらいいのに！



いすじ いちゅさ。
急いで行ってきます。

れーじなとーさ。かばん わしたん。
大変だよ。かばんを忘れてしまった。

あきさみよー。
(あれまあ。)



ちー ちきてい いきよー。
気をつけて行きなさいよ。

うんなとぅちえー あわていーる
なーかー よんなーるやんろー。
こんなときは、落ち着いて行動するんだよ。

くぬ ふかぬ いくとぅば。(この他のことわざ)

いくとぅばや、てーしちな むん やんろー。(ことわざは、大切なものです。)

たんめー、はんしーから ならてい んーりよー。(おじいさんや、おばあさんから習ってみようね。)

中 南 部

● いちゃりば ちょーれー。(行きあえば兄弟)

「見ず知らずの人でも縁^{えん}あって親しくなれば兄弟のようなもの。」

・そですりあうも他生の縁

● きらまー みーしが、まちげー みーらん。(慶良間は見えるが、まつ毛は見えない)

「慶良間列島は見えるが、目に最も近いまつ毛は見えない。」

・灯台もと暗し

● ぬちる たから。(命こそ宝)

「命はかけがえのない大事なものである。」

・命あつての物種^{ものだね}

● やーなれーが ふかなれー。(家での習いが、外でもそのままの習い)

「家でのしつけの悪いのは、よそでもその通り。家でのしつけは外でも自然に現れるもの。」

・氏^{うじ}より育ち

● いいーつちょー しんぐわんしん こーてい るし し。(良い人は、千貫^{せんがん}で買っても友とせよ。)

「良き友は、大金で買うほどの価値がある。」

※(お金のこと)

・持つべきものは友



むかしんちゅぬ いちえぬ くとぅや わっしていや ならんどー。

(昔の人のことわざは、忘れてはならないよ。)

北 部

● いっくわいなーる うすみじや ぬみる。(一回こそ、塩水も飲む。)

「失敗は一回で十分である。繰り返してはいけない。(潮も水も同格で、苦くて欲しくないもののたとえ)」

・前車の轍は踏まず

● むぬ すそーに しーねー、うやふぁーふじん すそーに すーすとう いいぬむぬ。

(物を粗末にしたら、親祖父母を粗末に扱うのと同じ。)

「物を粗末に扱うことは、祖先を粗末にするのと同じ。」

● かーみぬ くーよか とぅしぬ くー。(亀の甲より年の功)

「年長者の豊富な経験は、貴重で尊敬すべきものだ。」

・老いている馬は道を忘れず

● みみだい?まーぬ ちゅーくーやー。(耳が垂れた馬(おとなしそうな馬)こそ、人を噛む^か)

「温和しそうに耳を垂れている馬が、人を噛むものだ。(人は外見で判断してはいけない。)」

● あがいていだる うがみる。さがいていだや うがまん。

(上がる太陽を拝むもので、下がる太陽は拝まない。)

「明るいことにこそ、心を向けなさい。細かいことでくよくよしてはいけない。」



宮古 んきゃーん ぴうとうぬきゃーぬ
 んきゃーんじゅくー だいじうんすー。
 昔の人たちのことわざを大切にしよう。



うむーちうかー ふうぎうだき あしうちうかー ぴさだき。

思っているうちは首の高さ、やってみると足甲の高さ

※手をつける前は難しそうに見えても、実際にやってみると、案外たやすくできるものだ。

のーばしーが
 すーでいがらやー。
 どうしよう、どうしよう。

いっつい うていーまい
 のーまい ならん。
 あらんや とぅばっどー。
 怖がっていてもしょうがない。
 よーし、跳ぶぞ。

あんちーぬ たかーたかぬ バーや
 とぅばいどう しゅちびやーやー。
 こんなに高いバーを跳べるかなあ。

あがいたんでい。とぅばいどう
 っしうさいが。あしうちうかー
 ないうどう っしうさいが。
 やったー。跳べたぞー。
 やればできるんだ。

うむーちうかー ふうぎだーき
 あしうちうかー ぴうさぬ だきさいが。
 思っているうちは首の高さ、
 やってみると足甲の高さだあ。

※このページの文章をひとつ選んで、自分の地域のしまくとうばに訳してみましょう。

7 ことわざ・言葉

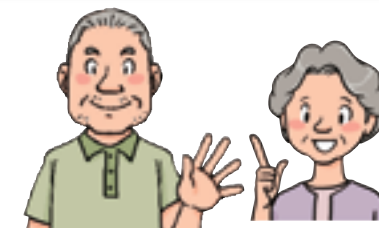
うぬ ぷかぬ んきゃーんじゅく。(この他のことわざ)

んきゃーんじゅくや、だいじうなむぬ。

(ことわざは、大切なものです。)

しゅーたー、んまたーから ならい みーる。

(おじいさんや、おばあさんから習ってみましょう。)



宮古

● ういびやー うちうんかいどう ぶりいう。

(指は内側に折れる)

「五本の指が内側に折れるように、兄弟や親戚は、いざというとき協力して、事にあたるものである。」

・血は水よりも濃し

● ぴとっだすきやー どうーだしうき。

(人助けは 自らを助く)

「他人に対する援助は、結果として自分への援助として帰ってくる。」

・情けは人のためならず

● かなっさどう あばらぎさ。

(愛故に美しい)

「いとおしい心で見れば、可愛く美しく見える。」

・あばたも笑くぼ

● たかぎーんどう かじゃー かかいう。

(高木に風はかかる)

「高い木には風が強く当たるように、優れた者は世間からとやかく言われる。」

・高木は風に折られる

・高木は風にねたまれる

● ぴうとうかたん かなう むぬぬどう、むむかたん かのー。

(一芸にかなう者が、百芸にかなう)

「一つの芸や技に秀でるものは、他の分野でも能力を発揮するものである。」

● やまばとー どうーぬ ふうちうんかいどう ふうーいいう。

(山鳩は自分の口に食われてる)

「余計なことを言わなければ、災いを招くことはない。」

・キジも鳴かずば撃たれまい

・口は災いの元



八重山 むかす ぴうたーぬ ゆんぐとうや あたらさ しーよー。 昔の人たちのことわざを大切にしよう。



いー どうしう むちう たたみぬ ぴーりう ふむん、やな どうしう
むちうかー ちうななー ぱくん。
「善い友だちと仲良くすると畳の縁を踏む、悪い友だちと結ぶと縄目をかけられる（捕まること）。」

たろー まーずん としょかんかい
はらぬ。きゅーぬ しゅくだい
まーずん さーでいー。
太郎。一緒に図書館行かんか。今日の宿題、
一緒にやろうぜ。



たろーとう げーむせんたーかい
はる かたみ しえーすんが。
しゅくだいや あったらむぬ やりき、
くとうぱり くいー。
太郎たちとゲームセンターへ行く約束してるん
だけど。宿題が大事だから、断ってくるね。



あんじー。かんじー かんがいー
みしゃーるすず。ならーしひやーり
にふあいどー。
そうか。こんな風に考えればいいのか。
教えてくれてありがとう。



いー どうしう むちうかー たたみぬ
ぴーりう ふむん、やな どうしう
むちうかー ちうななー ぱくん。
本当に、「善い友と親しく交わると畳の上で良い暮らし
ができ、悪い友と交わると、縄目をかけられる。」だね。



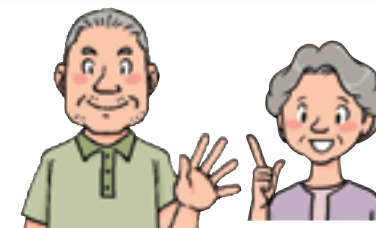
※このページの文章をひとつ選んで、自分の地域のしまくとうばに訳してみましょう。

7 ことわざ・言葉

うぬふかぬ むかしうむに。(この他のことわざ)

むかしうむに あたらさーる むぬ。
(ことわざは、大切なものです。) 注) むかしうむに(ことわざ)

うしゅまい んみーから ならい みーら。
(おじいさんや、おばあさんから習ってみましょう。)



八重山

●うやぬくいやー かんぬくいで うむやー ゆー しうきよー。
(親の声は神の声と思ってよく聞きなさいよ。)

●ゆくしむねー すーかー ぬすとるぬ はじまるんどー。
(嘘をつくどろぼう泥棒が始まるぞ。)

「うそをつくことが、やがては盗みにつながっていく。うそをつくことは、泥棒と同じように悪い
ことである。」

●かたちえー にばん きうむぬどう だいいちう。
(形は二番、肝(こゝろ)が第一。)

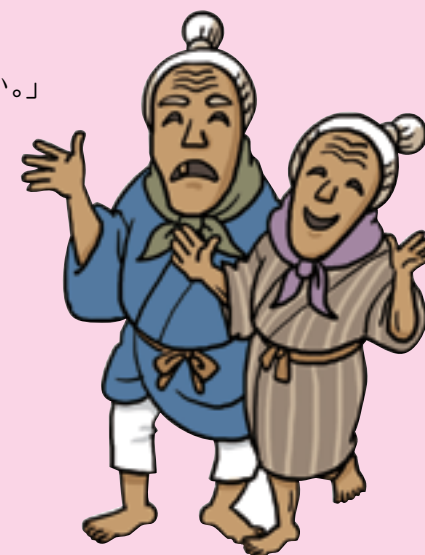
●いじえーる むねーや ぬまるぬ。
(言った言葉はのまれぬ)
「口から出した言葉は、再び口の中へのみ込むことはできない。」
・口は災いのもと
・後悔先に立たず

●ふちうや やふぬ むとう。
(口は災いのもと。)

●ぱりや ぬまるぬ。
(針はのまれぬ)
「小さいからといって、あなどってはいけない。」
・山椒は粒でもピリリと辛い

●ふしえー ぴとうぬ まりじょー。
(習癖は、人の生まれ性分)
「人のくせというものは生まれつきのもので、年を取っても変わらない。」
・三つ子の魂百まで

●もーぎぬ たちうかー あーみぬ きんどー。
(虹の立っているところでは、雨が降っている)
「何か物事が発生するときには、必ず物事が起きる理由がある。」



与那国 んかち つとぅんたぬ むぬぬたていや
あたらきりよー。 昔の人たちのことわざを大切にしよう。



どうとうまりる うゆびぬ なーまら あるんに、つとぅにや なーなたが あいどう ぶる。
「一晩に生まれた指に長い短いがあるように、人には、人それぞれの性格がある。」

・十人十色



※このページの文章をひとつ選んで、自分の地域のしまくとうばに訳してみよう。

7 ことわざ・言葉

うぬふがぬ むぬぬたてい。(この他のことわざ)

むぬぬたていや、あたらる むぬどー。(ことわざは、大切なものです。)

あさ、あぶんたがら ならいんにゅー。(おじいさんや、おばあさんから習ってみましょう。)

与那国

●あとうなる むぬんがどう、うぶいゆ ふ。

(後になる者が、大きな魚を食べる)

「人に先をゆずって最後に残った人が、大きな魚を食べることがあるように、人に先をゆずれば、自分に福がやってくる。」

・残り物には福がある。

●いーむぬとう ちりたや いーならいき、だなむぬとう ちりがらや、だないどう きる。

(良い人と付き合ったら良い習慣が身に付き、悪い人と付き合えば、悪い習慣が身に付く)

「交際する相手によって、人は感化されてしまう。」

・朱に交われば赤くなる。

●うやんが うむんに あがみんが うまぬん。

(親が思っているようには、子どもは思っていない)

「親がどれだけの愛情を注いでも、子どもには伝わりにくいものである。」

・親の心、子知らず。

●ていん あがみがらや、かでい くんでいどう ある。

(空が赤くなってくると、台風がやってくる)

「天気のことわざ」

●みーみぬ まいぬどう、んたく。

(実らない稲の穂が頭を立てる)

「礼儀を知らなくてはいけない。」

・実るほど頭を垂れる稲穂かな。

●きーぬ まんがいや つかりるが つとぅぬ まんがいや つかにぬん。

(木の曲がりは使えるが、人の性格の曲がった奴はどこにも使えない)

「もって生まれた性格や性質は、年を取っても変わることはない。」

・三つ子の魂百まで

●だーならいどう ふがならい。

(家ででの習いが、外での習い)

●はいない にちない、どうったい かつたい。

(南か北か、どちらかわからない)

「決断力がなく、いい加減な人を言い表すことば。」



うまんちゅぬ くくるむち ちたゆる くとぅば。

みんなの気持ちを伝える言葉。

しまくとうばには、私たちの気持ちを表す言葉が数多くあります。中でも「ちむ」は、心の意味で多く使われており、沖縄の人々の優しさ^{やさ}を表しています。「ちむ」のつく言葉には、どのようなものがあるか調べてみましょう。

ちむぢゅらさん。

心が清らか。



ちむがなさん。

心からかわいく思う。



ちむふじゅん。

心が満ち足りる。



ちむいちゃさん。

心が痛む、かわいそう。



※他にも「ちむしからーさん（心さびしい）」「ちむやむん（心が痛む）」「ちむわさわさーすん（胸さわぎがする、心が浮き立つ）」「ちむのーいん（機嫌が直る）」など、たくさんあります。

わね むんどぅりぬ くくるむち
ちてーる くとぅわ。



きむぢゅらはん。

心が清らか。

きむがなはん。

心からかわいく思う。

きむ ふいじゅん。

心が満ち足りる。

きむ やみん。きむぐろはん。

心が痛む、かわいそう。

きむしからはん。

心さびしい。

きむ さーさすん。

胸騒ぎがする。

きむ のーいん。

機嫌が直る。

ばんたがー んーなが
きうむ あらーしう くとぅば。



きうむ やば。 心やさしい。

きうむぬ すくから

かなしうつさていどう うむいう。

心からかわいく思う。

きうむ んていーんてい。

心が満ち足りる。

きうむぬどう やむ。ちうんだらーしう。

心が痛む。かわいそう。

きうむさがい。

（きうむ さびうしうむぬ）

心さびしい。

きうむ やむ。 心が痛む。

んみ とうとうみきう。

胸騒ぎがする。

きうむ のーい。

機嫌が直る。

ばがだー けーらぬ
うむいゆ つたいる くとぅば。



きうむぬ やふあさーん。

心やさしい。

きうむから かなさーん。

心からかわいく思う。

きうむ ふぎるん。 心が満ち足りる。

きうむんぐりしゃーん。

かわいそうである。

きうむしかさーん。

心さびしい。

きうむぬ やむん。 心が痛む。

きうむあーりう、きうむさわぎう。

胸騒ぎがする。

きうむ のーすん。

機嫌を直す。

ばんた おーるぬ くぐるむてい
とぅんきる くとぅば。



くぐる なだやしく。 心やさしい。

くぐるがら あたらき うむい。

心からかわいく思う。

ちむ んてい たらし。

心が満ち足りる。

ちむ だーみ、ちむりさ。

心が痛む、かわいそう。

ちむ さびつつあー。

心さびしい。

ちむ だーみ。 心が痛む。

ちむ ささらんてい。

胸さわぎがする。

きんがい ぬい。

機嫌が直る。

うた ちゅくてい んーら。 歌（琉歌）を作ってみよう。

ここで、うたとは琉歌のことをいいます。琉歌とは8・8・8・6音のリズムを持った歌のことで、古くから沖縄の人々に親しまれ、歌い継がれてきました。

わったー しまんかい ちたーつとーる うた しらびてい んーら。
私たちの故郷に伝わっている歌（琉歌）を調べてみよう。

例えば、小さいころによく歌っていた「ていんさぐの花」の歌詞も琉歌で、8・8・8・6音の形式になっています。

ていんさぐぬ はなや（8音） ちみさちに すみてい（8音）

うやの ゆしぐとうや（8音） ちむに すみり（6音）

みなさんも、自分の地域のことを歌っている琉歌を調べて、自分でも作ってみませんか。



まじえー うたぬ 碑 とうめーてい んーら。
まずは琉歌碑を探してみよう。

北部（久志） うた とぅくてい んだー。



いが しまけ ぬくとぬ うた しらびてい んだー。
私たちの故郷に伝わる歌（琉歌）を調べてみましょう。



まじや、うたぬ ふいー とうめーてい んだー。
まずは、歌の碑文を探してみましょう。



<一ロ×モ>



琉歌とは、ヤマトで作られる5・7・5・7・7音のリズムで作られる和歌（短歌）に対して呼ばれる、沖縄独特の歌の形です。基本的には8・8・8・6音のリズムで歌われており、サンパチロクと呼ばれます。8音というのは、なじみがないように思われますが、しまくとうばだと、しっくりくるリズムなのです。また、琉歌は単に歌をよむだけではなく、三線などに合わせたメロディーに乗せて歌われるのが大きな特徴です。

古典音楽や民謡なども、この琉歌のリズムで歌われることが多いので、身近な歌を調べて琉歌のリズムを楽しんでみてはいかがでしょうか。りっか うた ちゅくてい んーら。（さあ、琉歌を作ってみよう。）

北部

いじゆぬ きぬ はなや あん ちゅらさ さちゆい
（伊集の木の花や あんきよらさ 咲きゆり）

わぬん いじゆ やとってい ましら さかな
（わぬも伊集のやとて 真白咲かな）

～読み人知らず～



意) 伊集の木の花は、あんなにもきれいに咲いている。
私も伊集の木の花のように、真っ白にきれいに咲きたいものだ。

中部

ふばな さち でいりば ちり ふいじん つかぬ
（穂花咲き出れば ちりひじもつかぬ）

しらちやにや なびち あぶし まくら
（白ちやねやなびき あぶしまくら）

～赤犬子～



意) 稲の穂花が咲き出すと、ちりや泥一つつかずによく育ち、豊かに実った稲穂は、大粒の実を支えきれずにあぜを枕にしている。赤犬子は約400年前の人で、三線で歌を始めた人だといわれている。彼は三線もうまく美声の持ち主でもあり、予祝（願い）の歌を得意とし、各地を渡り歩いてうたったといわれている。この琉歌も稲の豊作を願った予祝の歌なのである。

南部

あしみじゆ ながち はたらちゆる ひとつぬ
（汗水流ち 働ちゆる人ぬ）

くくる うりしさや ゆすぬ しゆみ
（心 うれしさや 他所ぬ 知ゆみ）

～中本稔～



意) 汗水を流しなら、一生けんめい働く人の、その心に感じる喜びは、働かない者にはわからないだろう。この歌は1928年、沖縄県が働く喜びを詞を募集したところ、具志頭郵便局長であった中本稔の歌詞が当選したものである。



宮古

ばんたが しうまぬ あーぐう
まーちうき つっふあ。

私たちの故郷の歌を、一緒に作りましょう。



ばんたが しうまん んきやーんから あいう あーぐう しらびみー。
私たちの故郷に伝わる歌を調べてみよう。



まっざー あーぐぬ ひぶぬ とぅみみー。
まずは、歌の碑文を探してみよう。



<なりやまあやぐ>

サー なりやまや なりていぬ なりやま
すうみやまや すうみていぬ すうみやま
イラユマーン サーヤーヌ すみていぬ すみやま

宮古を代表する民謡のひとつ「なりやまあやぐ」の一番の歌詞です。
その意は、「慣れているヤマへ行っても染まって（油断）してはいけませんよ」と教訓的な歌詞となっています。



八重山

ばがーしうま うた まーぞん ちゅくららー。
私たちの故郷の歌を、一緒に作りましょう。



ばがーしうま うた
しらびららー。
私たちの故郷に伝わる歌を
調べてみましょう。

まじう うた ぴむん
とぅめーむら。
まずは、歌の碑文を探して
みましょう。



<あかんまぶしう 赤馬節>

赤馬ぬ いらずざ （赤馬の、ああ うらやましいことよ）
足四ちゃぬ どうきにやく （足四ちゃ（赤馬）の冥加なことよ）

生りるかい 赤馬 （生まれる甲斐ある 赤馬よ）
産でいるかい 足四ちゃ （育てる甲斐のある 赤馬よ）

沖縄主に 望まれ （琉球国王に望まれ）
主ぬ前に 見のうされ （琉球国主のお召馬になった）

いらさにしゃ 今日ぬ日 （ああ よろこばしい 今日の日よ）
（ヒアールガヒ）

どきさにしゃくかに日 （とてもうれしい 黄金の日よ）
（ヒアールガヒ）

羽生いるだきだら （羽が生えて飛び立つくらい うれしいよ）



与那国

※このページの文章をひとつ選んで、自分の地域のしまくとぅばに訳してみましょう。

7 ことわざ・言葉

与那国

ばんた ちまぬ うた、まどろん つくいんだぎ。
私たちの故郷の歌を、一緒に作りましょう。



ばんた ちまに ちたわる うた ちらびんぬー。
私たちの故郷に伝わる歌を調べてみましょう。



までいや、うたぬ ひむん みきんぬやー。
まずは、歌の碑文を探してみよう。



<どなんスンカニ>

一. ゆなぐにぬ なさぎ いくとぅばどう なさぎ
ぬていぬ ある あいや とぅやい しゃびら
（与那国の情 言う言葉が情
命のある間はおつきあいしましょう）

三. なんとはま うりてい むちやる さかじきや
みなだ あわ むらし ぬみぬ ならぬ
（波多浜下りて 持った盃は
涙泡盛らし 呑むことが出来ない）

二. ゆなぐにぬ とぅけや いきぬ みじぐる
くくうる やしやしとう わたてい いもり
（与那国の渡海は池の水心
心安々と渡っていらっしゃい）



<一ロ×モ>



宮古や八重山・与那国の三つの地域には、多くの優れた歌が歌い継がれています。しかし、どちらも同じ分野の歌が伝わっているのではなく、それぞれに特徴があります。

宮古は「歴史の島・伝説の島」と呼ばれていることからわかるように、歴史的な事実や事件を、ありのままに壮大に歌い上げた歌謡が特徴です。

八重山・与那国は、「詩の国・歌の国」と呼ばれているように、たくさんの歌がよまれ、歌い継がれてきました。その中には、自然を大らかに歌い上げているものや、恋心など自分の感情を素直に歌い表したもの、歴史的なことを歌ったものなどがあります。

自分たちのしまくとぅばで、自分たちのシマの歌を味わってみることもいいでしょう。



↑とうがにあやぐ歌碑（宮古）

琉歌とは、琉球の歌または、琉球歌謡の略語で、うたわれる形式によって長歌、短歌、仲風、つらねなどに分けることができます。その中で、もっとも好まれた形式が短歌で、普通に琉歌という場合は、この短歌を指していると考えてよいでしょう。

短歌は、8・8・8・6音の30音形式になっています。例えば、小さいころによく歌っていた「ていんさぐの花」の歌詞も琉歌で、8・8・8・6音の形式になっています。

ていんさぐぬ はなや（8音） ちみさちに すみてい（8音）

うやの ゆしぐとうや（8音） ちむに すみり（6音）

琉歌は、昔の人々から今の人々に受け継がれ、現在でもさかんにうたわれています。

ここでは、歌碑に刻まれるなど、人々に親しまれてきた琉歌をいくつか紹介します。



↑ 恩納ナベの琉歌が刻まれた歌碑

うんなだき あがた さとが つんまりじま

（恩納岳あがた 里が生まれ島）

むいん うしぬきてい くがた なさな

（もりもおしのけて こがたなさな）

～恩納ナベ～

意） 恩納岳の向こう側は、いとしいあなたの生まれた村である。山をおしのけてその村をこちら側に引き寄せたい。恋をする女性の恋人を想う激しい心が、恩納岳という不動の自然をも動かしそうな力で迫ってくる感じが感じとれる。

なみぬ くいん とまり かじぬ くいん とまり

（波の声も止まれ 風の声も止まれ）

しゅゆい ていんじゃなし みうんち をがま

（首里天がなし みおんき拝ま）

～恩納ナベ～

意） 波の声も止まれ、風の声も止まれ、すべてのものよ静まれ。さあ、みんなして国王をお迎えし、拝もうではないか。万座毛に立ち寄った琉球国王をたたえた歌である。岸壁に砕ける波の音に止まれと命じ、松にさわぐ風に止まれと命じる。作者の気迫が感じられる。



↑ 恩納ナベの琉歌が刻まれた万座毛の歌碑（裏に歌詞が刻まれている）

うんな まついしたに ちじぬ

ふえぬ たちゆし

（恩納松下に 禁止の碑の立ちゆす）

くい しぬぶまでいぬ ちじや ねさみ

（恋忍ぶまでの 禁止やないさめ）

～恩納ナベ～

意） 恩納番所前に松の木があり、その下に禁止令を書いた高札が立っていることよ。まさか、恋をするなという禁止はないだろう。農村の希少な娯楽であった伝統的な遊び（シヌグ）が、首里王府によって禁止された事に対して、自由ほんぼうなナベが人間の自然のあらわれとしての恋愛を禁止するものではないと嘆いた歌である。

＜一ロ×モ＞ 一女流歌人「恩納ナベ」と「よしや」

数多い歌人の中でも、たくさんの人々に親しまれている「恩納ナベ」と「よしや」は、琉歌の二大女流歌人といわれています。

恩納ナベは、18世紀の前半、尚敬王時代（1713～51年）の人だといわれている伝説の歌人で、今の恩納村の恩納岳のふもとに生まれたといわれています。

よしやは、1650年、今の読谷村に生まれ1668年に没したといわれている伝説の歌人で、短い18年の生涯であったと伝わっています。幼くして遊郭に身売りされますが、その境遇の中で和歌の影響を受けたすぐれた恋の歌を多く残しました。

恩納ナベの歌には対象に強く働きかけるほんぼうさが感じられ、よしやの歌には恋の歌に限らず、悲しく切ない気持ちをこめた歌が多く見られます。



うらむ ひじゃばしや なさき ねんふいとうぬ

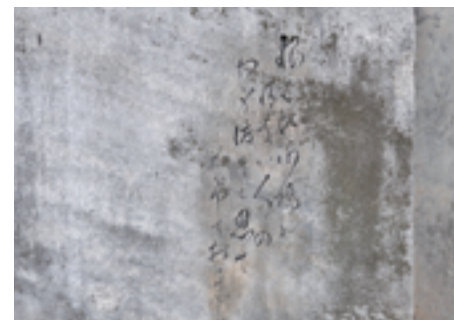
（うらむ比謝橋や 情けない人ぬ）

わん わたさ とむてい かきてい うちやら

（わぬ渡さともて かけておきやら）

～よしや～

意） うらめしい比謝橋は、私を渡そうと思って、情けを知らない人がかけておいたのだろうか。



「うらむひじゃばしや わんわたさとむてい なさけねんふいとうぬ かきていうちやら」とも歌われています。

うゆばらぬ とみば うむいます かがみ

（及ばらぬとめば 思ひ増す鏡）

かじやちよん うちゆち をがみ ぶしやぬ

（影やちやうもうつつ 拝みぼしやの）

～よしや～

意） どうてい及ばない身の恋と思うと、かえって思いがつのってくる。せめて、あの人の面影だけでも鏡に映して、お姿を見たい。伝説では、よしやの恋の相手は士族で正妻がいる人で、遊女であるよしやとは身分が違いすぎたために、及ばぬ恋のはかなさとの想いをあらわした歌となっている。



うどうるくな あささ

くわゆんでいや あらん

（おどろくなあささ 食はゆんでやあられ）

ちむがなしや あていどう

だちや んちやる

（肝かなしやあてど 抱きや見ちやる）

～よしや～

意） 蝉よ鳴いてくれるな、お前を取って食おうというのではない、心底かわいいと想うから手に取って抱いてみただけだよ。

人間によってどうにでもされる弱い存在の蝉に、悲しい境遇の自分を見てしまう作者の気持ちが読み取れる歌である。よしやが蝉に呼びかける声には切ないものが感じられる。

琉歌は、国王や政治家、文学者、遊女、農民にいたるまで、いろいろな階層の人々がよみ、うたい親しんでいます。うたわれている内容も様々で、政治家としての信念をよみ込んだ歌。恋の歌もあれば、自分ではどうにもならない身上を嘆いた歌もあります。

他にも、豊作を祈ったり、人々の願いを歌にこめるなど、人々の心の中からにじみ出てきた心情が、そのまま琉歌の中にうたいこめられています。



ふみらりん しかん すしらりん しかん

(ほめられも好かぬ そしられも好かぬ)

うちゆ なだやしく わたいぶしやぬ

(浮世なだやすく 渡りぼしやの)

～名護親方龍文～

意) ほめられることも好まない。悪く言われることもさけない。人生はただ平穏無事に過ごしたいものだ。

名護親方(1663～1734年)は、唐名を程順則といった。儒教を通して教育の普及に力を尽くし、品位と徳が高かったので、名護聖人と呼ばれた。すぐれた人物の人生上の一つの態度として、次の蔡温の歌とよく比較され論じられる。



蔡温が描かれた切手→



ふまり すしらりや ゆぬなかぬ ならい

(ほまれそしられや 世の中の習ひ)

さたん ねん むぬぬ ぬ やく たちゆが

(沙汰もないぬ者の 何役立ちゆが)

～具志頭親方文若～

意) ほめられることや悪口を言われることは、世間ではよくあることで気にすることはない。世に取りざたされることもない人が、どうして世の中の役に立つことが出来るようか。

具志頭親方(1682～1761年)は、唐名を蔡温といい、尚敬王の時代の三司官として政治や経済・産業に大きな力を発揮した。蔡温と程順則は同じ時代に活躍した人物だが、その時代の琉球は薩摩の支配下にあり、財政的に苦しい時代であった。同時代に生きた二人の性格が対照的であるのがおもしろい歌である。

なぐぬ うふがにく

(名護の大兼久)

うま はらち いしよしや

(馬走らち いしよしや)

ふに はらち いしよしや

(舟はうち いしよしや)

わ うらどうまい

(わ浦泊)

意) 名護の大兼久にある馬場で、馬を走らせるうれしさよ。

名護の海で、舟を浮かべることのうれしさよ。

※名護の人々が、馬を走らせたり、舟で遊んだりすることの喜びをあらわしている歌である。



きゆぬ ふくらしやや なうにじゃな たてい

(今日のほこらしやや なをにぎやなたてる)

ちぶでい をる はなぬ ちゆ ちゃたぐと

(つぼでをる花の 露きやたごと)

～読み人知らず～

意) 今日のうれしさを何にたとえようか。まるでつぼんでいる花が露に会い、開花する時のよろこびそのものだ。

この歌では、花が露と出会うことによって、開花することを最上のよろこびとして、たとえに用いている。露が花にかかる清らかな姿への感動も素朴なよろこびに満ちている。「かぎやて風」の音曲にのせて、祝い事一般においてうたわれる。



じゃじち いたびしに うちやい ふいく なみぬ

(謝敷板干瀬に うちやり引く波の)

じゃじち みやらびぬ みわれ はぐち

(謝敷めやらべの 目笑ひ齒茎)

～読み人知らず～

意) 謝敷の海岸の板干瀬に寄せたり引いたりしている波は、謝敷の娘たちが笑いざわめいているときの口元の、あの白い歯ならびを想わせる。

謝敷(国頭村)の景観の美しさをいうと同時に、村の娘たちの美しさもたたえた、いわば土地ぼめの歌である。そこには自然と一体となった精神を見ることが出来る。



からや ちじ ぬぶてい まふえ んかてい みりば

(瓦屋つちのぼて 真南向かて見れば)

しまぬらどう みゆる さとや みらん

(島の浦ど見ゆる 里や見らぬ)

～読み人知らず～

意) 瓦屋(瓦を焼く地域に対する呼称)の丘の上に登って、南の方を見ると、村の風景が見えるだけで、いとしい人の姿は見えない。朝鮮人の陶工が帰化して瓦製造をしたとき、夫がいる美女を見初め妻とした。無理に引きさかれた女は、故郷の夫を想いこの歌を読んだといわれている。



<一ロ×モ>

ー読み人知らずー

琉歌の作者としては、読み人知らずとなっているものが圧倒的に多く、『琉歌全集』には3000首の琉歌が収録されていますが、そのうち作者が明記されているものは1315首で、300人ほどの作者がいたことが分かっているとのことです。

一般的に、読み人知らずの歌は風土性が豊かでおおらかで素朴であるのに対し、士族の歌は、観念的、技巧的で和歌文学の影響が多く見られる歌が多いといわれます。



「走れめろすー」な一ふあくとうばさーに 勝ちーね。

『走れメロス』を那覇言葉で書いてみると。



みなさんが、授業で使う教科書。その教科書に収録されている作品もしまくとうばで表現することができます。このページでは、ずっと以前からみなさんに親しまれている『走れメロス』をしまくとうばで表現してみました。教科書に掲載されている原文と引き合わせて、しまくとうばならではの世界を楽しんでみましょう。



めろそー れーじな わじとーん。かなじ、あぬ 邪知暴虐ぬ^{じゃちぼうぎやく} をー
とうっているきらんとー ならんり うみちちゃん。めろすねー せいじえー わからん。
めろそー、むらぬ 牧人^{ぼくじん}る やる。笛ふち、ひちじとう あしろーてい くらちよーたん。
やしが 邪悪^{びんかん}んかいてーしてー、ふかぬちゅやかー れーじな 敏感^{びんかん}やたん。

メロスは激怒した。必ず、かの邪知暴虐の王を除かねばならぬと決意した。メロスには政治がわからぬ。メロスは、村の牧人である。笛を吹き、羊と遊んで暮らしてきた。けれども邪悪に対しては、人一倍に敏感であった。

ふいちゅいぬ みなぐわらび、あかさるマント めろすんかい ぬしきたん。
めろそー とうぬーまぬー。いいーるしえー ちー ちかさーに ならーちゃん。
「めろす、[?]やーや、まるはらか えーさに。ふえーく うぬマント ちーしえー まし。
くぬ すーらさる みなぐわらべー、めろすぬ はらか、んーなんかい んーらりーしえー、
いっぺー はじかさんり うむたん。」いじじゅーや じこー あかじらーなたんり。

ひとりの少女が、緋のマントをメロスにささげた。メロスはまごついた。良き友は、気を利かせて教えてやった。

「メロス、君は、真っ裸じゃないか。早くそのマントを着るがいい。このかわいい娘さんは、メロスの裸体を、皆に見られるのが、たまらなくくやしいのだ。」勇者は、ひどく赤面した。

太宰治著『走れメロス』青空文庫参考

北 部 『はしれメロス』くしくとうわち 勝ち んだー。



メロスや でーじな わじたん。かなどう、あぬ 邪知暴虐ぬ 王ぬ ぬち
とうらんなね ならんでいち きみたん。メロスや 政治や わからん。メロスや、
村ぬ 牧人 いえーたん。ふあんそー ふち、羊とう あすでい くらち [?]ちゃん。
いえーすが、邪悪にちきていや ちゅーいちべー 敏感 いえーたん。

ちゅいぬ みなぐわらぬ あかぬ マントー メロスけ さしいじゃちゃん。
メロスや うどうるちゃん。どうしや きー ちかてい ならーちゃん。
「メロス、[?]やーや、まるばい しちょん。ふえーく マントー きれー。うぬ
ちゅらはぬ みなぐんぐわや メロスぬ まるばい むぬけ みらりすが、
でーじな ふあどうこはん。」勇者や でーじな あかどうら なたん。

宮 古 「走れメロス」っう みやーくふうちっし かき みーちうかー。



めろっさ んにや ばたー。ふうさりゅーたい。かならず、かぬ やなざいぴう
とう だまがらす おーゆばー、ふか なさだかー ならんてい きみたいう。
めろすんな せいじやー すっさいん。めろすっさ さとうぬ ぼくじんどう やいう。
ぴーや ふうき ぴっとう あすぴいう くらしどう きうしうたいう。あしうがどう
やなざい ぐとうんかいや ぴうとうぬ ばいまい かんずーむぬどう やたいう。

たうきやーぬ みどうんやらびぬどう、あかーあかぬ まんとうう めろすんかい
うさぎ とらすたいう。めろすっさ どうまっづいぎいたいう。ぞー どうっさ、しょーつ
つあまーり ならーし とうらしうたいう。「めろす、っづあー、あかばだかん なり
どう ういうっさあらんな。ぴやーまり、うぬ まんとうう きし。うぬ あばらぎみ
どうん っづああ、めろすぬ ばだこー んーなん みーらいすーどう ありやーみー
ん んぞーなむぬていどう うむい ういうさい。」ぱていむぬー。
んにや みばなー あかーあかしー きいむぐりーぐりん なり うたいう。

八 重 山 「走れメロス」しうまむにし かきみょーら



めろすや くんじょーくれー。やでーん あぬ ばたふさりむんゆ おー
ぬきなすんで きめーだ。めろすや、政治や しいさぬ。めろすーや、むらぬ
牧人どう やりき。ぴーふき、ぴっとう あさび くらしだ。やすんが
やなむぬ かいや たろーやかん かんばいしゃーだ。

ぴとうーりぬ みーどうなーぬ、あかまんと めろすかい おいすだー。めろすや
ざまどうり。いー どうすおーや、きーきかし あんくた。
「めろす、わなー、ばだがー あらんば。ペーぐ まんと きすそー ます。くぬ
かなさーる みーどうなーや、めろすぬ ばだがーゆ、むーるかい みらりすどう、
のーやかん、くちさーる。」ゆうじゃや でーじう あかうむてい すん。

与 那 国 『走れメロスー』どうなんむぬいし かていん あしや。



めろすや にぐらるた くんどうんでいぶたん。かなーでい、かぬー 邪知暴虐ぬ
おーや とうい [?]かっていらぬとう ならぬんでい、ちむに きみやん。
めろすや 政治や ばがらぬん。めろすや、むらぬ 牧人どう あたる。
ふいば [?]ていー 羊とうどう あんぴー くらし すたる いるんが、邪悪んき
たいしていや [?]とうーぬ ばい びんかんどー あたる。

[?]とういぬ みぬんがあがみていんが、あかぬ マントー、めろすんき さしんだたん。
めろすや とうまどういきたん。いーどうちや、きー きかしてい、[?]たみとうらたん。
「めろす、んだや まるはだか あらぬない。はやぐ うぬ マントー ちえー。うぬ んだら
る みぬんがあがみていや、めろすぬ まるはだか むーるに んなりるんすんがどう、
ぬーかん だんさる。」勇者や、しかっとう あかちら なたん。

な一ふあくとうば ちかてい んーら。

那覇言葉を使ってみよう。

これまで、いろいろなしまくとうばの使い方をみてきました。でも、しまくとうばは、実際に使ってみなければ、身に付きません。そこで、これまで学んできたしまくとうばを使って、実際にしまくとうばを使ってみませんか。

まずは、自己紹介から始めてみましょう。

わんねー な一ふあ たろう やいびーん。
ちゅーがっこーぬ ににんしー やいびーん。
私は、那覇太郎です。中学校の2年生です。

ぬーがな あびてい まーに。
何か話してごらん。

ちゅーや いいー づわーちち やぐとぅ まじゅーん
あしびーが いか。
今日は良い天気なので、一緒に遊びに行こう。

ちゅーや あみ ふとーぐとぅ、まじゅーん びんちよー さな。
わんにんかいん、な一ふあくとうば ならーち とぅらさに。
今日は雨が降っているから、一緒に勉強しよう。
私にも那覇言葉を教えてちょうだい。

北 部 くしぬくとうわ とぅかてい んだー。

わー なーや くしたろー。ちゅーがっこー2年生。
私の名前は久志太郎です。中学校2年生です。

ぬーげら ふあなし しち んでー。
何か話してごらん。

ちゅーや いいー づわーとぅき いえーくとぅ、まんंना あすゐが いかー。
きょうは良い天気なので、一緒に遊びに行こう。

ちゅーや あみ ふとくとぅ、まんंना べんきよー さー。
きょうは雨が降っているから、一緒に勉強しよう。

くしくとぅわ ならーち とぅらしえー。
久志言葉を教えてちょうだい。

宮 古 みゃーくふうちう つかいみー。

ばがなーや みゃーく たるー。ちゅーがっこーににんしー。

私の名前は宮古太郎です。中学校の2年生です。

のーがらーゆ ばなし みーる。何か話してごらん。

きゅーや かぎ わーちうきう やーば まーちうき あすぴうが ずー。
今日は良い天気なので、一緒に遊びに行こう。

きゅーや あみぬ っふい ういば まーちうき べんきよーすー。
きょうは雨が降っているから、一緒に勉強しよう。

みゃーくふうちう ならーしう かいーる。
宮古言葉を教えてちょうだい。

八 重 山 しゅまむに いじみやーむー。

ばー なーや いしがき たろーゆー。ちゅーがっこーにねんしえいゆー。

私の名前は石垣太郎です。中学校の2年生です。

のーんがさ いじ みやーみーり (いじみーり)。
何か話してごらん。

きゅーや おーつき かいしゃーりき まーずん あさびな はら。
今日は良い天気なので、一緒に遊びに行こう。

きゅーや あーみぬ ふいりき まーずん びんきよー さー。
今日は雨が降っているから、一緒に勉強しよう。

しゅまーむに ならーし ひーりや。八重山言葉を教えてちょうだい。

与 那 国 ちまむぬい つかいんぬー。

あんがなーや どうなんたるーゆ。ちゅがっくぬ 2にんしどぅ ない ぶる。

私の名前は与那国太郎です。中学校の2年生です。

ぬー あるばん はなしきー んにに。
何か話してごらん。

すーや いー わしきどぅ ありやー、まどぅん あんびんでい でいー。
今日は良い天気なので、一緒に遊びに行こう。

すーや あみどぅ ふいぶるんがら まどぅん びんきゅ きるやー。
今日は雨が降っているから、一緒に勉強しよう。

ちまむぬい ならし とぅらしんに。与那国言葉を教えてちょうだい。

この本に出てくるしまくとぅば

ここでは、この本に出てきた「しまくとぅば」を、共通語だとどんな意味で使われているのかを調べることができます。「しまくとぅば」は、中南部那覇市的那覇言葉、北部名護市の久志言葉、宮古島市の平良言葉、八重山石垣市の四箇言葉、与那国町の祖納言葉の5つに分けてのせました。

ここでは、共通語の意味を本に出てきた内容だけをのせていますが、「しまくとぅば」は、使い方や前後の表現でもいろいろな意味を持つ場合がありますので、ここに出てくる共通語の意味だけが全てではありません。

他にどんな使い方や意味があるのか、周りの人に聞いてみたり調べてみたりすることをおすすめします。



中南部（那覇言葉）

あ

- あーけーじゅー トンボ (36)
あいえー ああ (68)
あいびーん あります (46・47)
あかぎ アカギ (34)
あかさる 赤の (96)
あかじらー 赤面 (96)
あかばなー ハイビスカス (34)
あがやー あるかな? (30・44)
あかんぐわ 赤ちゃん (8)
あじ 按司 (47)
あしばな 遊ぼうぜ (20)
あしばな 遊ぼうよ (32)
あしばりーん 遊べる (30)
あしび 遊び (30)
あしび どうくる 遊び場 (47)
あしびーが 遊びに (98)
あしぶが 遊ぼうか? (20・32)
あしろーてい 遊んで (96)
あたーたくとう 合っていた (28)
あたびちやー カエル (36)
あちゃー 明日 (24)
あちゃーやーさ (た) い 明日ね (24)
あびてい 話して (98)
あま あそこ (38)
あまくま いろんな所 (46)
あまわり 阿麻和利 (47)
あみ 雨 (98)
あらたまぬ とうしに 新年に (67)

- あらわする 表す (10)
ありくり いろいろな物 (32)
ある かかと (11)
あるはじ あると思う (30)
あわていーる なーかー 急いでいる時こそ (78)
あんし そして (28)
あんしえー それでは (26・30・32・38・44)
あんしが しかし (76)
あんまー お母さん (8・74)
あんやみ そうか (30)

い

- いー はい (目下の人に対する場合) (18・20・32・56)
いいー 良い (16・28・38・42・66・79・96・98)
いいーつちよー 良き友は (79)
いいーるしえー 良き友は (96)
いーび 指 (10)
いーる ～という (46)
いか (な) 行こう (26・30・32・42・56・57・70・74・98)
いきよー 行きなさいよ (78)
いくとうば ことわざ (78・79)
いけー 行けば (30)
いさとうー カマキリ (36)
いじ 意地 (46)
いじじゅー 勇者 (96)

- いじゅ イジュ (34)
いすじ 急いで (78)
いちむし 動物・生き物 (47)
いちゃびーが 行きますか (42)
いちゃびら 行きましょう (42)
いちゃりば 行きあえば (79)
いちゆさ 行ってきます (78)
いちゆしや 行くのは (47)
いちゆび リュウキュウバライチゴ (34)
いちゆん 行く (16・26・38)
いっち 入って (46)
いっぺー とても (たまらなく) (74・96)
いやびーん いいます (47)
いらぶ 選ぶ (44・76)
いりーが 入れようかなあ (32)
いりーぶさっさー 入れたいなあ (32)
いるんな いろいろな (42)
いん 犬 (8)

う

- うー はい (目上の人に対する場合) (12・18・24・26・38)
うーー バショウ (34)
うーくい さびら お見送りしましょう (72)
うーとーとう うーとーとー (70)
うからふあーふ 首里城正殿 (46)
うきれー 起きなさい (12)
うぐしく 首里城 (46)

- うくちくいれー 起こしてくれたら (78)
うくちゃん 起こした (47)
うくなとーたん 行っていた (56)
うくりーん 遅れてしまう (78)
うさがいん 召し上がる (14)
うさがみそーれー 食べてください (召し上がれ) (12・14・72)
うさぎむん お供え物 (72)
うさんれー さやー ごちそうをいただく (70)
うさんれー さびら お供えしたごちそうをいただきます (72)
うじらーさん かわいい (76)
うしらし 紹介 (お知らせ) (8)
うしる お汁 (14)
うしるぢやわん 汁わん (14)
うた 歌 (琉歌) (88)
うちなー 沖縄 (20・46)
うちゃーとーん 似合っている (74)
うっさぎさん うれしそう (74)
うっちゃん 打った (28)
うてい ～にて (40)
うてい くみそーれー (売って) ください (40)
うていちき 落ち着いて (78)
うにげー さびら お願いします (18・66)
うぬ この (96)
うぬふか この他 (30)
うふおーく たくさん (68)
うまんちゅ みんな (86)
うむさする おもしろがる (47)
うみちちゃん 決意した (96)
うむとーん 考えている (6)
うやふあーふじ ご先祖 (70)
うり うで (10)
うりから それから (28)
うれー それは (42)
うわらな 終わろう (24)
うんけー お迎え (72)
うんちけー 案内 (46・47)
うんちけーさったん 招待された (76)
うんなとーちえー こんなときは (78)
うんぬき やびら ～します (66)

え

- えーさち あいさつ (66)
えーさに ～じゃないか (96)

か

- かーにーぐんばー リュウキュウツヤハナムグリ (36)
かい ～に (～へ) (26・28・30・32・38・42・47・57・70・96)
かじ 数 (68)
がじまる ガジュマル (34)
かじゃてい かざって (67)
かじゃでいふう かぎやで風 (67)
かた かた (11)
かちーねー 書いてみると (96)
かちえーる 書かれた (20)
かつちんぐすく 勝連グスク (47)
かていむん おかず (14)
かま 食べよう (12・14・44)
がま どうくつ (47)
かみむん 食べ物 (42)
かみーが 食べに (42)
かみよー 食べなさい (14・68)
からじ 髪 (10)
からとーる 飼っている (47)
かりんーら 食べてみよう (68)
かんげー 考え (42)
かんげーとーしが 考えているんだけど (44)
かななじ 必ず (96)

き

- きーくさ 草木 (34)
ぎょくせんろー 玉泉洞 (47)
きらまー 慶良間列島 (79)

く

- くいみそーれー ください (56)
くー 虫カゴ (32)
くーがふあーふあー 卵焼き (14)
くくる 心 (26・67)
くくるむち 気持ち (86)
くさばな 草花 (32・34)
くし 腰 (11)
ぐしく グスク (47)
くしながに 背中 (11)
くち ロ (11)
くとう こと (18)
くとうし 今年 (66)
くとうば 言葉 (10・86)
くぬ この (47・79)
くば ビロウ (34)
くぶ こんぶ (67)
くまー ここ (20・46)
くまんかいや ここには (46)
くみ 米 (38・40)

- くらちよーたん 暮らしてきた (96)
くりし これで (24)
くりから これから (18・47)
くれー これは (40)
くわっちー さびたん ごちそうさまでした (12・14)
くわっちー さびら いただきます (12・14・44)
くんら ふくらはぎ (11)

け

- けーりよー 帰りなさいね (24)

こ

- こーいが 買うの (40)
こーいむん 買い物 (38・40)
こーいむん しーが 買い物に (38)
こーてい 買って (38・79)
こーてい っち 買ってきて (38)
ごーやー にがうり (22)
ごーやーちゃんぷーるー にがうり炒め (22)

さ

- さぎらな 下げよう (68)
さしん 写真 (74)
さしんやー 写真館 (74)
さちじゃちえー 将来は (6)
～さな ～しよう (26・98)
～さびら ～します (8・46・47・72)
さんさなー クマゼミ (32・36)
さんにな ゲットウ (34)
～さんろー ～したよ (16・24)

し

- しーじゃ 兄・姉 (8)
しーみー 清明祭 (70)
じーわじーわ クロイワツクツク (36)
しえーやー しなさいね (70)
しかっとうー しっかり (きちんと) (14)
じこー ひどく (96)
しちびんかい 行事に (57)
しちぐわち お盆 (72)
しちゆしえー 好きなのは (6)
しまぬ 故郷の (56)
しまんかい 故郷に (88)
しみしえーみ ～をしますか (18)
しむがやー いいかな (30)
しむるむんぬ いいのに (78)

しむんろー いいよ (20・44)
じゅーさんゆーえー 十三祝い (74)
じょーとー 上手に (32)
しらびてい んーら
調べてみよう (34・36・88)
じん お金 (76)
しんぐわんしん 千貫でも (79)
しんしー 先生 (6・28)

す

すー お父さん (8・16・74)
すーていちゃーぬ ふぁー
ソテツの葉 (32)
すーらさる かわいい (96)
すいていんがなしー
琉球国王 (46)
すがやー へしようか (44)
すぬひゃんうたき
園比屋武御嶽 (46)
すば そば (22)
すみてい 染めて (30)
すむち 本 (20)
するてい そろって (26・70)
するばん そろばん (76)
すん へする (16・40)

そ

そーぐわち お正月 (66)
そーたん へしていた (22)
そーてい 連れて (56)

た

たまうるん 玉陵 (46)
たまなー キャベツ (22・38・40)
たまねー たまには (47)
たんかーゆーいえー
満一歳の誕生祝い (76)
たんめー おじいさん (8・32・79)

ち

ちーしえー まし
着るが いい (96)
ちー ちかさに
気を利かせて (96)
ちー ちきてい
気を付けて (12・24・78)
ちかーつとーる 使っている (22)
ちかさん 近く (46)
ちかなとーる 飼育している (47)
ちかてい 使って (57・98)
ちたーつとーる
伝わっている (88)
ちたゆる 伝える (86)
ちちゃさる 近くには (47)

ちてーばなし 言い伝え (46・47)
ちぬー 昨日 (16)
ちび お尻 (11)
ちぶる 頭 (10)
ちみ 爪 (30)
ちむいちゃさん
心が痛む, かわいそう (86)
ちむがなさん
心からかわいく思う (86)

ちむしからーさん
心さびしい (86)
ちむぢゆらさん 心が清らか (86)
ちむのーいん 機嫌が直る (86)
ちむふじゆん
心が満ち足りる (86)
ちむやむん 心が痛む (86)
ちむわさわさーすん
胸さわぎがする (86)
ちゃー やたが
どうだった? (28・76)
ちゃーねーる どんな (18・30)
ちゃーびーが
へしてこようか (38)
ちゃーびら へしよう (38)
ちゃーびらさい
ごめんください (40)

ちゃーわん 湯飲み茶わん (14)
ちゃっさ いくら (どれだけ) (40)
ちゃんとう きちんと (14)
ちゅー 今日 (72)
ちゅーしが へしてくるのが (46)
ちゅーぬ 今日の (20・22・74)
ちゅーむんすがやー
注文しようか (44)

ちゅーや
今日は (16・22・24・28・32・
42・56・70・74・98)
ちゅーん 今日も (12・18・24)
ちゅくいぶさぐとぅ
作りたいから (32)
ちゅくたる 作った (32)
ちゅくてーぐとぅ
作ってあるから (68)
ちゅくてい 作って (68・88)
ちゅくらな 作ろう (32)
ちゅふぁーら お腹いっぱい (68)
ちゅらさん きれい (74)
ちゅらじん きれいな着物 (74)
ちゅらばな きれいな花 (30)
ちょーみん 帳面 (76)
ちょーれー 兄弟・姉妹 (8・79)
ちら 顔 (11)
ちれーくに 島にんじん (22)
ちんし ひぎ (10)

ちんなん カタツムリ (36)

つ

つくわ 子ども (38)
つち とぅらしよー
来てちょうだいね (40)
つやー 君 (96)
つわー ブタ (36)
つわーちち 天気 (16・98)
つゑんちゆ ネズミ (36)
つんじ 行って (38・56)
つんじ ちゃーびら
行ってくるね (38)
つんじ くーいー
行ってきます (12)
つんじ くーわー
行ってらっしゃい (38)
つんじとーたん 出ていた (28)
つんじらー 出るなら (46)
つんまが 孫 (8)
つんまり 生まれ (6)
つんめーし おはし (14)

て

てーして 対して (96)
ていー 手 (10)
ていーちえー ひとつ (68)
ていーぬわた 手の平 (10)
ていんさーぐー ホウセンカ (30)
てーしち 大切 (78・79)

と

とーとーめー 位はい (72)
とうい ニワトリ (36)
とういが 取りに (30)
とうくま (ん) 所 (に) (47)
とうくまんかいや 所には (47)
とうくる 所 (46・47)
とうし 年 (68)
とうち とき (20)
とうっているきらんとー
除かなければ (96)
とうつとーたんり
取ったんだって (76)
とうぬーまぬー まごついた (96)
とうめーいが 探しに (30)
とうめーてい 探して (30・88)
とうめーれー 探せば (30)
とうらさに へしてちょうだい (98)
とうらしえー
へしてくれるかな (38)
とー
さぁ・それでは (12・14・38・
42・44・68)

な

なー 名前 (6・34・36)
なー もうへ (12)
なーかんかい 中に (46)
なーぴかちかちー
リュウキュウアブラゼミ (36)
なーふあくとうば
那覇言葉 (96・98)
ないぶさん なりたい (6)
なかぐしくぐしく 中城グスク (47)
なかゆくい 休み時間 (20)
なぎーし 投げる方 (26)
なたん へした (96)
なてい へになって (16)
なちゆる くーいー 泣き声 (36)
なとーん へだよ (12)
なとーんやー
へになりましたね (66)
なま 今 (26・38)
なまさち 先ほど (22)
ならいが 習いに (32)
ならーち 教えて (98)
ならーちくいれ
教えてくれない? (20)

ならーちゃん 教えてやった (96)
ならてい 習って (16・79)
ならとーがやー
習っているのかな (18)
ならん ならない (できない) (96)
なれー 習い (79)
なんじ 苦勞 (16)

に

にじり 右 (10)
にふえーれーびたん
ありがとうございました (24)
にふえーれーびるさい
ありがとうございました (40)
にふえーろー ありがとう (40)
にんいっとーてい 集中して (26)
にんとうー 年頭 (66)

ぬ

ぬー
何 (20・22・30・32・38・40・
44・76)
ぬーがな 何か (98)
ぬーつし 何をして (32)
ぬーや 何が (44)
ぬーりー のど (11)
ぬじーが (写真を) 撮りに (74)
ぬしきたん ささげた (96)
ぬちる たから 命こそ宝 (79)

は

はーべーるー チョウ (36)
はーりー ハーリー (56)
はい やぁ (16)
はいさい
こんにちは (男の人が使う) (6)
はいたい
こんにちは (女の人が使う) (6)
はかめーが 墓参り (70)
ばさない バナナ (34)
はじかさん
はずかしい・悔しい (96)
はじまいびーん 始まる (12)
はじみーん 始める (18)
はちゃー ハチ (36)
はな 鼻 (11)
はな 花 (30・67)
はぶ ハブ (47)
はまてい 頑張って (24)
はんしー (ぱーぱー)
おばあさん (8・79)

ひ

ひーや 日は (56)
ぴかーのー あらん
だけではなく (47)
ひきしみてい 引き締めて (26)
ひさ 足 (11)
ひじゃい 左 (10)
ひちじ 羊 (96)
ひていみていむん 朝ご飯 (12)
びんちょー 勉強 (24・98)

ふ

ふいー 日 (28)
ふいーじゃー ヤギ (36)
ふいき 引け (46)
ふいる 振る (26)
ふえーく 早く (12・78・96)
ふえーさたぐとぅ
早かったので (22)
ふか 他 (79)
ふか 外 (79)
ふかぬちゆゆかー 他の人より (96)
ふかんかい 外に (42)
ふち 吹いて (96)
ぶちらん 仏だん (72)
ふとーぐとぅ 降っている (98)
ふみらったん ほめられた (28)
ふり 筆 (76)

ま

まーさぎさっさー
美味しそうだね (44)

まーさぎさんやー 美味しそう (68)
まーさむのー
美味しいものは (44)
まーさむん 美味しいもの (28)
まーさんやー 美味しいね (44)
まーち リュウキュウマツ (34)
まーに へしてごらん (98)
まーんかい どこに (30・42)
まかい 茶わん (14)
まし へが良い (好き) (44)
まじえー まずは (26・88)
ましやがやー へ良いかな (44)
ましやし 好きなもの (44)
まじゅーん
一緒に (12・14・16・56・57・
98)
まちかんでいー 待ち遠しい (22)
まちげー まつ毛 (79)
まちや (ぐわー) お店 (38・40)
まやー ねこ (8・36)
まゆ まゆ (11)
まるけーてー たまには (42)
まるはらか 真っ裸 (96)

み

みー 目 (11)
みーてい 見えて (46)
みーしが 見えるが (79)
みーらん 見えない (79)
みぐとぅ 見事 (56)

む

むーちー むーちー (68)
むちかさん 難しい (20)
むふん むほん (47)
むぬ ご飯 (76)
むむ もも (11)
むるっし 合計 (全部) で (40)
むん もの (56・79)

め

めー ご飯 (14)
めー 前 (26)
めーちじ ご飯粒 (14)
めんそーちやる
いらっしやった (47)
めんそーちゃん
いらっしやいました (46)
めんそーりよー
行ってらっしゃい (12)
めんそーれー いらっしゃい (40)

や

やー 家 (79)

やーしくなとーたん
お腹が空いていた (22)
やーしえー 野菜 (22)
やーにんじゅ 家族 (8)
やぐとう ~なので (98)
やーやしち 家屋しき (47)
やいびーが ~でしようか (40)
やいびーさ ~ですね (42)
やいびーん
~です (6・8・46・47・98)
やがやー ~だろう (22)
やくとう ~なので (26)
やさ
~だね (そうそう) (22・32・38・40)
やしが けれども (96)
やたん ~だった (16・28・96)
やみ そう (28)
やる ~である (96)
やれー ~だったら (30)
やんろー そうだよ (78・79)

ゆ
ゆーな オオハマボウ (34)
ゆたさえーさに 良いだろう (42)
ゆたさたん 良かった (16・28)
ゆたさるぐとう よろしく (66)
ゆっかぬひー
(旧暦の) 5月4日 (56)
ゆろーが 読んでいるの? (20)

よ
よーんなー ゆっくり (78)

ら
らふてー 豚の角煮 (22)

り
りーぐ デイゴ (34)
りっか さぁ (行こう) (30)

る
るー 身体 (10)
るし 友 (79)

れ
れーじな 大変~ (96)
れーじなたん 大変になった (78)
れーじなとーさ
大変になっている (78)
れーびる ~です (66)

わ
わー 私 (の) (6)
わかりてい 分かれて (26)
わしたん 忘れてしまった (78)
わじとーん 怒っている (96)
わしりんなよー 忘れるなよ (24)
わた お腹 (10)
わったー 私たち (8・56・88)
わらび 子ども (47)
わらびんちゃー 子どもたち (47)
わん 私 (8)
わんにん 私も (22・56)
わんにんかい 私にも (98)
わんねー
私は (6・16・32・44・76・98)

ゐ
ゐきが 男 (8)
ゐきがちょーれー
弟・兄弟 (8・76)
ゐなぐ 女 (8)
ゐなぐちょーれー
妹・姉妹 (8・74)
ゐなぐわらび 少女 (96)

を
をー 王 (96)

ん
んーじが 見に (56)
んーな みんな (57・96)
んーら
~してみよう (26・30・88・98)
んーらりーしえー
見られるのが (96)
んーりよー ~してみよう (79)
んかし 昔 (46・47)
んかしえー 昔は (56)
んかしむぬがたい 昔物語 (20)
んかしんちゆぬ
昔の人たちの (78)



北部 (久志言葉)

あ
あー
はい (目上の人に対する場合)
(12・18・24・26・38)
あーさんさ
オオシマゼミ クマゼミ
クロイワツクツク (36)
あがいていだ 上がる太陽 (79)
あかぎ アカギ (34)
あかどうら なたん 赤面した (96)
あかばなー ハイビスカス (34)
あかんぐわ 赤ちゃん (8)
あけどう トンボ (36)
あすわー 遊ぼう (20)
あすわりんどー 遊べるよ (30)
あすみが いかー
遊びに行こう (98)
あすみが 遊ぼうか (20)
あちゃーん 明日も (24)
あつかやー あるかな (44)
あっしねーや それでは (26)
あっち そして、それから (28・49)
あてい あって (48)
あとुरりがやーでいち
注文しようかと (44)
あとुरりてい 注文して (44)
あぬ かの (96)
あまくま あちこち (48)
あまぬ あそこの (38)
あみ 雨 (98)
あん いえーねー それでは (30)
あんねー さーやー
案内しよう (48)
あんまー お母さん (8)
あんまーん お母さんも (74)

い
いいー つわーとうき
良い天気になって (16)
いいー つくわどー
いい子だね (38)
いいー そーぐわち やー
良い正月です (66)
いいー 良い (16・28・42)
いえーすが しかし (76・96)
いえーびん ~です (48)
いえいくわいわ 英会話 (18)
いいー かんげー いえーさ
良い考えですね (42)
いいぎり 右 (10)
いーちてー 伝説 (49)
いいちやぎーん 召し上がる (14)

いいちやぎそーれー
食べてください (12)
いいいっぴー いえーたん
良い日だった (28)
いいぬむぬ 同じ (79)
いえいごぬ 英語の (18)
いえーくとう なので (26・58)
いえーさ そうか 22)
いえーたん だった (48)
いえーん そうだ (28・30)
いえーねー だったら (30)
いが しま 私たちの故郷 (88)
いかー 行こう (30・42・70)
いかわ あーるやー
行けばあるかな (30)
いきね あーさに
行けばあるでしょう (30)
いきむし 動物 (36)
いじ くーやー
行ってくるね (38)
いじ こー
行ってくれるかな、行ってらっ
しゃい (38)
いじ ちゅんどー
行ってくるね (12)
いじ とうらしえー
行ってください (58)
いじ 行って (12)
いじとーたんどー 出ていた (28)
いちゅん 行く (16・26)
いちよい 野イチゴ (34)
いっくわいなーる 一回こそ (79)
いどー イジュ (34)
いぬー 犬 (8)
いらぬん 選ぶ (44)
いるんな いろいろな (42)

う
うー バショウ (34)
うーくい さーやー
お見送りをしましょう (72)
うーとーとうー うーとーとー
(70)
ううぬ いる (48)
ううばさー (ううばさぎぬ)
芭蕉布 (34)
うがまん 拝まない (79)
うがみる 拝む (79)
うきなー 沖縄 (48)
うきなーでい いーねー
沖縄といえば (49)
うきれー 起きなさい (12)
うさぎむぬ お供え物 (72)
うすみじ 塩水 (79)

うた 歌 (琉歌) (88)
うちやとくとう
似合っているから (74)
うっさち これで (24)
うっさぎさんやー
うれしそだね (74)
うっさん おもしろい (58)
うっちゃん 打った (28)
うっとうー 弟・妹 (8)
うでいー うで (10)
うどうるちゃん
まごついた (驚いた) (96)
うにげー すんどー
お願いします (18)
うぬ この (96)
うむとすが
思っているんだけど (44)
うやふあーふじ ご先祖 (70・79)
うりから それから (28)
うりむちー むーちー (68)
うりや それは (42)
うわらー 終わろう (24)
うんけー さーやー
お迎えしましょう (72)

え
えーすとう しーが つちゃん
あいさつに来ました (66)

お
おー
はい (目下に対する場合) (18)
おーはぬ つみー 青い海 (49)
おーはぬ ていに 青い空 (49)
おーふあ 野菜 (22)

か
かーまんた まんた (48)
かーみぬ くー 亀の甲 (79)
かかっとぬ 書かれた (20)
がじまる ガジュマル (34)
がすすとうかぬ ウニなどの (49)
かたー かた (11)
かち んだー 書いてみよう (96)
かていむん おかず (14)
かなみぬ 要の (48)
かにべんさー
リュウキュウツヤハナムグリ (36)
かまー 食べよう (12・14)
かみが いかー
食べに行こう (42)
かみが いかな
食べに行こう (42)
かみよー 食べなさい (14)

かめーいが 探しに (30)
かめーいねが ましがやー
探せばいいかな (30)
かめーが 探しに (30)
からどう 髪 (10)
かんなどう
必ず, きちんと (14・96)

き
きー ちきてい
 氣をつけて (12・24)
きー ちかてい
 氣を利かせて (96)
きっさから 先ほどから (22)
きみたん 決意した (96)
きむ さーさすん
 胸さわぎがする (86)
きむ のーいん 機嫌が直る (86)
きむ ふいじゅん
 心が満ち足りる (86)
きむ やみん 心が痛む (86)
きむがなはん
 心からかわいく思う (86)
きむぐろはん かわいそう (86)
きむしからはん 心さびしい (86)
きむぢゅらはん 心清らか (86)
きれー 着なさい (96)

く
くえーむぬ 食べ物 (42)
くえーよー 食べてね (68)
くがー 卵 (14)
くくるむち 気持ち (86)
くし 腰 (11)
くしくとうわ 久志言葉 (98)
ぐすく いえーん グスクだ (48)
くすべんさー アオドウガネ (36)
くたいん 今年も (66)
くち 口 (11)
くとう ことを (18・20)
くば ビロウ (34)
くまや ここは (20・48)
くみ 米 (38・40)
くらち つちゃん
 暮らしてきた (96)
くりや これは (40)
くわーたくとう 食べたので (22)
くわーてい んだー
 食べてみよう (44・68)
くわつき さーやー
 いただきます (12)
くわつき しちゃん
 ごちそうさまでした (12・14)
くんだー ふくらはぎ (11)

け
けーりよー 帰りなさいね (24)
げるやー へだろうか (22)
こ
こー 来なさい (38)
こーいむぬ すん 買い物する (40)
こーいむぬ しーが いちゅん
 買い物に行く (38)
こーえんけ 公園に (30)
こーてい ちゅーる
 買ってこようか (38)
ごーやー にがうり (22)
こーらー 買おう (40)

さ
さー しょう (98)
さーるー カマキリ (36)
さがいていだ 下がる太陽 (79)
さぎらー 下げよう (68)
さけーたる 栄えていた (48)
さしいじゃちゃん ささげた (96)
さんでー さーやー
 ごちそうをいただく (70・72)
さんにん ゲットウ (34)

し
しーそーいんなー しますか (18)
じーにー お金 (76)
しーみー 清明祭 (70)
じかんどー 時間だよ (12)
しじゃー 年上 (8)
しち して (20)
しち んだー してみよう (26)
しちゃんどー したよ (24)
写真やーけ 写真館へ (74)
じゅーさんゆーいえー
 十三祝い (74)
しらびてい んだー
 調べてみよう (34・36・88)
しるー おつゆ (14)
しるまかい 汁わん (14)

す
すーすとう するのと (79)
すがい しち 恰好をして (49)
すそーに しーねー
 粗末にしたら (79)
すつくえーちゃっさー
 苦勞したよ (16)
すみさに 良いだろう (42)
すみてい 染めて (30)
すみんどー いいよ (44)

するてい いかな
 そろっていこう (26)
するばん そろばん (76)
すんでいち へするのに (16)

そ
そーかい 紹介 (8)
そーき 豚のあばら肉 (22)
そーしーぬぐとう
 本当にするように (26)
そーてい 連れて (58)

た
だー それでは (68)
だーけが いちゅる
 どこに行くの (42)
だーけが どこに (30)
たつかーゆーいえー
 満一歳の誕生祝い (76)
たぬしどん 楽しんでいる (49)
たぬしみ しみとん
 楽しませている (48)
たまな キャベツ (22・38・40)

ち
ちー とうらしよー
 きてちょうだいね (40)
ちぶる 頭 (10)
ちゃーちゃー お父さん (8・16)
ちゃーちゃーん お父さんも (74)
ちゃーびら ごめんください (40)
ちゃっさ げーる
 いくらですか (40)
ちゃっち げーたる
 どうだった (28・76)
ちゃっちよる どんな (18)
ちゃわぬー 湯飲み茶わん (14)
ちゆいぬ 一人の (96)
ちゆーいちべー 人一倍 (96)
ちゆー 人 (48)
ちゆーから 今日から (72)
ちゆーくーやー 人をかむ (74)
ちゆーぬ 今日の (22・74)
ちゆーや

今日は (16・20・22・24・28・
42・58・70・74・98)
ちゆーん 今日も (12・18・24)
ちゅらぎぬ きれいな着物 (74)
ちゅらはぬ きれいな (49・96)
ちゅらはんやー きれいだね (74)
ちゅらふあな きれいな花 (30)
ちょーでー 兄弟・姉妹 (8)
ちょーめん 帳面 (76)
ちんし ひざ (10)

つ
つきでくに 島にんじん (22)
つきわたんやー 頑張ったね (28)
つきんぬーぬ 昨日の (16)
つちーちゃんく ほうせんか (30)
つとうみけ 爪に (30)
つとうらー 顔 (11)
つとうんな カタツムリ (36)
つなんまから
 これから (18・26・38・48)
つなんま 今 (26)
つびじyai 左 (10)
つびる 昼 (20)
つみー 海 (49)
つみーぬ むぬ 海産物 (49)
つめーし おはし (14)
つやーや 君は (96)
つやびーん 言います (6)
つわー ブタ (36)
つわーたっこー カエル (36)
つゐゐ 指 (10)
つゑっちゅー ネズミ (36)

て
ていー 手 (10)
ていーぐ ていご (34)
ていーち ひとつ (68)
ていーち ないぬめー
 統一される前 (48)
ていーぬわたー 手の平 (10)
ていかー さあ (30・42)
ていきとん 見事なものだ (58)
てーじな とても (58・74・96)
てーじな まーはぬ
 ととても美味しい (49)

と
とうい ニワトリ (36)
とういが いかやー
 撮りに行こう (74)
とういが 取りに (30)
とういるやー 取るかな (76)
とうかてい んだー
 使ってみよう (98)
とうかとり 使っている (22)
とうくてい んだー
 作ってみよう (88)
とうくてい 作って (68)
とうくてくとう
 作ってあるから (68)
とうくに 特に (48)
とうくま いえーん ところだ (49)
どうし 友 (96)
とうしぬ かじ 年の数 (68)

とうしぬ くー 年の功 (79)
とうたんでい
 取ったんだって (76)
とうめーてい んだー
 探してみましよう (88)
とー
 さあ・それでは (12・24・38・44)
とーとう しえー
 うーとーとーしなさい (70)
とーとう しちから
 うーとーとーしてから (70)

な
なー もう (12)
なー 名前 (6・34・36)
なーびーかちやかちやー
 リュウキュウアブラゼミ (36)
ながにー 背中 (11)
なだけーな 有名な (48)
なたんやー なったね (16)
なちゅる くいー 鳴き声 (36)
ならーち とうらしえー
 教えてちょうだい (98)
ならーち 教えるよ (24)
ならーち とうらさんなー
 教えてくれない (20)
ならーち とうらしそーりよー
 教えてください (24)
ならーちゃん 教えた (96)
ならてい 習って (16)
ならとがやー
 習っているのかな (18)

に
にかー 将来 (6)
にふえーいえーたん
 ありがとうございます (40)
にふえーいえーびたん
 ありがとうございます (24)
にふえーどー ありがとう (40)
にん いってい いかー
 集中していこう (26)
にんとうーぬ 年頭の (66)

ぬ
ぬー 何 (20・22・30・44)
ぬーが 何を (38・44)
ぬーげら 何か (98)
ぬーぬ 何の (20)
ぬくとぬ うた
 残っている歌 (88)
ぬち 命 (96)
ぬでいー のど (11)
ぬみる 飲む (79)

は
ぱーぱー おばあさん (8)
ぱーや ときには (20)
はいさい こんにちは (6)
ばさない バナナ (34)
ばちきりとんやー かわいいね (76)
はべる チョウ (36)
はまてい 頑張って (24)

ひ
ぴーじゃー ヤギ (36)
ひきしみてい 引き締めて (26)
ぴさ 足, 足の甲 (11)
ぴさぬ つゐる 足の指 (10)

ふ
ふあか 墓 (70)
ふあじまいん 始まります (12)
ふあじみんどー 始める (18)
ふあち ハチ (36)
ふあどこはん くやしい (96)
ふあな 花 (30)
ふあな 鼻 (11)
ふあなし しち んでー
 話してごらん (98)
ふあなしっちやや あらぬ
 ～だけでなく (49)
ふあんそー 笛 (96)
ふいー 碑文 (88)
ふいとう イルカ (48)
ふいるびるとう しち 広くて (48)
ふえーく 早く (12・22)
ふおーく 多く (48・68)
ふかううてい 外で (42)
ふかけ 外に (42)
ふくざん 北山 (48)
ふち 吹いて (96)
ふでい 筆 (76)
ふとくとう 降っているから (98)
ふみらったん ほめられた (28)

ま
まーはぎさぬ 美味しそう (44)
まーはぶちやげらはぬ
 美味しそうだね (68)
まーはむん 美味しいもの (28・44)
まーはるやー 美味しいかな (44)
まーはんやー 美味しいね (44)
まーまー 姉 (8)
まい しり (11)
まかい 茶わん (14)
まぎはぬ 大きな (48)
まし いい (44)
まし いえーす 好きなもの (44)

まじや まずは (26・88)
まちかんてい いえーたん
待ち遠しかった (22)
まちやうてい お店にて (40)
まちやけ 店へ (38)
まっさーらな 真っ白な (49)
まとうー リュウキュウマツ (34)
まむいぬ 守る (48)
まやー ネコ (8・36)
まるけーてい たまには (42)
まるばい 真っ裸 (96)
まんどる たくさんある (42)
まんな ^{いっしょ}
一緒に (12・14・16・58・98)

み
みー 目 (11)
みーが いかー 見に行こう (58)
みーどく ^る いえーん
観光名所だ (48)
みーふあらき 朝食 (12・14・22)
みーまゆー まゆ (11)
みみだいつまー
耳が垂れた馬 (79)
みやーぬ まんどん
見る人がたくさんいる (48)
みらりすが 見られるのが (96)

む
むちはんやー 難しいね (20)
むぬ 物 (79)
むむー もも (11)
むぬ 皆 (49・96)
むるっち 合計 (全部で) (40)
むんどうり すりてい
みんなで (70)

め
めー ご飯 (14・76)
めーとうどう ご飯粒 (14)

も
もーいそーれー いらっしゃい (40)

や
やーく などたん
お腹がすいていた (22)
やーにんじゅ 家族 (8)
やかー 兄 (8)

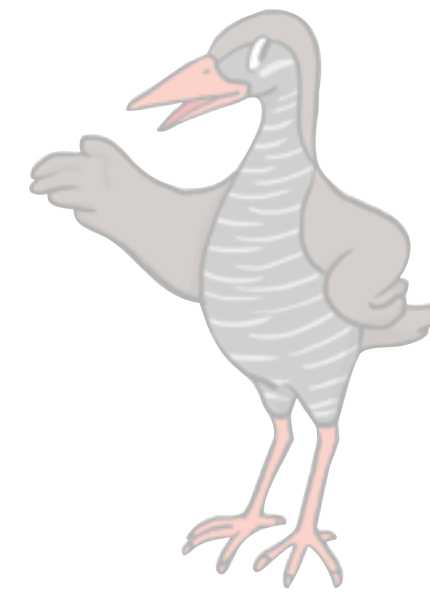
ゆ
ゆー うちゃとん
よく似合っている (74)

ゆたはるぐとうやー
よろしくね (66)
ゆどる 読んでいるの (20)
ゆどん 読んでいる (20)
ゆなー オオハマボウ (34)
ゆわっとん 呼ばれている (76)

わ
わー 私の (6・98)
わじたん おこった (96)
わたー お腹 (10)
わたみちゆか お腹いっぱい (68)
わっしらんきよー 忘れるなよ (24)
わぬ 私を (58)
わぬー 私 (8)
わぬや 私は (16)
わぬんげ 私も (22)
わね しま 私たちの島 (58)
わねー 私たち (8)
わねー むんどうりぬ
私たちみんなの (86)

ゐ
ゐきがー 男 (8)
ゐきがうっとう 弟 (8)
ゐなぐー 女 (8)
ゐなぐうっとう 妹 (8)
ゐなぐちよーでー 姉妹 (74)
ゐなぐわらゐ 少女 (96)
ゐなぐんぐわ 娘さん (96)

ん
んー
はい (目下に対する場合) (18・20)
～んでい ～と (6)



宮古 (平良言葉)

あ
あーぐう 歌を (90)
あいう
です・ある (7・43・51・60・90)
あいうがらやー
あるかな? (31・45)
あいうさーい あります (51)
あいうざ あらんな
あるでしょう (31)
あいうざい ういう
呼ばれています (50)
あかーあかぬ まんとうー
緋のマントを (97)
あかいうぎー アカギ (35)
あがいたんでい やったー (80)
あかばだかん なりどぅ ういうっ
ざ あらんな
真っ裸じゃないか (97)
あかばな ハイビスカス (35)
あかんが 赤ちゃん (9)
あがんにや (あば) ああ (69)
あぎどうなか (とうなか)
卵焼き (卵) (15)
あざ 兄 (9)
あさむぬー 朝ご飯を (13・23)
あさむぬーばー 朝ご飯は (15)
あしうが しかし (77)
あしうちうかー
やってみると (80)
あしうちうかー ないうどぅ しう
さいが やればできるんだ (80)
あしがどう けれども (97)
あすば 遊ぼう (21・33)
あすばいどぅ しうどー
遊べるよ (31)
あすばっちやー
遊ぼうか? (21・33)
あすぴい 遊んで (97)
あすぴうが 遊びに (99)
あたり うたいばどぅ
合っていたので (29)
あちうかー
それでは (27・33・39)
あつあやー 明日ね (25)
あどぅ かかと (11)
あばらぎさ 美しい (81)
あばらぎみどろんつづああ
かわいい娘さんは (97)
あばらぎみどろん 美女 (51)
あびらいたいう 招待された (77)
あみぬ 雨が (99)
あら それでは (27・39・69)

あらーぬ いむとー 外の海と (51)
あらんにや よーし (80)
ありやーみーん んぞー なむぬ
ていどぅ たまらなく悔しいと (97)
ありやみーん あばらぎやー
とてもきれいだね (75)
あんが 姉 (9)
あんちーしつてい そして (29・97)
あんちーやー そうだね (33)
あんちーな
そうか (23・29・31)
あんちーぬ こんなに (80)
あんちー やちうかー
それでは (33)
あんな お母さん (9)
あんないすーやー
ご案内しましょう (50)
あんなまい、うやまい
お母さんもお父さんも (75)

い
いいうぬ いむ 西海岸 (51)
いーぬぷー
イーヌプー (池間湿原) (50)
いうずぬきやー 魚たち (50)
いうずぬまーすに 魚の塩煮 (23)
いか 行こう
(31・33・43・60・71・75)
いかっちやー 行きますか (43)
いかやー 行こう (27)
いき くーっどー
行ってきます (13)
いきう 行く (17・27)
いきうむしう 動物 (37)
いき くー
行ってらっしゃい (13・39)
いき くーっどー
行ってくるね (39)
いきばが 行けば (31)
いきばどぅ 行けば (31)
いきまじうまぬ 池間島の (50)
いきやー 池は (51)
いじでいがらやー 入れようかな (33)
いじぶしうかい 入れたいなあ (33)
いすか やりやー いくらですか (41)
いちうにちうぬ 一日が (13)
いちうばん 一番 (50)
いっづい うていーまい
怖がっていても (80)
いでい うたいうどー
出ていた (29)
いらばでい 選ぶ (45)
いらびうがら 選ぶかな (77)
いらぶじうもー 伊良部島を (51)

いるたていでていぬ
いろいろな (43)
いん 犬 (9)
いんがなしうきやー
かわいいね (77)

う
ういうがらやー
～ているのかな (19)
ういから それから (29)
ういきしうまーい
追いかけて回る (60)
ういび 指 (10)
ういびやー 指は (81)
うがむ ていーまい
見ることのできる場所としても (51)
うきば あるから (69)
うきる 起きなさい (13)
うさぎとらすたい させた (97)
うさぎむぬー お供え物を (73)
うちう 打つ (27)
うちうたいじゅー 打った (29)
うちうんかいどぅ 内側に (81)
うていや ～では (29)
うでい うで (10)
うとうとう 弟 (9・75)
うとうもー すー
お供しましょう
(お見送りしましょう) (73)
うぬ その (97)
うぬ ぶかぬ その他の (81)
うばーた たくさん (69)
うばーたどぅ 大勢 (50)
うばーたぬ 多くの (50)
うばーぶ ないうちうかー
大きくなったら (7)
うばーぶぬ 大きな (50)
うまかもー あちこち (50)
うみす おはし (15)
うむい ういうさい
思っているのだ (97)
うむい ういすがどぅ
思っているんだけど (45)
うむいうさーい 考えています (7)
うむーちうかー
思っているうちは (80)
うむっし 好きな (7)
うや お父さん (9)
うやからどぅ 父から (17)
うゆぎうぬ
スイムの (泳ぎの、水泳の) (50)
うりやー それは (43)

お
おー はい (目上に対する場合)
(19・25・41・47)
おーおーぬ いむ 青い海 (50)
おーおーぬ すら 青い空 (50)
おーゆばー 王を (97)

か
かい ～に (31・33・43)
かい きし ふいーる
買ってきてちょうだい (39)
かい くーっちゃー
買ってこようか (39)
かかいう かかる (81)
かかい ういう 書かれた (21)
かぎ 良い (66)
かぎぎうんな きれいな着物 (75)
かぎとうくる 美しい景色 (50)
かぎばながもー きれいな花を (31)
かき みーちうかー
書いてみると (97)
かぎむぬ きれいです (50)
かぎ わーちうきう やーば
良い天気なので (99)
かぎ わーちうきうん なり
良い天気になって (17)
がざまぎー ガジュマル (35)
かじぬどう 風が (50)
かじゃー 風は (81)
かずだき 数だけ (69)
かたむしう かた (11)
かなう むぬぬどう
かなう者が (81)
かなっさどう 愛故に (81)
かなまいう 頭 (10)
かならじう 必ず (51)
かのー かなう (81)
かまぬ あそこの (39)
からじう 髪 (10)
かんずーむどう やたいう
敏感であった (97)

き
きーぬ 木の (35)
きいむぐりーぐりん なり うた
いう 気が動転した (97)
ぎうさから 先ほどから (23)
きうだいうくに 島にんじん (23)
きうぬー ちうき
気を付けて (13・25)
きうぬぬ 昨日の (17)
ぎうばり 頑張って (25)
きうむ 心 (81)
きうむ あらーしう

気持ちを表す (87)
きうむすだーしうき
気持ち良い (51)
きうむぬ すくから かなしうっさ
ていどう うむう
心からかわいく思う (87)
きうむぬどう やむ
心が痛む (87)
きうむ やば 心やさしい (87)
きうむ んていーんてい
心が満ち足りる (87)
きうもー わいてい
心を引き締めて (27)
きし 着るがいい (97)
きみたいう 決意した (97)
きゆーから 今日から (73)
きゆーぬ 今日の (21・23・75)
きゆーまい 今日も (19・25)
きゆーや 今日
(17・23・25・29・33・43・
60・71・75・99)

く
くいしー これで (25)
くーつづい きうしうたいう
準備してきました (71)
くーでいー 来ます (41)
くーよー 来てね (41)
くさんみ 背中 (11)
くしう 腰 (11)
くつづあ ふくらはぎ (11)
くとうしうまい 今年も (66)
くとうば 言葉 (87)
くば ビロウ (35)
くまー ここ (21)
くまからー これから (50)
ぐみ 組 (27)
くらしどう きうしうたいう
暮らしてきた (97)
くりやー これは (41)

こ
ごーら にがうり (23)
ごーらいいうきう
にがうり炒め (23)

さ
さーい ～です (7)
さーり いき 連れて行って (60)
さーる カマキリ (37)
さい ～です (7)
さがい さびしい (87)
さきう 岬 (51)
さきうん いかっていーぬ なかば

がまんな 岬の途中には (51)
さぎやー 下げよう (69)
さとうぬ ぼくじんどう やいう
里の牧人である (97)
さにん ゲットウ (35)
さびうしうむぬ さびしい (87)
さらさらてい サラサラとして (50)

し
しー ～をして (21)
しーが ～をして (33)
しーみー してみよう (27)
しうる お汁 (15)
じうかんどーや 時間だよ (13)
しうとうがちう お盆 (73)
しうっさす 告げる (50)
しうったいーどーや
～してやったよ (17)
しうまいうやー 終わろう (25)
しうまじうーんどう 島中に (60)
しうまぬ 島の、故郷の (60・90)
しうまびうとうちゃーなー あらだ
なしー 島の人だけでなく (50)
しうるまかい 汁わん (15)
したうかい 紹介 (9)
しゃしんな めーりぬ
写真が載る (51)
しゃしんぬ 写真を (75)
しゃしんやーんかい 写真館へ (75)
しゆー (うぶじう)
おじいさん (9・33・81)
じゆーさんよーいーう 十三祝い (75)
じゆうるくにちう 十六日祭 (71)
じゆぎょーゆ 授業を (19)
しよーがちう 正月 (66)
しよーがちうぬ あいさつちう
年頭のあいさつを (66)
しよーがちうぬ あがいていどー
初日の出 (51)
じよーじうん 上手に (33)
しよーつつあまーり
気を利かせて (97)
じよーぶんさーい いいよ (21)
じよーぶんどーや
～していいよ (45)
じよーぶんな あらんな
良いだろう (43)
しらびみー
調べてみよう (35・37・90)
しんしーん 先生に (7・29)
じん お金 (77)
じんぬ お金を (77)

す
すー おかず (15)
ずー
さあ (13・15・27・43・45・71・
73)
すー しょう (99)
ずー 行こう (31・33・99)
すーってい ～するのに (17)
すーてい ～します (9・27)
すーでい ～します (66)
すーでいな ～しますか (19)
すーでいがらやー
どうしよう (80)
じうーぬ しうたぬ がま
地下の洞くつ (50)
すっしう とungskゃんな
するときには (50)
すったいー どーや ～したよ (25)
すていちうぬ ぱーしー
ソテツの葉で (33)
すみ 染めて (31)
するい そろって (27)
するばん そろばん (77)

せ
せいじやー すっさいん
政治が分からぬ (97)

そ
ぞー ぴうかじうどう 良い日 (29)
ぞーかりやー いいかな (31)
ぞー かんがい
良い考えですね (43)
ぞー どうっさ よき友は (97)
ぞーむぬさいが 良かったね (29)
ぞーむぬやー 良かったね (17)

た
だいじうなむぬ 大切なもの (81)
だいじうんすー
大切にしよう (80)
だいひょーつす 代表する (50)
たうきやーぬ 一人の (97)
たかーたかぬ 高い (80)
たかぎー 高木 (81)
たかさーしー ふいーさーち
よろしくお願いします (66)
たっかーし ぬりたくって (60)
たていだてい いろいろな (33)
たまな キャベツ (23・39・41)
たみ 集中して (27)
たもー なぎう 球を投げる (27)
たんかーよーいーうんどう
満一歳の誕生祝いに (77)

たんでいがーたんでい
ありがとうございました (25・
41)

ち
ちーあら (ずーあら)
さあ、それでは (31)
ちうぐしう ひざ (10)
ちうみゆー 爪 (31)
ちうんだらーしう
かわいそう (87)
ちうんだらーしう 悲劇の (51)
ちびたいう (ちび) お尻 (11)
ちやばん 湯飲み茶わん (15)

つ
つづあー 君は (97)
つかいみー 使ってみよう (99)
つぎやーり ういうさーい
結ばれています
(つながっています) (51)
つぎやーり うてい
つながっていて (51)
つつふあ 作ろう (33・90)
つつふあ 作りましょう (90)
つつふあってい
作りたいから (33)
つつふいみー 作ってみよう (33)
つつふい 作って (69)
つつふうたいう 作った (33)
つつい ういば
雨が降っているから (99)

て
ていー 手 (10)
ていーぬぴうさ 手の平 (10)
ていーや かみっていから
手を合わせて (71)
ていんさぐ ホウセンカ (31)

と
とういう ニワトリ (37)
とういう 鳥 (50)
とういうたいうていーぬ
取ったんだって (77)
とういが 撮りに (75)
とういが 取りに (31)
どうーだしうき 自らを助ける (81)
どうーぬ ふうちうんかいどう
自分の口に (81)
どうが んーなんかい
自分の身体に (60)
どうくる 場所 (所) (51)
とうくるさーい 所です (50)

とうしぬ 年の (69)
とうばいどう つしうさいが
跳べたぞー (80)
とうばいどう つしうぴやーやー
跳べるかなあ (80)
とうばっどー 跳ぶぞ (80)
どうふうきうぎー デイゴ (35)
どうまつづ いぎいたいう
まごついた (97)
とうみが 探しに (31)
とうみみー 探してみよう (90)
とうみりばが 探せば (31)
とうゆむ 有名な (51)
とうらぬばぬ 南東の (51)
どうるいむ 湿原 (50)
どうろー 泥を (60)

な
なー 名前 (35・37・99)
なーだか 有名な (60)
なーだか とうくるさーい
有名な所です (50)
なーや 名前は (7・99)
なーや とうゆまし ういう
名を知られる (51)
ながさー 長さは (50)
なかちうがーしう クマゼミ (33)
なきうぐい 鳴き声 (37)
なちうぬ きうしゆーてい
夏の訪れを (50)
なびがーしう
リュウキュウアブラゼミ (37)
ならーし とうらしうたいう
教えてやった (97)
ならーしう ふいーさーち
お願いします (19)
ならーしう ふいーる
教えてくれない? (21・99)
ならい 習って (17・19)
ならいみーる
習ってみましょう (81)
ならっていどう なりたいと (7)
なり ういう
～になっている (50・66)
なろーが 習いに (33)
なんぎ しうたいう どーや
苦勞したよ (17)

ぬ
ぬぶい のど (11)

の
のーいー 直る (87)
のーがらーゆ 何か (99)

のーがらやー 何だろう (23)
のーしーが やたいう
どうだった (77)
のーしーり 何をして (21)
のーぬ 何の (21)
のーぬが 何が (45)
のーばしーが どうしよう (80)
のーばしーが やたりやー
どうだった (29)
のーまい なん
しょうがない (80)
のーゆ しーがー 何をして (21)
のーゆ 何を (31・33)
のーゆが かーでい
何を買うの? (41)
のーゆが
どんな, 何を (19・33・39・77)

は

はーい やあ (7・17)
ばーや 私は (17・45)
ばーやー 私は (33)
ばーんとうー パーントゥ (60)
ばいーばい ういば
似合っているから (75)
ばが 私の (7・99)
ばかーり 分かれて (27)
ばがどう 私は (77)
ばがなーや 私の名前は (7)
ばかんかい 墓参りに (71)
ばぎう 足 (11)
ばぎうぬういび 足の指 (10)
ばぎうぬくー 足のこう (11)
ばじうまいう 始まります (13)
ばずみでい 始める (19)
ばそーないう バナナ (35)
ばそーぬぬ バショウ (35)
ばたー ふうさりゆーたいう
激怒した (97)
ばたー やーすーやーす
お腹が空いている (23)
ばたーんちうきや ふあいよー
お腹いっぱい食べてね (69)
ばだこー 裸を (97)
ばちう ハチ (37)
ばっしいうなよー
忘れるなよ (25)
ばていむぬー 勇者は (97)
ばな 花 (31)
ばな 鼻 (11)
ばなし みーる 話してごらん (99)
ばなん 端 (51)
ばぬー 私を (60)
ばびいう チョウ (37)

ばまーしー ビーチ (浜) で (50)
ばら お腹 (10)
ばん 私 (19)
ばんたがー
私たち (9・60・87・90)
ばんまい 私も (23)

ひ

びーいう トンボ (37)
ぴーや ふうき 笛を吹き (97)
ぴうさぬ だき 足甲の高さ (80)
ぴうさらぬ 平良の (7)
ぴうしうま ゆくーんな
昼休みの時間 (21)
ぴうだいう 左 (10)
ぴうていーちう ひとつ (69)
ぴうとうー 人を (60)
ぴうとうかたん 一芸 (81)
びきう (女から見た) 兄弟 (9)
びききょーだい 兄弟 (9)
びぎどうん 男 (9)
ぴつとう 羊と (97)
ぴとうだすきやー 人助けは (81)
ぴとうぬばいまい 人一倍 (97)
ひぶんう 碑文を (90)
ぴやーかたいばどう
早かったので (23)
ぴやーまり 早く (13・97)
ぴよーすんな たまに (43)
ぴりよー 帰りなさいね (25)
ぴんざ ヤギ (37)

ふ

ふぁー
食べよう, いただきましょう (13・
15・45・73)
ふぁーいいう 食われて (81)
ふあいみー 食べてみよう (69)
ふあいよー 食べなさいね (15)
ふぁつとー
いただきます (13・45)
ふいーさーち ください (41・60)
ふいーじゃーんな
行ってくれるかな (39)
ふうかーふうかぬ とうくるん う
てい 深いところで (51)
ふうぎうだーき 首の高さ (80)
ふうき ぴういう
吹き抜けていきます (51)
ふうさばながましー 草で (33)
ふうさばなとうか 草花や (35)
ふうたーちうぬ 二つの (51)
ふうちう ロ (11)
ふうなた カエル (39)

ふぉーいが 食べるに (43)
ふぉーぬどう 食べるのが (23)
ふぉーぶしうかいう むぬー
好きなもの (食べたいもの) (45)
ふぉーむぬ 食べ物 (43)
ぷかなさだかーならんてい
除かねばならぬ (97)
ぷかぬ 他の (33)
ぷからしうきやー
うれしそうだね (75)
ぷかんかい 外に (43)
ふでい 筆 (77)
ぷないう (男から見た) 姉妹 (9)
ぷみらいたいう ほめられた (29)
ぶりいう 折れる (81)

ほ

ほんぬが 本を (21)
ほんぬどう 本を (21)

ま

まーちうき
一緒に (13・15・60・90・99)
まい 前 (27)
まい あいう ～もある (50)
まい ありってい ～もあり (50)
まいう 米 (39・41)
まいう ご飯 (15・77)
まいうしうじう ご飯粒 (15)
まいふうかがま いい子だね (39)
まかいう 茶わん (15)
ましう いい (45)
まづがーてい まづは (27)
まちうかにどう ういう
待ち遠しい (23)
まちうぎー リュウキュウマツ (35)
まちうりどーや 祭りなんだよ (60)
まっざー まづは (90)
まっちゃん うてい お店にて (41)
まっちゃんき お店へ (39)
まなーんてい
しっかり (きちんと) (15)
まむやが ばかまいどう
マムヤの墓も (51)
まゆ ネコ (9・37)
まゆ まゆ (11)
まんなかん 真ん中に (50)

み

みー 目 (11)
みーが きうしう 訪れます (50)
みーが 見に (60)
みーらいう
見ることができる (50)

みーらいう 見える (51)
みーらいすーどう
見られるのが (97)
みじうらしう とうくるさーい
貴重な場所です (50)
みどうん 女 (9)
みどうんうとうとう 妹 (9)
みどうんきょうーだい 姉妹 (9)
みどうんやらびぬどう 少女が (97)
みばな 顔 (11)
みばなー あかーあかしー
赤面し (97)
みやーくー 宮古島を (50)
みやーくぬ
宮古の (21・50・60)
みやーくふうちう 宮古言葉 (99)
みやーくふうちうっし
宮古言葉で (97)
みやーくんうていや 宮古では (60)
みやーくんかいどう 宮古島の (50)

む

むしうかぐー 虫カゴ (33)
むしうがま・むしう 昆虫 (37・50)
むちうかしう むぬやー
難しいね (21)
むっちう むーちーを (69)
むとうびう 野イチゴ (35)
むぬー かい きうし 買い物 (39)
むぬー こー 買い物をする (39)
むむ (に) もも (11)
むむかたん 百芸 (81)

や

やーでいゆ 家族 (9)
やーば
なので (だから) (27・60・71)
やーんかい 家に (25)
やたいう ～だった (29)
やちうかー それでは (33)
やちうかー だったら (31)
やな ざいぐとうんかいや
邪悪な事には (97)
やまとうぬ 観光客まい
ヤマトの観光客も (50)
やまばとー 山鳩 (81)
やむ 痛む (87)

ゆ

ゆーどう ぱいぱい ういうじゃー
よく似合っているね (75)
ゆーな オオハマボウ (35)
ゆくーとうきやーんな
休み時間のときには (21)

ゆにむい ユニムイ (池間湿原) (50)
ゆみ ういうさーい
読んでいるよ (21)
ゆみゆーりやー
読んでいるの? (21)
ゆむぬ ネズミ (37)

わ

わー ブタ (37)

ん

んかい お迎えしましょう (73)
んかいやー お迎えしましょう (73)
んがな
はい (目下の人に対する場合)
(19・27・39)
んぎう 右 (10)
んきぎいう 召し上がる (15)
んきぎさーち 食べてください,
お召し上がりください (13・71)
んきぎさまち
お召し上がりください (73)
んきやーん ばなしうぬ
昔物語が (21)
んきやーん びうとうぬきやーぬ
昔の人たちの (80)
んきやーんから 昔から (90)
んきやーんじゆくう
ことわざ (80・81)
んざん どこに (31)
んざんかいが どこに (43)
んじんかい すーでいからやーてい
どれにしようかと (45)
んていーんてい 満ち足りる (87)
んな ～では (29)
んなまー 今は (27)
んなまから
これから (19・27・39)
んにや もう (13)
んま (ばーんま, うぷあんな)
おばあさん (9・81)
んまー んまーどう やたいう
ごちそうさまでした (13・15)
んまーんまやー 美味しいね (45)
んまぎやー
美味しそうだね (45・69)
んまむぬー
美味しいもの, ごちそう (45・71)
んまむぬー ふぁー
ごちそうをいただく (71)
んまむぬぬどう 美味しいものが (29)
んまりさい 生まれです (7)
んまんかいいうがらやー
美味しいかな? (45)

んみ とうとうみきう
胸騒ぎがする (87)
んみやーち いらっしゃい (41)
んもーい かーさちー
ごめんください (41)
んー
はい, うん (13・19・21・27・39)
んーな カタツムリ (37)
んーなが みんなの (87)
んーなぐーや 砂は (50)
んーなしー みんなで・全部で
(41・71)
んーなん みんなに (97)



八重山(四箇言葉)

あ

あーさする アーサ汁 (23)
あーみ 雨 (83)
あーみぬ ふいりき
雨が降っているから (99)
あいしょーるん 召し上がる (15)
あうだ カエル (37)
あかうむていすん 赤面した (97)
あかまず 髪 (10)
あさば 遊ぼう (21・33)
あさぶかやー 遊ぼうか? (33)
あさびな はら 遊びに行こう (99)
あざま 三男 (9)
あすばりん 遊べるよ (31)
あすびぬ 遊びが (31)
あすびや 遊ぼうか (21)
あだがやー あるかな (45)
あたらさーる むぬ
大切なものです (83)
あたりてい 合っていたので (29)
あっかん アカギ (35)
あったらさ しーよー
大切にしよう (82)
あったらさーん かわいいね (77)
あっちゃー お父さん (75)
あつつあらー 明日 (25)
あっぱー お母さん (75)
あっぱりしゃー そーらー
とてもきれいだね (75)
あつめー 集めて (33)
あどう かかと (11)
あとう あとーや 将来は (7)
あぬ あそのの・あの (39・97)
あまくま あちこち (52)
あらんば じゃないか (97)
あるかやー あるかな (31)
あん あらぬ あるでしょう (31)
あながまー アンガマ (62)
あんかやー あるかな (31)
あんかれーり 勧め (52)
あんくだ 教えた (97)
あんくむぬゆ ~です (7)
あんじー そうか (23・29・31・82)
あんじらー
そうそう (そうだね) (33)
あんずかー
それでは (27・31・33・39・69)
あんてー そして (29)

い

いー 良い (17・29・67・82)
いー はい

(目下の人に対する場合) (19)
いかされーすん
生きているのも (53)
いからー 行こう (27・31)
いき くい 行ってくるね (39)
いき くーいー
行ってきます (13)
いき くーよー
行ってらっしゃい (39)
いきってみしらー
見に行こう (62)
いきむす 生き物 (37)
いくねー 行けば (31)
いくん ゆー 行く (41)
いくん 行く (17)
いこーびかやー
いくらですか (41)
いじ みやみーり (いじみーり)
話してごらん (99)
いじえーる 言った (83)
いじみやーむー
使ってみよう (99)
いしやなぎら 石垣 (52)
いじゆ イジュ (35)
いでーだ 出ていた (29)
いびー ああ (69)
いらぶかやー 選ぶかな (77)
いりーかやー 入れようかな (33)
いりぶさーる 入れたいなあ (33)
いん 犬 (9)
いんぬ 海の (52)
いんぬふあーぬ ちぐち
北西部 (52)

う

うー はい(目上の人に対する場合)
(19・25・27)
うーる さんご (53)
うえんちゆ ネズミ (37)
うきなー 沖縄 (52)
うきりよー 起きなさい (13)
うくる さーなら
お見送りしましょう (73)
うしゅまい おじいさん (9・33・83)
うすぬ にくどう
ステーキ (牛の肉) (45)
うちうなんがれー 中では (52)
うつだ 打った (29)
うでい うで (10)
うとうどう 弟 (9)
うとうどうびきりう 弟 (9)
うとうどうぶなりう 妹 (9)
うとうどうぶなるぬ 妹の (75)
うぬふかぬ この他の (83)

うび 指 (10)
うまー ここは (21)
うむやーうすんが
思っているんだけど (45)
うむいゆ 気持ち (87)
うむっさんどう
おもしろいよ (62)
うむやー 思って (83)
うやぬくいやー 親の声は (83)
うりから それから (29)
うりたんがーや あらん
それだけではありません (53)
うれー それは (43)
うわりてい 終わろう (25)

え

えいごの はなしょー 英会話 (19)

お

おいしとーんなーらー
お召し上がりください (71)
おいしょーり
お召し上がりください (73)
おいしょーり 食べなさいね (15)
おいしょーるん 召し上がる (15)
おいすだー ささげた (97)
おー はい (13)
おー ぶた (37)
おー (目上に対する場合)
はい (39)
お一つき かいしゃーりき
良い天気 (99)
お一つき なり 天気になって (17)
おーりとーり いらっしゃい (41)

か

かい ~へ・~に (17・33・43)
かいきー ひーらぬ
買い物に行ってくれるかな (39)
かいきー ひーりや
買ってきてちょうだい (39)
かいしゃーる
きれいな・美しい (31・51・53・75)
かいしゃーる きん
きれいな着物 (75)
かいな はるん
買い物に行く (39)
かいむぬ しに 買い物に (41)
かきみよーら
書いてみると (7・97)
かぎうつちゃ カマキリ (37)
かけーず トンボ (37)
がざむねー ガジュマル (35)
がじえーら かた (11)

かーしょーり
(売って) ください (41)
かたみ 約束 (82)
がっちゃー 二男 (9)
かていむぬ おかず (15)
かなさーる かわいい (97)
かにごーやー 黄金虫 (37)
かやーって 買ってこようか (39)
かよーるねーら 買うの (41)
かんがいがー 考えると (82)
かんじー こんな風に (82)
かんぬくい 神の声 (83)
かんばい しゃーだ
敏感であった (97)

き

きーきかし 気を利かせて (97)
きーぬ くりむし 木ぼりの像 (52)
きうー しうめーり
心を引き締めて (27)
きうー ちうけー
気を付けて (13・25)
きうむ 肝 (心) (83)
きうむ のーすん 機嫌を直す (87)
きうむぬ やむん 心が痛む (87)
きうむあーりう、きうむさわぎう
胸騒ぎがする (87)
きうむから かなさーん
心からかわいく思う (87)
きうむんぐりしゃーん
かわいそう (87)
きうむしかさーん
心さびしい (87)
きうむぬ やふあさーん
心やさしい (87)
きうむ ふぎるん
心が満ち足る (87)

きうんだいくに 島にんじん (23)
きさから 先ほどから (23)
きすそー ます 着るがよい (97)
きぬーぬ 昨日の (17)
ぎばり 頑張って (25)
きめーた 決意した (97)
きゆーから 今日から (73)
きゆーぬ 今日の (21・75)
きゆーや
今日は
(13・17・23・25・27・29・33・43・
62・71・75・99)
きゆーん 今日も (13・19・25)
きんじゃく ホウセンカの花 (31)
きんどー 来る (降っている) (83)

く

ぐしょーくぬはな
ハイビスカス (35・53)
くす こし (11)
くす 背中 (11)
くたいぬ 答えが (29)
くちさーる くやしい (97)
くとうば 言葉 (87)
くとうばり くいー
断ってくるね (82)
くぬ つぐちえー
この湾 (本文では川平湾) (52)
くぬしうまぬ
この島の (本文では石垣島をいう)
(52)
くば ビロウ (35)
くよーんなーら
ごめんください (41)
くよーんなーらー こんにちは (7)
くりから これから (19・27)
くりからーや これからは (52)
くりし これで (25)
くれー これは (41)
くんじょーくれ 激怒した (97)

け

けーらし みんなで (71)

こ

ごーやー にがうり (23)
こっきー ごちそう (71)
こっきー とーらりだゆー
ごちそうさまでした (13・15)

さ

さー さあ (27)
さーでい やろうぜ (82)
さーり いき ひょーり
連れていって下さい (62)
さんさん クマゼミ (33・37)
さげー みやーむー 下げよう (69)
さにんしゃんがさー そーらー
うれしそうだね (75)
ざまどうり まごついた (97)
さみん さんみん ゲットウ (35)
さらー ~します (27)

し

しーみやーむー してみよう (27)
しいさぬ わからぬ (97)
しーり ~して (27)
じーわ クロイワツツク (37)
しうきよー 聞きなさいよ (83)

しうまぬ
島の (本文では石垣島) (52・62)
しうるまかる 汁わん (15)
しえーすんが している (82)
しか 石垣市四箇 (7・52)
しこーりきーだ 準備 (71)
しこーりむぬ お供え物 (73)
しじゃ 兄 (9)
しじゃぶなりう 姉 (9)
していーずぬ はーし
ソテツの葉で (33)
しとうむでいぬ んぼん
朝ごはん (13・23)
しな はるん ~します (27)
じゅーさんぬよい 十三祝い (75)
じゅーるくにちう 十六日祭 (71)
しゅむつどう 本を (21)
じょーとーに 上手に (33)
じょーとーらー 良かったね (17)
しょーるん しますか (19)
しょんぐわじうらー 正月です (67)
しらびららー
調べてみましょう (90)
しらべー みやー
調べてみよう (35・37)
じん お金 (77)
しんしーかい 先生に (7・29)

す

ずうぐ でいご (35)
すーそー ~をするの (17)
すーだ ~したよ (25)
すーだゆー ~したよ (17)
すーぬ 海水 (52)
すかりそーや 好きなのは (7)
すくり みやーむ
作ってみよう (33)
すすいのーぬ みちう
白砂の道 (53)
すないだ むぬ (こっきー)
お供えしたごちそう (73)
すなだ 風景 (53)
すばびうसानんが 左右 (52)
ずぶんまい 大会前 (27)
ずまかい どこに (31)
ずまかい はりやー
どこに行きますか (43)
ずまんかどう どこに (31)
すめー 染めて (31)
する おつゆ (15)
するいり そろって (27)
するばん そろばん (77)

そ
そーろん お盆 (73)
ぞぞー さあ (43)
た
たかーに
いっぱい たくさん (31・69)
たかでい 高台 (52)
たちうかー 立っているところ (83)
だぶら ふくらはぎ (11)
たまなー キャベツ (23・39・41)
たぬみゃ 注文しなさい (45)
たろーやかん 人一倍 (97)
たんかーよい
満一歳の誕生祝い (77)

ち
ちうかさりだー 招待された (77)
ちうななー 網目 (82)
ちうぶしう ひぎ (10)
ちうみ 爪 (31)
ちきゅーんがれー
世界中では (53)
ちび おしり (11)
ちゃばん 湯飲み茶わん (15)
ちゅくららー 作りましょう (90)
ちょーみん 帳面 (77)

っ
つかーれーる 使われる (52)
つかさなーら
ご案内しましょう (52)
つくら 作ろう (33)
つくりぶさーりきー
作りかいから (33)
つくるだ 建てられた (52)
つくれーりきー
作ってあるから (69)
つくれーる 作った (33)
っさりんゆー ～をします (67)
っさりんゆー 紹介 <small>しょうかい</small> します (9)
つたいる 伝える (87)
つだみ カタツムリ (37)
っぶる 頭 (10)
つら 顔 (11)
つんぼん ご飯 (15・77)
つんぼんつぶ ご飯粒 (15)
つんぼんまかい 茶わん (15)

な
なー 名前 (37)
なー うつあれーんどー
有名なんだよ (62)
なーびかちかちー
リュウキュウアブラゼミ (37)
なーむちるとうくる
有名な場所 (52)
なーや 名前は (7・99)
なういみーら
習ってみましょう (83)
なきぐい 鳴き声 (37)
なま 現在 (52)
なまから これから (39)
ならーし 教えて (19)
ならーし ひーりゃ
教えてちょうだい (99)
ならーし ひょーり
教えてください (21)

て
ていー うさーし
手を合わせて (71)
ていー さあ (13・31・43・71)

ていー 手 (10)
ていーぬぴら 手の平 (10)
でいかしえーれんゆらー
良かった (でかした) ね (29)
でーじう ひどく (97)
てーどうん 竹富島 (53)

と
といみな 探しに (31)
とーぬ ふあいむぬ
中華料理 (45)
どうしう 友だち (82)
どうすおーや 友は (97)
とうすぬ 手の (69)
とうったかやー
取ったんだって (77)
とうなが 卵 (15)
とうながやき 卵焼き (15)
とうびんでーる 代表する (53)
とうみな 探しに (31)
とうみばどう 探せば (31)
とうみらんば 選ぶよ (45)
とうめーむーら
探してみしょう (90)
とうんな はら
(写真) を撮りに行こう (75)
とうんな 取りに (31)
とーらりら いただく (71)
とーらりるんどー (とーらるなーらー)
いただきます (45)
とーらりるんゆー
いただきます (13)
とーらるなーらー
いただきます (13)

な
なー 名前 (37)
なー うつあれーんどー
有名なんだよ (62)
なーびかちかちー
リュウキュウアブラゼミ (37)
なーむちるとうくる
有名な場所 (52)
なーや 名前は (7・99)
なういみーら
習ってみましょう (83)
なきぐい 鳴き声 (37)
なま 現在 (52)
なまから これから (39)
ならーし 教えて (19)
ならーし ひーりゃ
教えてちょうだい (99)
ならーし ひょーり
教えてください (21)

ならい くー 習いに行こう (33)
ならい くーでいー
習いに行こう (33)
ならい みーら
習ってみましょう (83)
ならいり 習って (17)
ならいるかやー
習っているのかな (19)
なりどう うるゆー
～になります (7)
なりぶさんゆー なりたいです
なんぎしー 苦労 (17)

に
にあいそー 似合っているね (75)
にふあいゆー
ありがとうございました (25・45)
にふあいゆー ふこーらさゆ
ありがとう (41)
にふあどー ありがとう (82)
にやーりきー
似合っているから (75)
にんとうぬ 年頭の (67)

ぬ
ぬきなすんで 取り除く (97)
ぬくりる 残っている (52)
ぬすとうる 泥棒 (どろぼう) (83)
ぬまるぬ 飲めない (83)

ね
ねーら 右 (10)

の
のーかやー 何かな (23)
のーしーり 何をして (21)
のーしどう うだ
どうだった (何かあった) (29)
のーしどう うだかやー
どうだった (77)
のーしぬ どんな (31)
のーしる むぬゆ どんなこと (19)
のーどう 何を (33・39・41・45・77)
のーどうしー 何をして (33)
のーどう ほーだー 食べたか (13)
のーぬ 何の (21・31・35)
のーやかん たまらなく (97)
のーんがさ 何か (99)
のーんくい しこーれーる
いろいろな (43)
のどう のど (11)

は
ばのーや 私の名前は (7)
ばー 私の (7・99)
はいしゃ ばーだーどう
食べるのが早かったので (23)
はいしゃ 早く (13)
ばがー 私たち (62)
ばがーしうま うた
私たちの故郷の歌 (90)
ばがだー けーらぬ みんなの (87)
ばがれー 分かれて (27)
ばくん かけられる (82)
ばしう おはし (15)
ばじう ハチ (37)
ばしうきなよー 忘れるなよ (25)
はじまるんどー 始まります (13)
はじまるんどー 始まるぞ (83)
はじみら いこう (始めよう) (27)
はじみんどー 始めるよ (19)
ばそー バショウ (35)
ばそーきん 芭蕉布 (35)
ばそんなる バナナ (35)
ばだ お腹 (10)
ばだかー 真っ裸 (97)
ばだぬ んつつけん
お腹いっぱい (69)
ばな 鼻 (11)
ばなー 私は (17・33・45・77)
ばなーや 私は (45)
ばぬ 私 (9)
ばぬん 私も (23・62)
はべる (チョウ) (37)
ばしょーや ～のときには (21)
はら
行こう・行きましょう (31・43)
はらぬ 行かんか (82)
はらばどう 行けば (31)
ばららー 行こう (71)
ぱり 針 (83)
はりよー いってらっしゃい (13)
はる 行く (82)
ぱるん 行く (17)
ぱん 足 (11)
ぱんぬびさ 足のこう (11)

ひ
ぴーふりき 笛を吹き (97)
ぴーりう (畳の) 縁 (82)
ぴうとうげんなーや たまには (43)
ぴうとうだーぬ 人たち (82)
びぎどうん 男 (9)
びげー お父さん (9・17・75)
ぴだる 左 (10)
ぴていーず ひとつ (69)

ぴとう 人 (83)
ぴとういぬ 一日 (13)
ぴとうーりぬ 一人の (97)
びびじゃ ヤギ (37)
びむん 碑文 (ひもん) (90)
ぴゆーる 日 (29)
ひょーり ください (19)
ぴろーまゆくいや
昼休みの時間は (21)
びろーむのーや
給食は (昼ごはんは) (23・29)
びんきよー 勉強 (25・99)

ふ
ふあーなー 赤ちゃん (9)
ふあいむー 食べよう (15)
ふあーらー 食べよう (13)
ふっちゃー 長兄 (9)
ぷーりう 豊年祭 (62)
ぷーりうどう やりき
豊年祭だから (00)
ふかんが いでー 外に (43)
ふかぬ くやの (33)
ふかんが 他には (31)
ふしえー 習癖 <small>しゅうへき</small> (83)
ふちう ロ (83)
ふつ ロ (11)
ふでい 筆 (77)
ぶなりうびぎりう 兄弟姉妹 (9)
ぶねー お母さん (9・75)
ふみりりだ ほめられた (29)
ふむん 踏む (82)
ふんとーぬ かたちうし
実戦形式で (27)

へ
ペー 足の指 (10)
ペーぐ 早く (97)
ペーりふちう 山門 (52)
ぺん ひぎ (10)

ほ
ほいー みやーむー
さあ食べよう・食べに行こう (43・45・69)
ほいぶさーる むぬ
食べたいもの (45)
ほいむぬやー レストラン (43)
ほいよー 食べてね (69)
ほーかやーで 食べようかと (45)
ぼーれーぼーれー
いい子だね (39)

ま
まーずん 一緒に (13・17・82・99)
まーぞん 一緒に (90)
まーぞんさーり 一緒に (62)
まーりみせーり
多くの人たち (52)
まい 米 (39・41)
まいしゃーる 大きな (53)
まじう まずは (90)
ます いい (45)
まぞー まずは (27)
また くーよー また来てね (41)
まちう リュウキュウマツ (35)
まちかていー しーだゆー
待ち遠しかった (23)
まちや お店 (39)
まつやかい お店に (41)
まやー 猫 (9・37)
まよー まゆ (11)
まりじょー 性分 (90)
まりゆー 生まれです (7)

み
みー 目 (11)
みーどうなー 少女 (97)
みーどうん 女 (9)
みぐうとう 見事なものだ (62)
みしゃーる すず いいのか (82)
みしゃーるかやー いいかな (31)
みしゃーんさー
良いだろう・良い考えですね (43)
みしゃーんどうらー いいよ (21)
みらりすどう 見られるのが (97)

む
むーるかい 皆に (97)
むーるさーり みんなで (71)
むーるし 合計 (全部) で (41)
むかしうむに ことわざ (83)
むかす 昔 (82)
むかすばなしうぬ かけーる
昔物語が書かれた (21)
むしうかごー 虫カゴ (33)
むちう 仲良くする (82)
むつ むーちー (69)
むつかさ そーらー 難しいね (21)
むとう もと (83)
むぬ 物 (33・39)
むねー 言葉 (83)
むむったる もも (11)
むんどー 問答 (62)

め
めー もう (13)

も

も一ぎぬ 虹の (83)

や

やーさ しーだ (しーる)
お腹が空いていた (23)
やーどうる ニワトリ (37)
やーにんじゅー 家族 (9)
やーぬ 家の (53)
やいまぬ ハ重山の (21・52)
やすんが けれども (97)
やすんが しかし (77)
やすんが ~だよ (13)
やだ だった (29)
やーかい はりよー
帰りなさいね (25)
やでーん 必ず (52・97)
やな 悪い (82)
やなむぬ 邪悪な (97)
やふぬ 災いの (83)
やまたんす
リュウキュウバライチゴ (35)
やりき ~なので・だから (27・62)
やりきー ~です (71)
やるかー ~だったら (31)

ゆ

ゆー ~です (7)
ゆー よく (83)
ゆーな オオハマボウ (35)
ゆくしむねー すーかー
嘘をつく (83)
ゆしどうふ ゆしどうふ (23)
ゆみりや 読んでいるの (21)
ゆみる 読んでいるよ (21)
ゆんぐとう ことわざ (82)
~ゆ ~です (41)

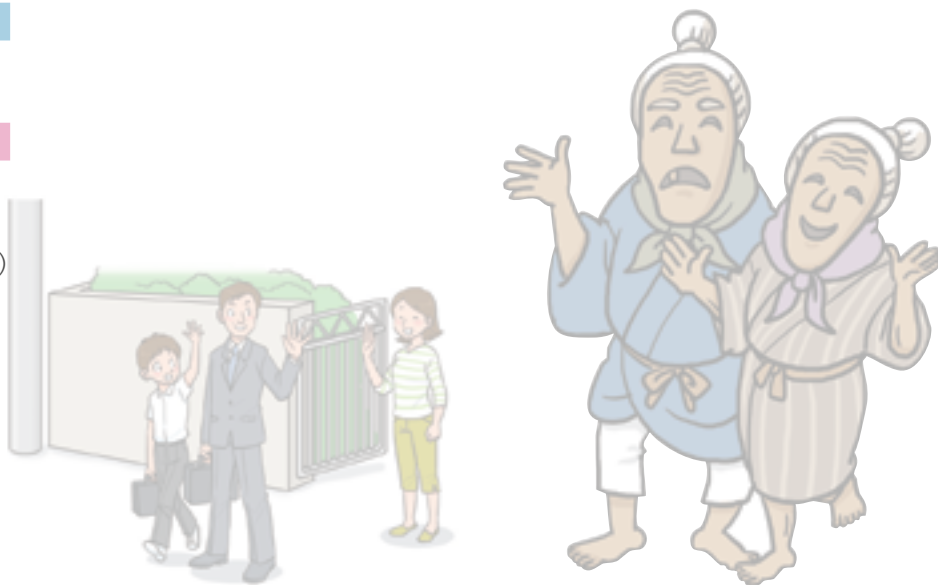
わ

わなー 君は (97)

ん

んかよーららー
お迎えしましょう (73)
んかよーら お迎えしましょう (73)
んきやーとーりよー
お召し上がりがください (71)
んこーりよー
お召し上がりがください (71)
んまさーそーらー
美味しいね (45)
んまさーる むぬんが
美味しいもの (45)

んまさーるかやー
美味しいかな (45)
んまさーる むんぬ
美味しいものが (29)
んまさんがしやー そーらー
美味しそうだね (45)
んまさんがしやーそー
美味しそうだね (69)
んみー おばあさん (9・83)
んー うん (21)



与那国 (祖納言葉)

あ

あー ああ (69)
あいさてい あいさつ (67)
あいわる ~ですね (43)
あいわるかやー ~ですか (41)
あうだ カエル (37)
あかちら なたん 赤面した (97)
あかぬ 赤の (97)
あがみがらやー
赤くなってくると (85)
あがみてい 幼児 (39)
あがみんが 子どもは (85)
あかやー あるかな (31・45)
あがんき アカギ (35)
あぎだん トンボ (37)
あさ おじいさん (9・85)
あさんき おじいさんに (33)
あしや ~してみると (97)
あたいぶたば
合っていたので (29)
あたや ~だったら (31)
あたらん 大切 (85)
あたる ~だった (13・15・97)
あちらい 注文 (45)
あったや 明日ね (25)
あてい 姉 (9)
あとぅあとぅや 将来は (7)
あとぅなる 後にある (85)
あどぅびら かかと (11)
あぬ 私 (9・64)
あぬや 私は (17・33・45・77)
あぬん 私も (23)
あはり 苦勞 (17)
あびやる きれいな (31)
あびやんがえー きれいだね (75)
あびやんどー 美しいよ (54)
あぶ おばあさん (9・85)
あぶた お母さん (9)
あぶたん お母さんも (75)
あぶんたがら
おばあさんから (85)
あみ 雨 (99)
あやみはびる ヨナグニサン (37)
あらーぐ とても (13・15・64)
あらーぐ ふがらさ
本当にありがとうございました (25)
あらかいぐ 卵焼き (15)
あらぬない じゃないか (97)
ある はでいどう
あるはずだよ (31)
あるんがら

なので・だから (27・64)
あるんが 行きますか (43)
あん ある (55)
あんが 私の (7・99)
あんしやみ
リュウキュウツヤハナムグリ (37)
あんぱりるや 遊ぼうぜ (21)
あんぱりるんどうー 遊べるよ (31)
あんびー 遊んで (97)
あんびんぬおー 遊ぼうよ (33)
あんびんが 遊びが (31)
あんびんてい 遊びに (99)
あんぶが 遊ぼうか (21)
あんぶんが 遊ぼうか (33)

い

い ご飯 (15・77)
いー 良い (17)
いーどうち よき友 (97)
いーちどう 良い日 (29)
いーならいき 良い習慣 (85)
いーむぬとう 良い人と (85)
いぐらていば いくら (41)
いさとうまい カマキリ (37)
いしー そう (29・31)
いしない そうか (23)
いしやー そうそう (33)
いしやる やった (17)
いた
それでは (27・31・33・39)
いちぬち 動物 (生き物) (37)
いっていん 一番 (54・55)
いっていん いりぬ はていぬ
でいー
最西端の地 (33・54)
いていていこー 行ってくるね (39)
いていてい くだよー
行ってきます (13)
いでいんていび 頑張って (25)
いどう イジュ (35)
いぬ 犬 (9)
いぬちん ご飯粒 (15)
いや お父さん (9)
いやがら 父から (17)
いやん お父さんも (75)
いらぱりる 選ぶよ (45)
いらぶかやー 選ぶかな (77)
いりぶさる 入れたいなあ (33)
いりむてい 西表 (54)
いりらるかやー
入れようかな (33)
いるんが しかし (77)
いるんな いろいろな (43)
いるんなむぬ いろいろな物 (33)

う

ういとうらしわれ
(売って) ください (41)
うか ふがにや
この他には (31)
うがんふとうてい 豊年祭 (64)
うぎり 起きなさい (13)
うさい ごちそう (71・73)
うし これで (25)
うた 歌 (91)
うたにあるに
歌にも歌われていて (55)
うていたん 打った (29)
うとうたがる 有名な (55・64)
うとうたがん 有名です (54)
うとうだ (びぎぶない)
兄弟・姉妹 (9)
うとうとう 弟 (9)
うとうとうぶない 妹 (9)
うとうとうぶないぬ 妹の (75)
うぬふがぬ この他の (85)
うぶいていどう 大きな岩が (55)
うぶいゆ 大きな魚を (85)
うまかま いろんな所 (54)
うまどう ここは (54)
うまぬん 思っていない (85)
うまや ここは (21)
うむいぶる 考えています (7)
うむいぶんがどう
思っているんだけど (45)
うむつつあんどー
おもしろいよ (64)
うむんに 思っているように (85)
うや これは (41)
うやし わるん
召し上がる (召し上がれ) (15)
うやしわれ
食べてください (13・73)
うやん ~しましょう (54)
うやんが 親が (85)
うやんとう ネズミ (37)
うゆび 指 (10)
うるむさんさんてい
イワサキクサゼミ (37)
うんからんき それから (29)
うんながにある 海にある (55)
うんながんき いりる
しずんでいく (54)
うんにてい そして (29)

お

おー
はい (目上の人に対する場合)
(13・19・25・27・39)

おー 王 (97)

か

かいくかや 買ってこようか (39)

かいし 買って (39)

かいむぬ 買い物 (39)

かいむんき 買い物に (39)

かっていある 書かれた (21)

かたぶるち かた (11)

かでい 数の (69)

かでい 風・台風 (85)

かていむぬ おかず (15)

かていん 書いて (97)

かなーでい 必ず (97)

かまぬ あそこの (39)

からん 髪 (10)

かんがいどう 考え (43)

かなな うで (10)

かんぬいてい 神の岩 (55)

き

き 〜に (39)

き (一) 〜して (21)

きーぬ 木の (85)

きーまちかやんでいどう

しようかと (45)

きーわるな 〜をしますか (19)

きさがら 先ほどから (23)

きたんどうー 〜したよ (25)

きてい 〜して (27)

きるやー 〜しよう (99)

きるん 〜します (27)

きるんでい 〜するのに (17)

きるん 〜をする (41)

きんがい ぬい 機嫌が直る (87)

きんさんどう 〜していいよ (45)

きんたぐうぬ ホウセンカの (31)

きんだぐに 島にんじん (23)

きんでやー 〜したよ (17)

<

くーよー 来てね (41)

くぐる 心 (27)

くぐるがら あたらき うむい

心からかわいく思う (87)

くぐる なだやし

心やさしい (87)

くぐるむてい 気持ち (87)

ぐすぬはな ハイビスカス (35)

くち 腰 (11)

くちぶに 背中 (11)

くとうちん いーくとうゆ あらみ

とうらしわり

今年もよろしくお願いします(67)

くとうば ことを (19)

くとうば 言葉 (87)

くば ビロウ (35)

くみんき 組に (27)

ぐや にがうり (23)

くらしすたる 暮らしてきた (97)

くんが 買うの (41)

くんでいどう ある

やってくる (85)

くんちみてい 引き締めて (27)

さ

さしんだたん ささげた (97)

さばん 湯飲み茶わん (15)

さるがてい クロイワツクツク (37)

さんがい (き) ガジュマル (35)

さんぎるん 下げよう (69)

さんさん クマゼミ (37)

さんさんどう クマゼミを (33)

さんにん ゲットウ (35)

し

しがたや 姿は (55)

しくんき 準備して (71)

しまるー 終わろう (25)

しゃなぎどう わるんがえー

うれしそうだね (75)

しんしんき 先生に (7)

す

すーがら 今日から (73)

すーぬ 今日の (21・23)

すーや

今日は (17・23・25・33・64・

71・99)

すーん 今日も (13・19・25)

すいひ 連れていって (64)

すなてい 兄 (9)

すみてい 染めて (31)

すむてい 本 (21)

すむていどう 本を (21)

する お盆 (73)

する うぐいうやい

お見送りしましょう (73)

するいてい そろって (27)

するばん そろばん (77)

する んかいいうやい

お迎えしましょう (73)

すんがてい お正月 (67)

すんでいさー いらっしゃい (41)

た

だーさぬ お腹が空いて (23)

だーならいどう 家での習いが (85)

だーにんどう 家族 (9)

たーん 誰か (41)

たぎや 高さは (55)

たたみうらたん 教えてやった (97)

たていがみいてい 立神岩 (55)

だなないどう 悪い習慣が (85)

だなむぬとう 悪い人と (85)

だならどう 気を付けて (25)

たばらりる (一)

いただきます (13・45)

だまとうぬ 日本の (54)

たまな キャベツ (23)

たまにや たまには (43)

たんかぬ だいき

満一歳の誕生祝いに (77)

だんさる 悔しいのだ (97)

たんでい どうーでいん

よろしくお願いします (19)

ち

ちえー 着ろ (97)

ちたわる 伝わる (91)

ちにくら ふくらはぎ (11)

ちま 島・故郷 (91)

ちまとうぶ とうふ (23)

ちまぬ 島の (64)

ちまむぬい しまくとうば (99)

ちまん 島の (55)

ちむ ささらんてい

胸さわぎがする (87)

ちむ さびつつあー

心さびしい (87)

ちむ すらしどうぐる

心の故郷です (55)

ちむ だーみ 心が痛む (87)

ちむに きみやん 決意した (97)

ちむりさ かわいそう (87)

ちむ んてい たらし

心が満ち足りる (87)

ちょーみん 帳面 (77)

ちら 顔 (11)

ちらびんぬー

調べてみましょう (91)

ちらびんぬおー 調べてみよう (37)

ちりがらや 付き合えば (85)

ちりたや 付き合ったら (85)

ちる おつゆ (15)

ちるまがい 汁わん (15)

っ

っありるん 〜します (9・67)

っあーばな 草花 (33・35)

っかいらりたん 招待された (77)

っかいるー 行きましょう (43)

っかない ぶん

飼育しています (54)

っかにぬん 使えない (85)

っかりるが 使えるが (85)

っかいんぬー 使ってみよう (99)

っくいあんがら

作ってあるから (69)

っくいてい 作って (69)

っくいぶさるんがら

作りたいから (33)

っくいんだぎ 作りましょう (91)

っくいんぬや 作ってみよう (33)

っくるー 作ろう (33)

っくわる 作った (33)

つたみ 紹介 (お知らせ) (9)

つたみとうらぬん

教えてくれない (21)

つていぶに ロ (11)

つとういぬ 一人の (97)

つとうち ひとつ (69)

つとうとう 方と (27)

つとうぬ 人の (55)

つとうんたや 人々は(55)

つまどうぐい 昼休み (21)

て

てい 手 (10)

ていー うさしてい

手を合わせて (71)

ていだんが 太陽が (54)

ていぬばた 手の平 (10)

ていん 空 (85)

でいー さあ

(13・15・31・33・45・71)

でいん お金 (77)

でいかん 時間 (13・21)

でいんぐい デイコ (35)

でいんどう お金を (77)

と

どう 〜だよ (71)

どうーさんぬだい 十三祝い (75)

とういかっていらぬとう

除かなければ (97)

とういんでいひろー

取りに行こう (31)

どうぐるどう 場所でも (55)

どうぐるんでい 場所として (54)

とうたるんでい

取ったんだって (77)

とうちぬ 年の (69)

どうったい かったい

どちらかわからない (85)

どうつとうに 上手に (33)

どうつとう まいふな

良かったね (29)

とうでいちぬ ソテツの (33)

どうなん 与那国 (21・55)

どうなんちまぬ

与那国島の (54・55)

どうなんむぬいし

与那国言葉で (97)

どうにんば オオハマボウ (35)

どうぬくにてい 十六日祭 (71)

とうまどういきたん

まごついた (97)

とうまいむら 泊村 (7)

どうみぶる 読んでいるよ (21)

どうみ ぶんが 読んでいるの (21)

とうらしんに

〜してちょうだい (39・99)

とうんきる 伝える (87)

とうんでい 撮りに (75)

とうんでいぶたる 出ていた (29)

な

なー 名前 (7・37・99)

なーぬ とうーり 名前の通り (55)

ないぶる 〜です (7・55・99)

ないや 今は (27)

ないがら これから (19・27)

ないてい 〜なって (17)

ないぶるゆ 〜あります (55)

ながどうぐいぬ 休み時間の (21)

なぐくい 鳴き声 (37)

ならいていどう 習って (17)

ならいぶんが 習っているのか (19)

ならいんでい 習いに (33)

ならいんにゆー

習ってみましょう (85)

ならし 教えて (99)

ならぬたん 〜していた (23)

ならぬんでい ならないと (97)

なるんでいどう なりたいと (7)

なんぎる 投げる (27)

なんたはま なんだ浜 (55)

なんとう ナントウ (23)

なんどー 〜だよ (13)

に

にぐるた くんどうんでいぶたん

激怒した (97)

にちない 北か (85)

にでい 右 (10)

にんとう 年頭 (67)

ぬ

ぬー 何 (21)

ぬー あるばん 何でも (99)

ぬーかん たまらなく (97)

ぬーば 何を (21)

ぬかやえー 何だろう？ (23)

ぬどう のど (11)

ぬば 何を (33)

ぬばが 何が (45)

ぬんに 何が (29)

ぬんにぬ どんな (19)

ぬんに ぶたんが どうだった (77)

ぬんき どれに (45)

ぬんでいん んだにた

何とも言えないほど (54)

は

ばー 私の (9)

はーし 葉で (33)

はいない 南か (85)

はいばえー 食べてね (69)

はいむぬんが 食べ物が (43)

はいよー 食べなさいね (15)

はいんだけ 食べよう (45)

はいんでい 食べるに (43)

はいんぬー 食べてみよう (69)

ばがらぬん 分からない (97)

はがんき お墓に (71)

ばた お腹 (10)

ばたん っくた お腹いっぱい (69)

ばがりてい 分かれて (27)

ばず バショウ (35)

ばず (ぬ) ない パナナ (35)

ばずにや ときには (21)

はた ハチ (37)

はたらんぎてい 野イチゴ 35

はち おはし (15)

ばちんなよー 忘れるなよ (25)

はでいまるんどうー

始まります (13)

はでいみるん 始める (19)

はな 花 (31)

はなしきー んにに

話してごらん (99)

はなぶる 鼻 (11)

はなんどう 花で (31)

ひーり 朝ご飯 (13)
ひーりや 朝ご飯は (15)
ひたや 行けば (31)
ひっとういんが 一日が (13)
ひびだ ヤギ (37)
ひるどー 行きなさい (13)
ひるどぅ 帰りなさいね (25)
ひるば 行けば (31)
ひるん 行く (17)
ひろー 行こう (27・33)
びんが 男 (9)

ふいばっていー 笛を吹き (97)
ふ 食べる (85)
ふー 食べよう (13・15)
ぶーる みんなで (71)
ぶーるし 合計 (全部) で (41)
ぶーるぬ みんなの (87)
ふいぶるんがら 降っているから (99)
ふがならい 外での習い (85)
ふがぬ 他の (33)
ふがらさ ありがとう (41)
ふがんき 外に (43)
ぶたが あった (29)
ぶたる 〜だった (23)
ふでい 筆 (77)
ふみらりたん ほめられた (29)
ぶる います (54)
ふんすんが 食べるのが (23)

まー もう (13)
まーかや いいかな (45)
まーさぎさんがえー おいしそうだね (45・69)
まーしく たくさん (69)
まーてい 似合って (75)
まーどぅ 美味しい (13・15)
まーる 美味しい (29)
まーるむのー 美味しいもの (45)
まいさるはびる 最大のガ (54)
まいどぅ 前で (27)
まいぬどぅ 稲の穂が (85)
まいふな いい子 (39)
まがい 茶わん (15)
まち 良い (45)
まち (き) リュウキュウマツ (35)
まちり 祭り (64)
まっちやる 好きな (45)
まっちやる うさい お供え物を (73)
まっちゃんすや 好きなのは (7)
まていかんていどぅ

待ち遠しい (23)
まदैや まず^{いっしょ}は (27・91)
まどうん 一緒に (13・15・17)
まゆ ねこ (9)
まりどぅ 生まれ (7)
まるはだが 真っ裸 (97)
まんがえー 美味しいね (45)
まんがい 曲がり (85)
まんぐ 孫 (9)

みー 目 (11)
みーぬふあぬ 南東部 (巳の方角) (55)
みーみぬ 実らない (85)
みきりや 探せば (31)
みきんてい 探しに (31)
みきんぬやー 探してみましよう (91)
みぐとうな 見事な (64)
みぐとうどぅー 見事です (55)
みしやに お店にて (41)
みしやん お店 (39)
みた ニワトリ (37)
みぬまゆ まゆ (11)
みぬんが 女 (9)
みぬんが あがみてい 少女 (97)
みんぶる 顔 (10)

むち 昆虫 (37)
むちかさん 難しい (21)
むちばぐ 虫カゴ (33)
むちばぐんきや 虫カゴには (33)
むてい むーちー (69)
むぬがら ものから (45)
むぬどぅー ものだ (64・85)
むぬんがどぅ ものが (29・85)
むぬぬたてい ことわざ (85)
むむ もも (11)

やー やあ (17)
よい (目下の人に対する場合)
はい・うん (19・21)

わー ブタ (37)
わーしき 天気 (17)
わるかやー いますか (41)

んーちみ しっかり (きちんと) (15)

んかちむぬがたい 昔物語 (21)
んかるんどぅ お迎えしましょう (73)
んくてい 赤ちゃん (9)
んさいわるかや こんにちは (7)
んさかや いいかな (31)
んさたや 良ければ (54)
んざたんがえー 良かったね (17)
んさんどぅあるない 良いだろう (43)
んさんどー いいよ (21)
んしゃる いるね (75)
んだい 左 (10)
んたく 頭を立てる (85)
んだみ カタツムリ (37)
んだや 君は (97)
んだらんえー かわいいね (77)
んていどぅ 〜と言って (55)
んていぶいてい 呼んでいて (55)
んていひるん 行く (27)
んていぶる 言っている (54)
んなにんが 着物が (75)
んなりる 見える (54)
んなりるんすんがどぅ 見られるのが (97)
んに 米 (39)
んにんてい 見に (64)
んぬ この (55)
んぬぬ 昨日の (17)
んび おしり (11)
んぶち ひざ (10)
んまんき どこに (31)
んみんき 爪を (31)



◆【写真提供】

石垣市市史編纂室：アンガマー (62p) ／マユンガナシー (63p) ／ハーリー (63p) ／豊年祭 ツナヌミン (63p)

与那国町教育委員会：ナントゥ (23p) ／立神岩 (55p) ／棒おどり (64p・65p) ／どうんた (64p) ／タティウサイ (65p) ／ミティウタ (65p) ／久部良豊年祭 (65p) ／祖納豊年祭 (65p) アヤミハベル館：ヨナグニサン (あやみはびる) (54p)

竹富町教育委員会：竹富島の家屋敷 (53p) ／ピナイサーラーの滝 (53p) ／仲間川 (53p) ／波照間のムシャーマ (63p) ／西表のシツマツリ (63p) ／竹富のタニドゥリ (63p) ／小浜の結願祭 (63p) 南山舎：赤馬の像 (90p)

宮古島市教育委員会：島尻のパーントゥ (60p) ／城辺上区の獅子舞 (61p) ／川満棒踊り (61p) ／うるかクイチャー (61p) ／ヤーマス御願 (61p) ／池間のクイチャー (61p) ／友利クイチャー (61p) ／友利獅子舞 (61p) ／松原の獅子舞 (61p)

久志区公民館：久志の若按司・みんじょーがなしー (58p・59p)

名護市教育委員会：屋部の八月踊り (59p)

座間味村教育委員会：海神祭 (57p)

沖縄県立総合教育センター：リュウキュウバライチゴ (34p)

沖縄観光コンベンションビューロー：そば (22p) ／ゴーヤーチャンプルー (22p・23p) ／ラフテー (22p) ／ソーメン (22p) ／ソーキ (22p) ／魚の塩煮 (23p) ／アーサ汁 (23p) ／ゆしどうふ (23p) ／とうふ (23p) ／デイゴ (34p) ／ハイビスカス (34p) ／アカギ (34p) ／バナナ (34p) ／イジュ (34p) ／オオハマボウ (34p) ／リュウキュウマツ (34p) ／白銀堂 (46p) ／勝連グスク (47p) ／沖縄こどもの国 (47p) ／玉泉洞 (47p) ／美ら海水族館 (48p) ／恩納村のビーチ (48p) ／古宇利島 (48p) ／通り池 (51p) ／那覇ハーリー (56p) ／那覇大綱曳き (57p) ／獅子舞フェスティバル (57p) ／全島エイサー祭り (57p) ／与那原大綱曳き (57p) ／糸満ハーレー (57p) ／塩屋ハーリー (58p) ／塩屋のウンガミ (59p) ／安田のシヌグ (59p) ／安和のウシデーク (59p)

写真撮影：宮城一春／合資会社 沖縄時事出版編集部

◆【主要参考文献】

『沖縄語辞典－那覇方言を中心に－』内間直仁・野原三義＜2006(平成18)年＞研究社

『沖縄古語大辞典』沖縄古語大辞典編集委員会編＜1995(平成7)年＞角川書店

『沖縄語辞典』国立国語研究所＜1963(昭和38)年＞大蔵省印刷局

『沖縄今帰仁方言辞典』仲宗根政善＜1983(昭和58)年＞角川書店

『沖縄語の入門－たのしいウチナーグチー』西岡敏・仲原穰他＜2000(平成12)年＞白水社

『うちなあぐち考』野原三義＜1992(平成4)年＞沖縄タイムス社

『うちなあぐちへの招待』野原三義＜2005(平成17)年＞沖縄タイムス社

『高校生のための郷土のことば』野原三義・内間直仁・中本謙・田名裕治＜2014(平成26)年＞沖縄県教育委員会

『語てい んーだな しまくとぅば』しまくとぅば普及推進専門部会＜2014(平成26)年＞沖縄県文化観光スポーツ部

『使って遊ぼうしまくとぅば』那覇市教育委員会学校教育課編＜2013(平成25)年＞那覇市

『新編 沖縄の文学』沖縄県教育文化資料センター、波照間永吉監修＜2003(平成15)年＞合資会社沖縄時事出版

しまくとうば読本

- ◆ 監 修 野 原 三 義 沖縄国際大学名誉教授
加治工 真 市 沖縄県立芸術大学名誉教授
西 岡 敏 沖縄国際大学総合文化学部教授
中 本 謙 琉球大学教育学部准教授
仲 原 穰 琉球大学他 非常勤講師
- ◆ 編 集 「しまくとうば読本」制作委員会
- ◆ 発 行 沖縄県文化観光スポーツ部 文化振興課
〒900-8570 沖縄県那覇市泉崎1丁目2番2号
- ◆ 協 力 沖縄県教育庁 義務教育課
〒900-8570 沖縄県那覇市泉崎1丁目2番2号
- ◆ 発行日 2015（平成27）年3月27日

-
- ◆録音話者 野原三義（那覇言葉）／宮里健一郎（久志言葉）／
下地トミ子（平良言葉）／石垣博孝（四箇言葉）／
宮良康正（与那国言葉）
 - ◆各地域のアドバイザー
宮里健一郎（北部）、上原仁吉、山入端津由／下地トミ子（宮古）／
石垣英和、宮良長久、石垣博孝（八重山）／
宮良康正、田原伊明（与那国）
 - ◆イラスト 当山百合子
 - ◆録音協力 眞榮城茅奈実（沖縄国際大学放送研究部）

-
- ◆第六版 発行 2021年2月26日 印刷 有限会社 アイドマ印刷
 - ◆制作 合資会社 沖縄時事出版
代 表 名幸諄子
編集責任 呉屋栄治
構成・原案・原稿執筆 宮城一春

※この本には、著作権および出版権がありますので、原則として無断転載を禁じます。但し、しまくとうばの普及・継承につながる非営利目的の場合は、その限りではありません。また、転載する際には、沖縄県文化振興課まで許可を得るようにして下さい。

電子書籍 (EPUB) リーダーについて

学校に配布したCDには電子書籍 (EPUB) のデータがあり、それぞれの音声データを収録しています。電子書籍を読むには、EPUB3.0 に対応するリーダーをご利用ください。推奨するリーダーの利用方法を下記に説明しています。

■ Radium (Windows, Macintosh)

- ① Google Chrome(無料のブラウザ)をパソコンにダウンロードしてインストールします。Google アカウントは新規作成、または、お使いのメールアドレスでも登録できます。(Win 版, Mac 版それぞれの対応ページにて行って下さい。)
- ② Radium をダウンロードして、Google Chrome ブラウザにプラグインします。
- ③ 電子書籍 (EPUB) の保存場所を選んで、「本の追加」ボタンをクリックします。

インストールボタン



↑ Radium (英語版のみ)



※ CD に収録されている内容は、話者によって本文とは異なる場合があります。



首里城（中南部）



川平湾（八重山）



東平安名崎(宮古)



日本国最西端之地の碑（与那国）



美ら海水族館（北部）



中学校 年 組 番			
名前			